
区の現状把握及び課題抽出のための
アンケート調査報告書

令和5年3月
大田区

目次

I	調査の実施方法等	1
1	調査の目的	1
2	調査の実施方法・期間等	1
(1)	対象者	1
(2)	実施方法	1
(3)	実施期間	1
(4)	回収状況	1
3	設問の構成	1
4	報告書を読む際の留意点	2
(1)	集計方法	2
(2)	集計結果の端数処理	2
(3)	その他	2
II	調査の結果	3
■	回答者の属性	3
1	まちのイメージ	8
(1)	区全体のイメージ	8
(2)	区の詳細イメージ	10
(3)	「治安が悪い」と感じた理由	14
(4)	「マナーが悪い」と感じた理由	16
2	健康	18
(1)	健康づくりで実践していない行動	18
(2)	健康づくりでその行動を実践していない理由	20
3	地域活動	22
(1)	過去1年以内に参加した、かかわった地域活動	22
(2)	地域活動を始めたきっかけ	24
(3)	地域活動に取り組んでいない理由	26
(4)	地域活動に参加するための状況の変化	28
4	妊娠・出産・子育て	30
(1)	現在、今後の予定及び理想的な子どもの数	30
(2)	現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由	32
(3)	理想的な子どもの数を持つための条件	34
5	教育（子ども達に身につけさせたい力）	40
6	まちづくり	42
(1)	区外の近隣繁華街へ行く頻度	42
(2)	区外の近隣繁華街へ行く理由	50

7	新空港線（同線の整備に期待する効果）	52
8	防災	56
	（1）災害への備えの状況	56
	（2）災害への備えで実践していない行動	58
	（3）災害への備えでその行動を実践していない理由	60
9	観光（充実させるべき観光資源）	62
10	文化（新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動）	64
	（1）文化・芸術活動に対する関心	64
	（2）文化・芸術活動の鑑賞	66
	（3）文化・芸術に関わる活動	67
11	環境	68
	（1）環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動	68
	（2）日常生活における省エネ行動	70
	（3）省エネ行動を実施していない理由	72
12	行政手続のオンライン化	74
	（1）オンラインによる区の行政手続の利用状況	74
	（2）オンラインによる区の行政手続を利用していない理由	76
	（3）利用経験がある区のオンライン手続の満足度	78
	（4）区のオンライン手続の満足度が低い理由	80
13	SDGs	82
	（1）SDGsに対する認知度・理解度	82
	（2）SDGsに関する意識と行動	84
	（3）SDGsに関する行動をしていない理由	86
14	定住意向	88
	（1）今後の定住意向	88
	（2）区内に住み続けたい・区外へ移り住みたい理由	90
15	施策要望（特に力を入れてほしい施策）	94

I 調査の実施方法等

1 調査の目的

本調査は、まちづくりに関わる幅広い分野を対象に、区内在住の区民の意識等を把握し、区政運営における現状の把握及び今後の課題を抽出するための重要な基礎情報の1つとして活用することを目的として実施したものである。

2 調査の実施方法・期間等

(1) 対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、区内在住の満18歳以上の男女4,000人

(2) 実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及びWEB（インターネット）による回収

(3) 実施期間

令和4（2022）年11月中旬～12月16日

(4) 回収状況

配布数4,000票、有効回収数1,514件（郵送分1,042件、WEB分472件）、回収率37.9%

3 設問の構成

対象分野	設問番号	設問の概要	回答形式
1 まちのイメージ	問1	区全体のイメージ	単一
	問2	区の詳細イメージ	上位1～3
	問3	区のイメージとして「治安が悪い」と感じた理由	上位1～3
	問4	区のイメージとして「マナーが悪い」と感じた理由	上位1～3
2 健康	問5	健康づくりに関して、実践していない行動	複数
	問6	問5で回答した行動を現在実践していない理由	上位1～3
3 地域活動	問7	過去1年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験の有無	上位1～3
	問8	地域活動を始めたきっかけ	単一
	問9	現在、地域活動に取り組んでいない理由	上位1～3
	問10	今後、どのような状況変化があれば地域活動に参加するか	上位1～3
4 妊娠・出産・子育て	問11	現在、今後の予定及び理想的な子どもの数	単一
	問12	現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数よりも少ない理由	上位1～3
	問13	理想的な子どもの数を持つための条件	単一
5 教育	問14	これからの社会を生きる子ども達に、身につけさせたい力	上位1～3
6 まちづくり	問15	区外の近隣繁華街へ行く頻度	単一
	問16	区外の近隣繁華街へ行く理由	上位1～3
7 新空港線	問17	新空港線の整備にあたり、期待する効果	上位1～3
8 防災	問18	災害への備えの状況	単一
	問19	災害への備えに関して、実践していない行動	複数
	問20	問19で回答した行動について、現在実践していない理由	上位1～3

対象分野	設問番号	設問の概要	回答形式
9 観光	問 21	観光客にとって魅力的なまちとなるために、充実させるべき観光資源	上位1～3
10 文化	問 22	新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動	単一
11 環境	問 23	環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動	単一
	問 24	日常生活における省エネ行動	単一
	問 25	省エネ行動を実施していない理由	上位1～3
12 行政手続の オンライン化	問 26	オンラインによる区の行政手続の利用状況	単一
	問 27	オンラインによる区の行政手続を利用していない理由	上位1～3
	問 28	利用経験がある区のオンライン手続の満足度	単一
	問 29	オンラインによる区の行政手続の満足度が低い理由	上位1～3
13 SDGs	問 30	SDGsについて知っていたか	単一
	問 31	SDGsに関する意識と行動	単一
	問 32	SDGsに関する行動をしていない理由	上位1～3
14 定住意向	問 33	これからも区内に住みたいと思うか	単一
	問 34	問 33 の回答理由	上位1～3
15 施策要望	問 35	特に力を入れてほしい施策	上位1～3

4 報告書を読む際の留意点

(1) 集計方法

○回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、性別や年代等の属性ごとに区分した「クロス集計」を行っている。また、年代とのクロス集計のうち、「10代（18・19歳）」は回答者の人数が少ないため、本集計においては「20代」と合算し「20代以下」としている。

(2) 集計結果の端数処理

○回答率（回答した人の割合）は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が100%にならない場合や、図表中の合計値と文章中に表記した数値が一致していない場合がある。

○図表中にある「n」は、設問の回答総数を示している。また、有効ではない回答については、回答総数から除いているため、「n」と有効回収数（1,514件）は必ずしも一致しない場合がある。

○回答率は、その設問の回答数を母数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%を超えている。

(3) その他

○一般的に母集団が2万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれている。本調査は2万人以上の無限母集団であり、対象者数4,000人（有効回収数1,514人）は、統計上有効な数値であると考えられる。

○本文及び図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化している。

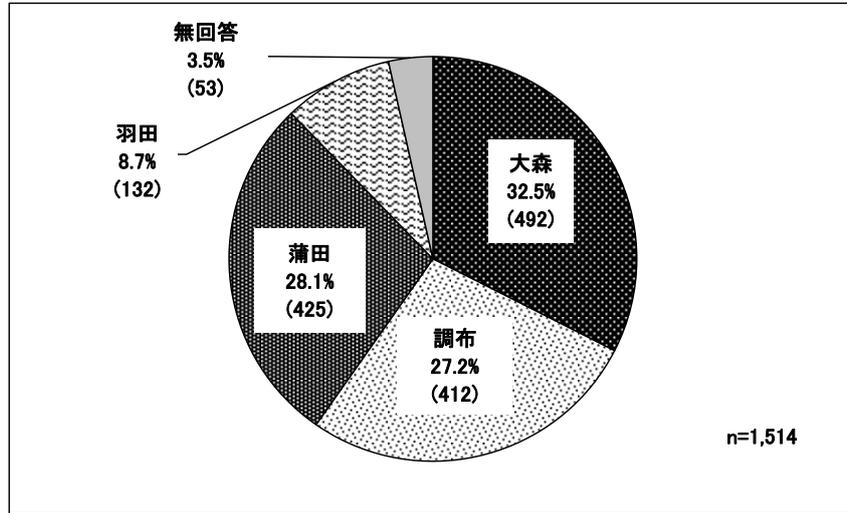
○「無回答」や「回答しない」が設問の回答率で最も高かった場合、文章中には表記していない。

○クロス集計における各属性の回答者数が30未満の場合は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

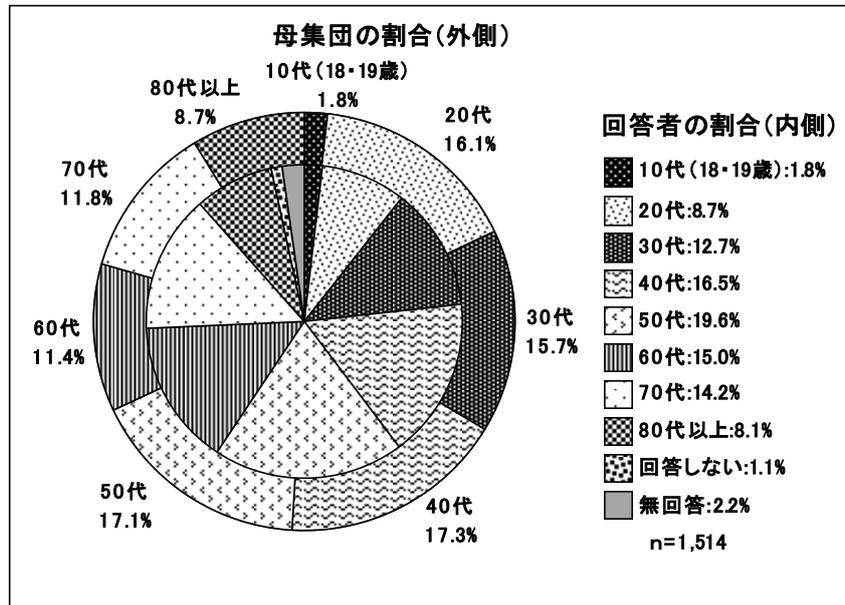
II 調査の結果

回答者の属性

図表Ⅱ－1 居住地域

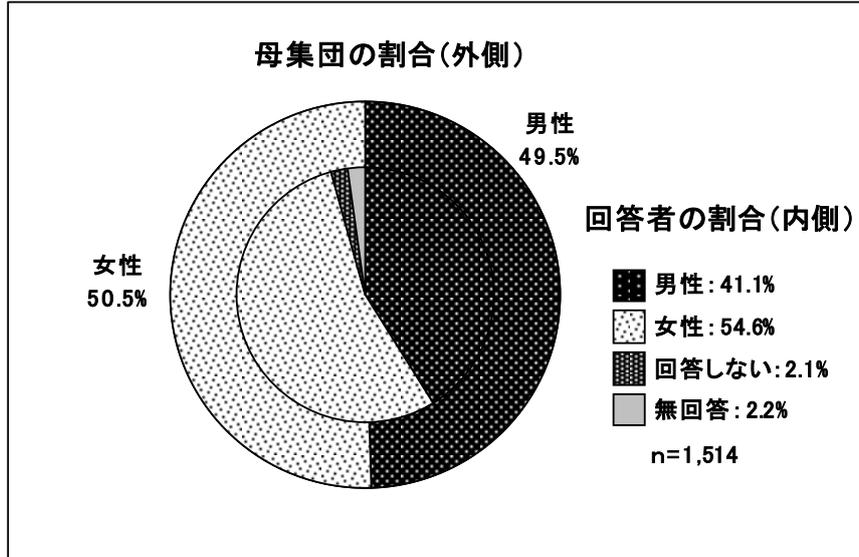


図表Ⅱ－2 年代

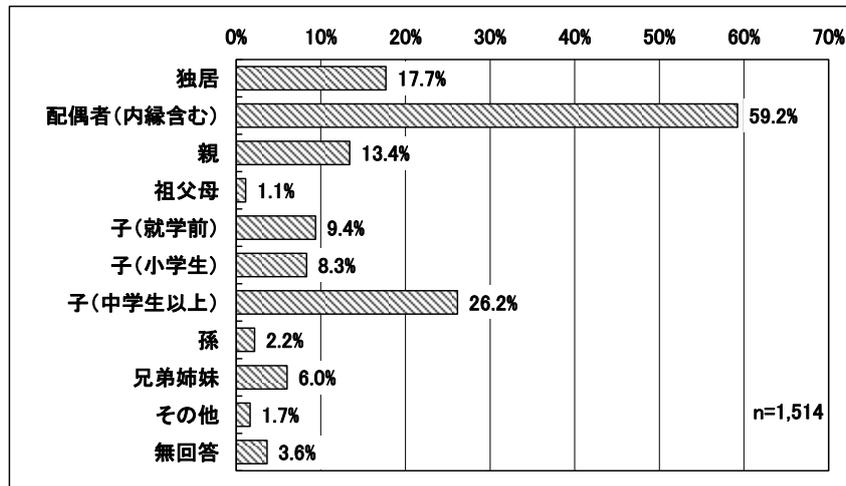


出典：母集団の人口構成比は、令和4年10月1日現在の住民基本台帳人口（日本人＋外国人）から算出（※性別も同様）

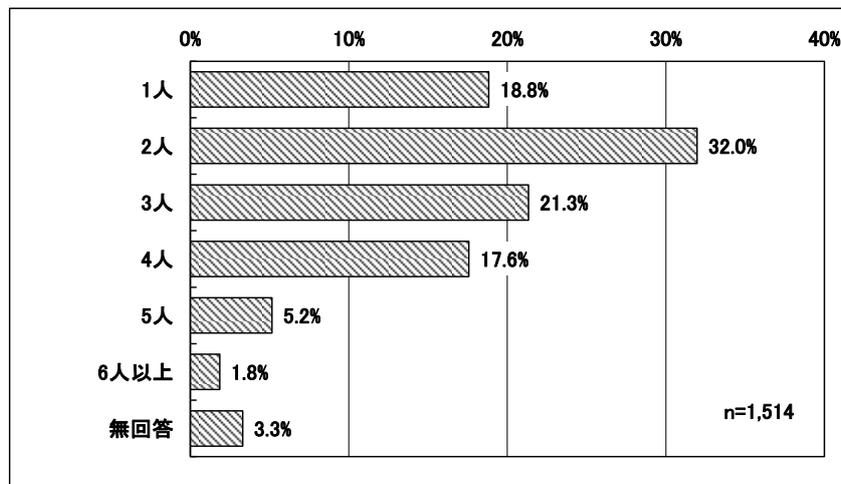
図表Ⅱ－3 性別（18歳以上）



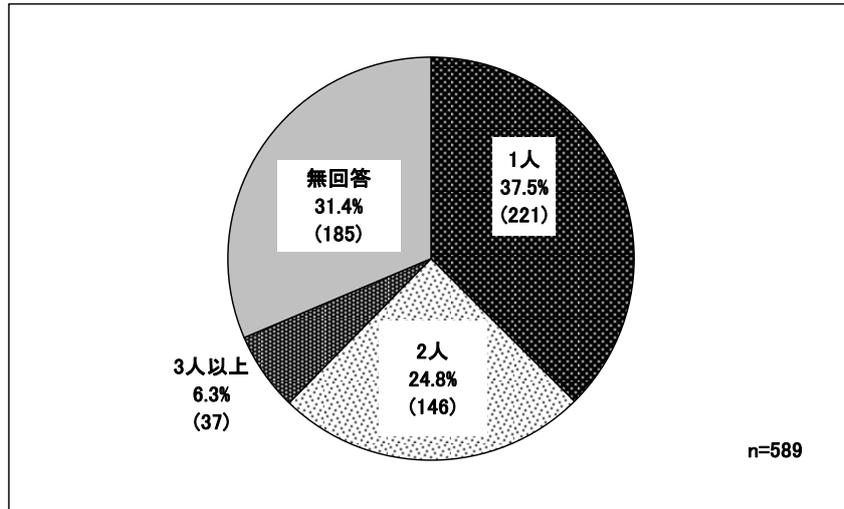
図表Ⅱ－4 同居家族



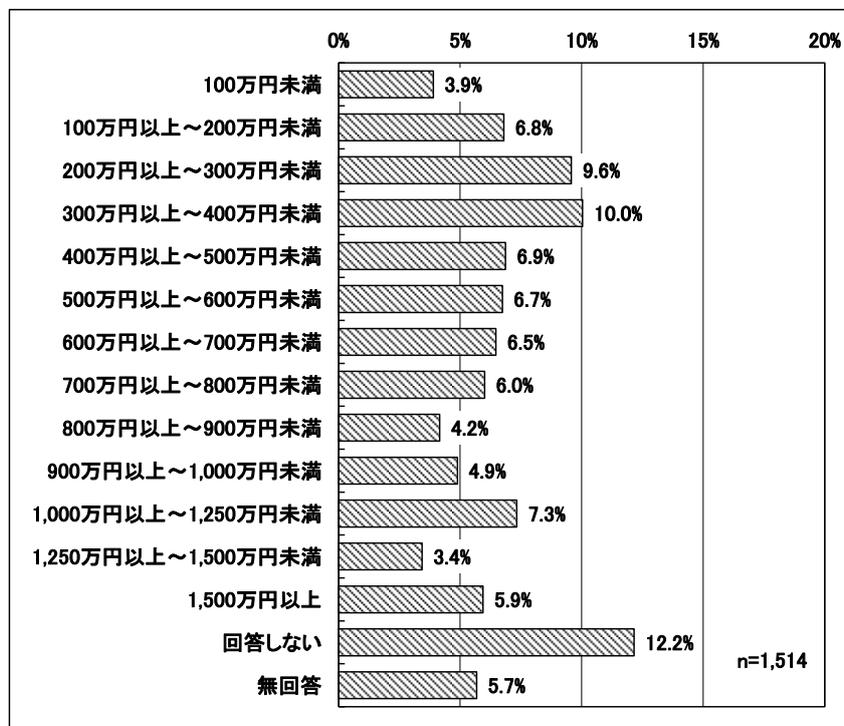
図表Ⅱ－5 世帯の人数



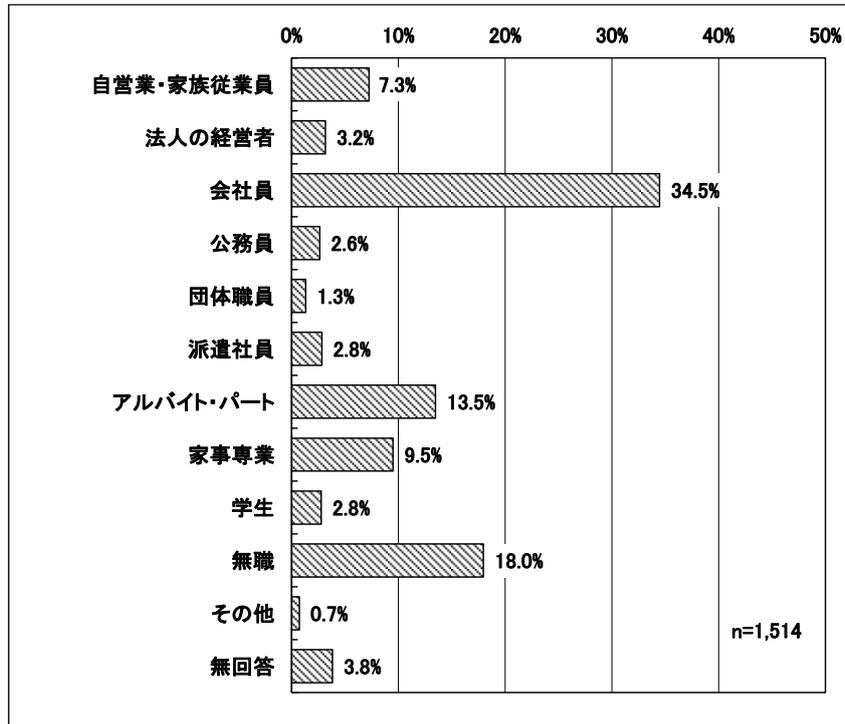
図表Ⅱ－6 同居している子ども（18歳以下）の人数



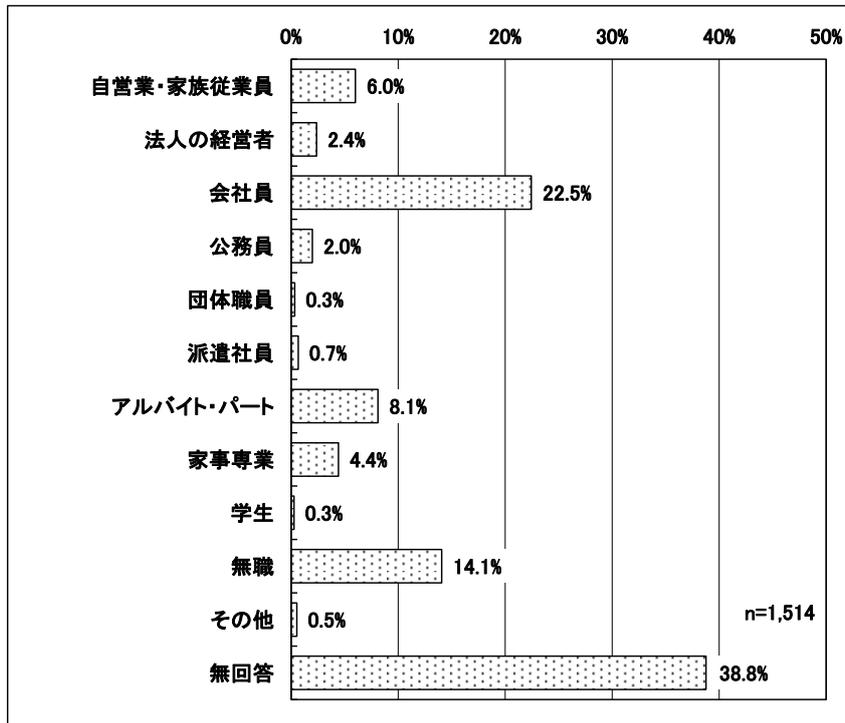
図表Ⅱ－7 世帯の年収



図表Ⅱ－８ 回答者の職業



図表Ⅱ－９ 配偶者の職業



1 まちのイメージ

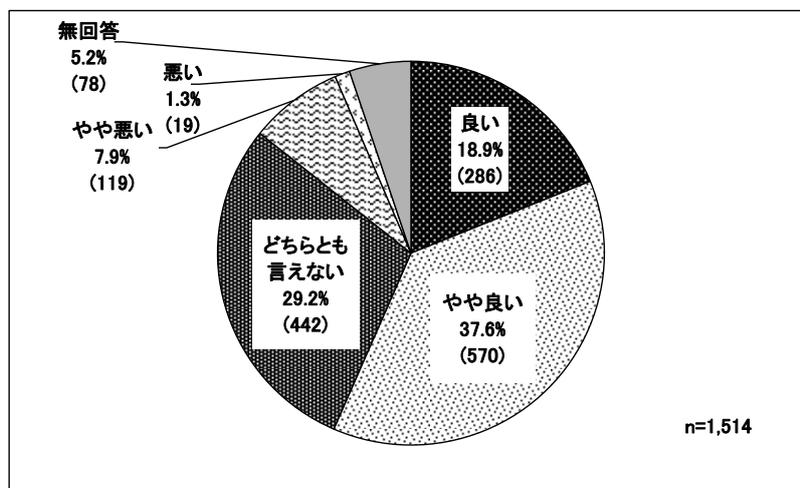
(1) 区全体のイメージ

問1 大田区全体のイメージをご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「良い」と「やや良い」の合計は56.5%となっている－

○「良い (18.9%)」と「やや良い (37.6%)」の合計が56.5%で、「やや悪い (7.9%)」と「悪い (1.3%)」の合計の9.1%を大きく上回っている。

図表Ⅱ-1-1 区全体のイメージ (全体)



【性別・性/年代別・居住地域別】

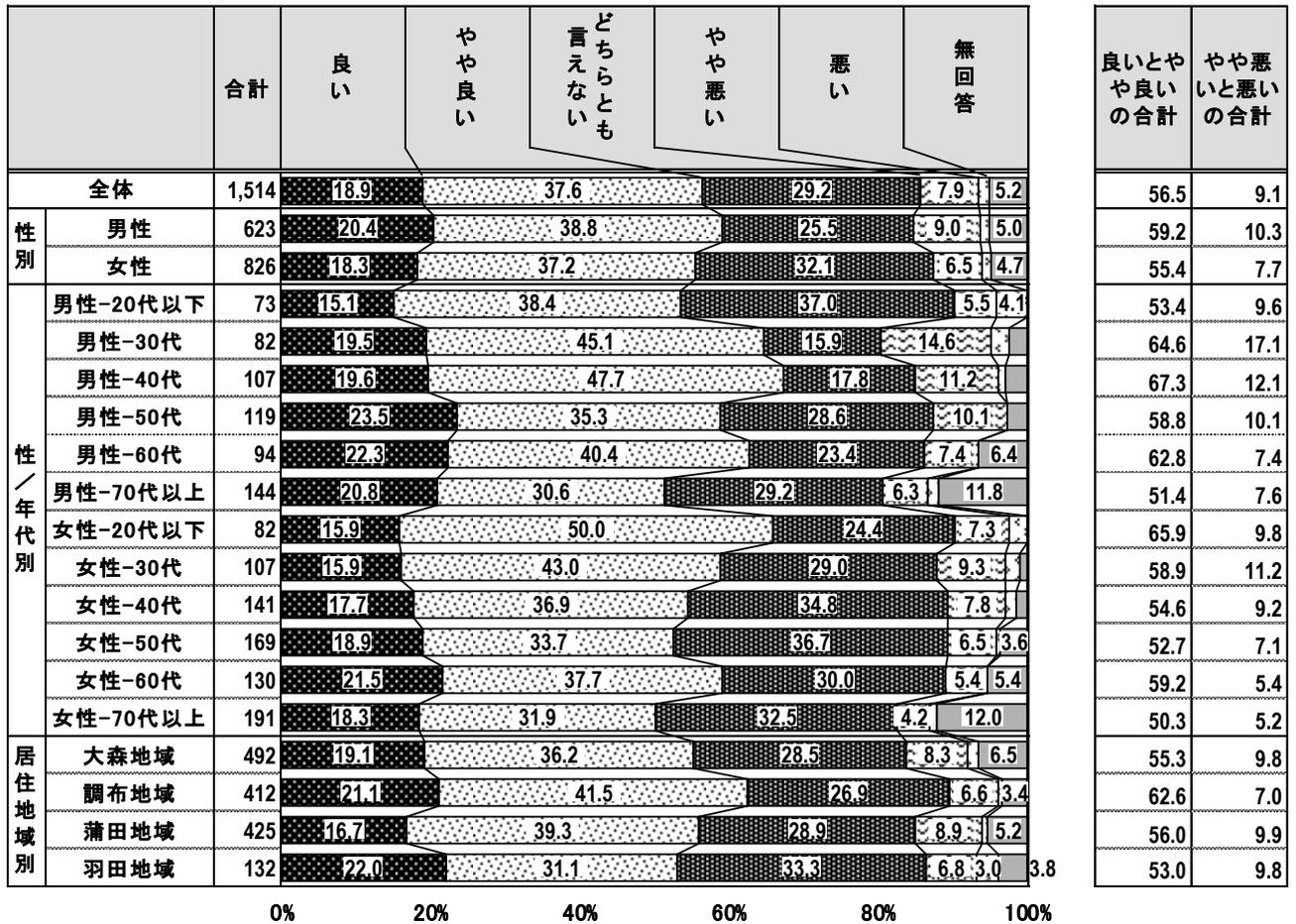
○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「良い」と「やや良い」の合計は、男性40代で67.3%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-1-2 区全体のイメージ（性別・性/年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(2) 区の詳細イメージ

問2 大田区の詳細イメージをご回答ください。

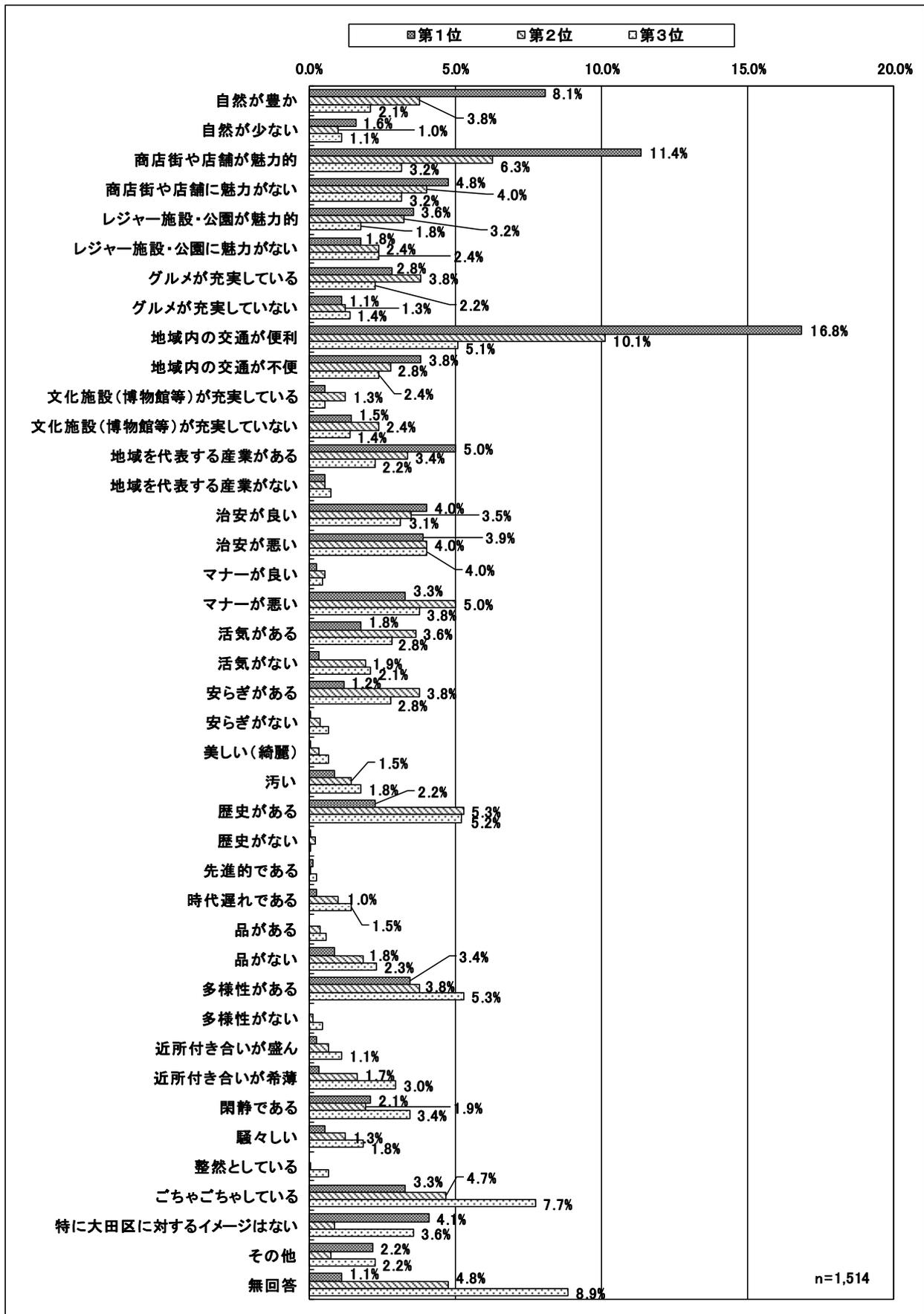
(具体的・抽象的かを問わず、より強いイメージを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「地域内の交通が便利」の16.8%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「地域内の交通が便利」の16.8%であり、「商店街や店舗が魅力的」の11.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率でも「地域内の交通が便利」が10.1%で最も高くなっている。【図表Ⅱ-1-3】

図表Ⅱ-1-3 区の詳細イメージ（全体）

注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

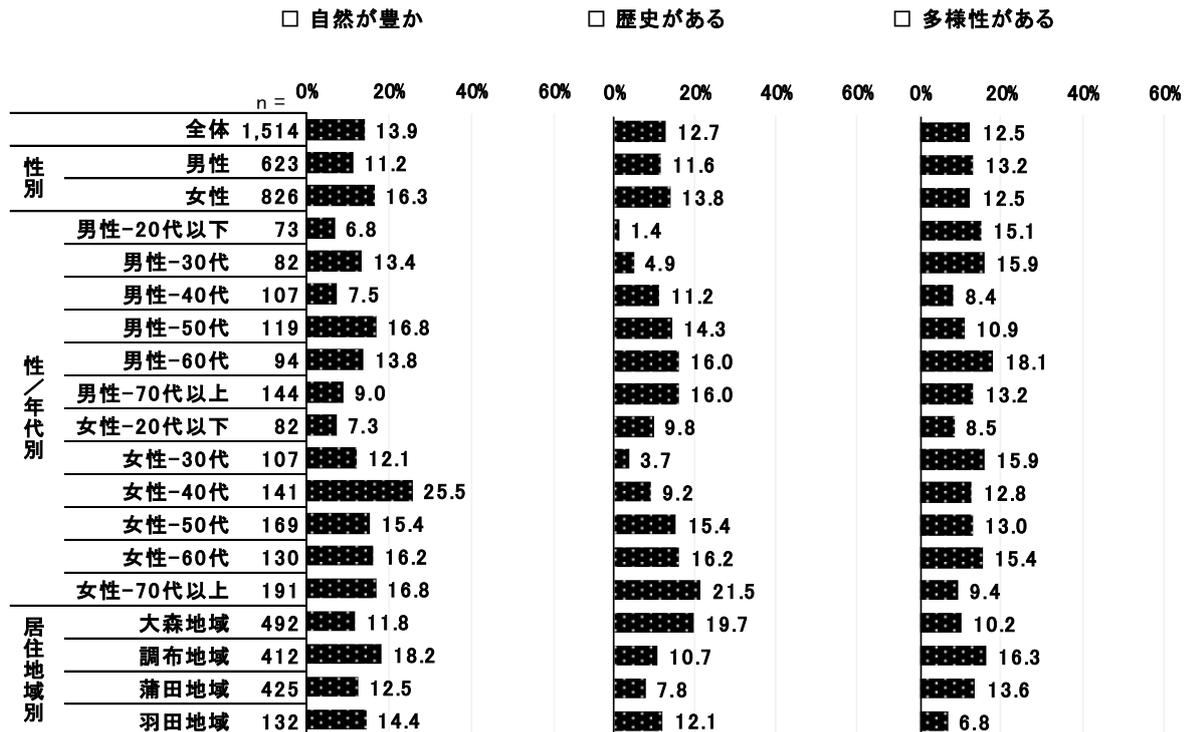
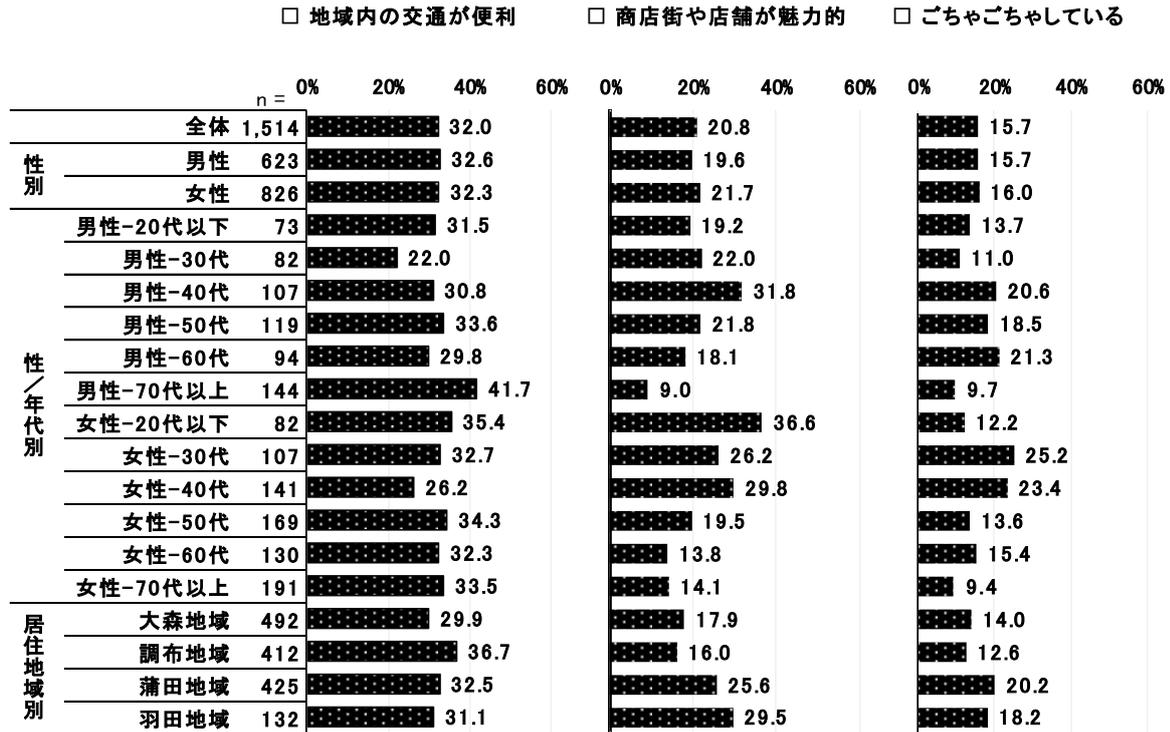
○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、男性40代、女性20代以下・40代では、「商店街や店舗が魅力的」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－1－4 区の詳細イメージ（性別・性/年代別・居住地域別）

注）順位を問う設問では、全体の回答率の上位1位～6位までの選択肢を対象にクロス集計を行っている。（以下同様）



(3) 「治安が悪い」と感じた理由

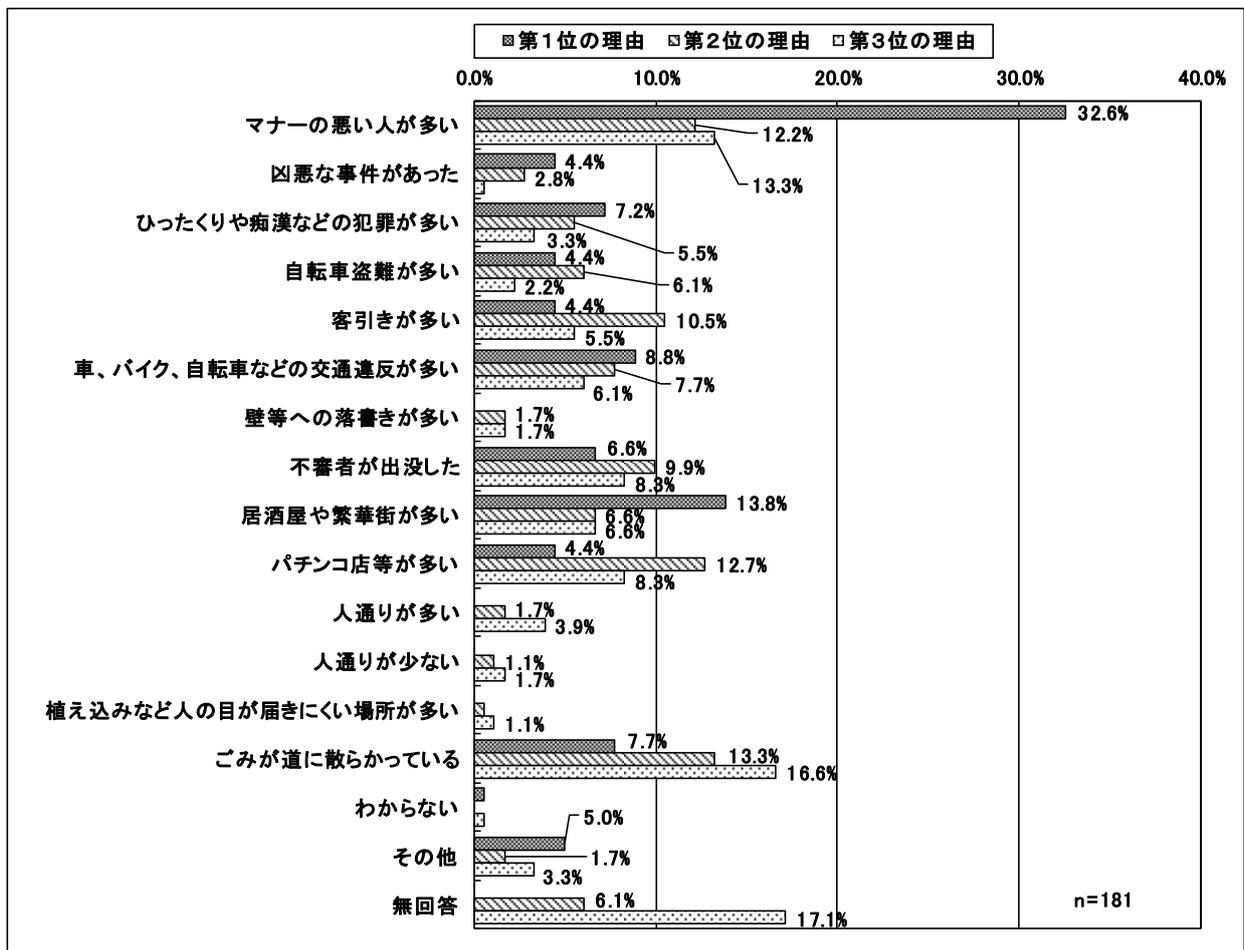
問3 大田区のイメージとして「治安が悪い」と感じた理由をご回答ください。

(具体的な出来事、状況を問わず、より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「マナーの悪い人が多い」の32.6%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「マナーの悪い人が多い」の32.6%であり、「居酒屋や繁華街が多い」の13.8%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「ごみが道に散らかっている」が13.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-1-5 「治安が悪い」と感じた理由(全体)
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。

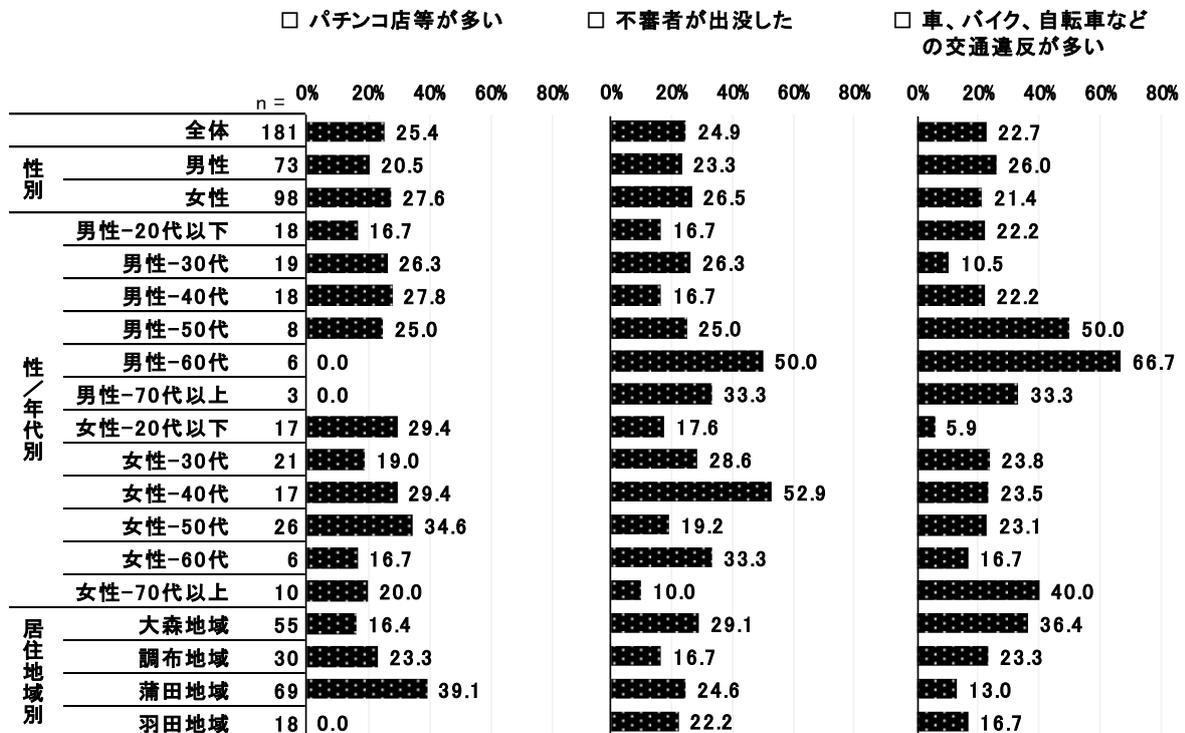
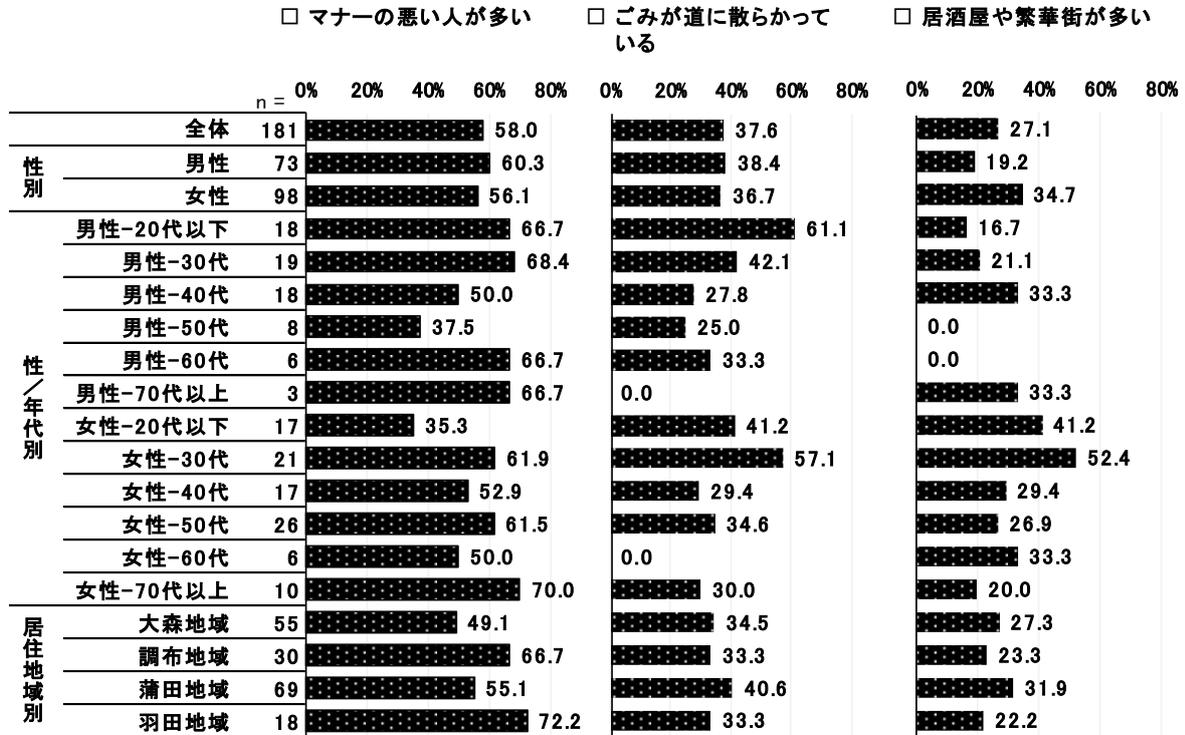


【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－１－６ 「治安が悪い」と感じた理由（性別・性/年代別・居住地域別）



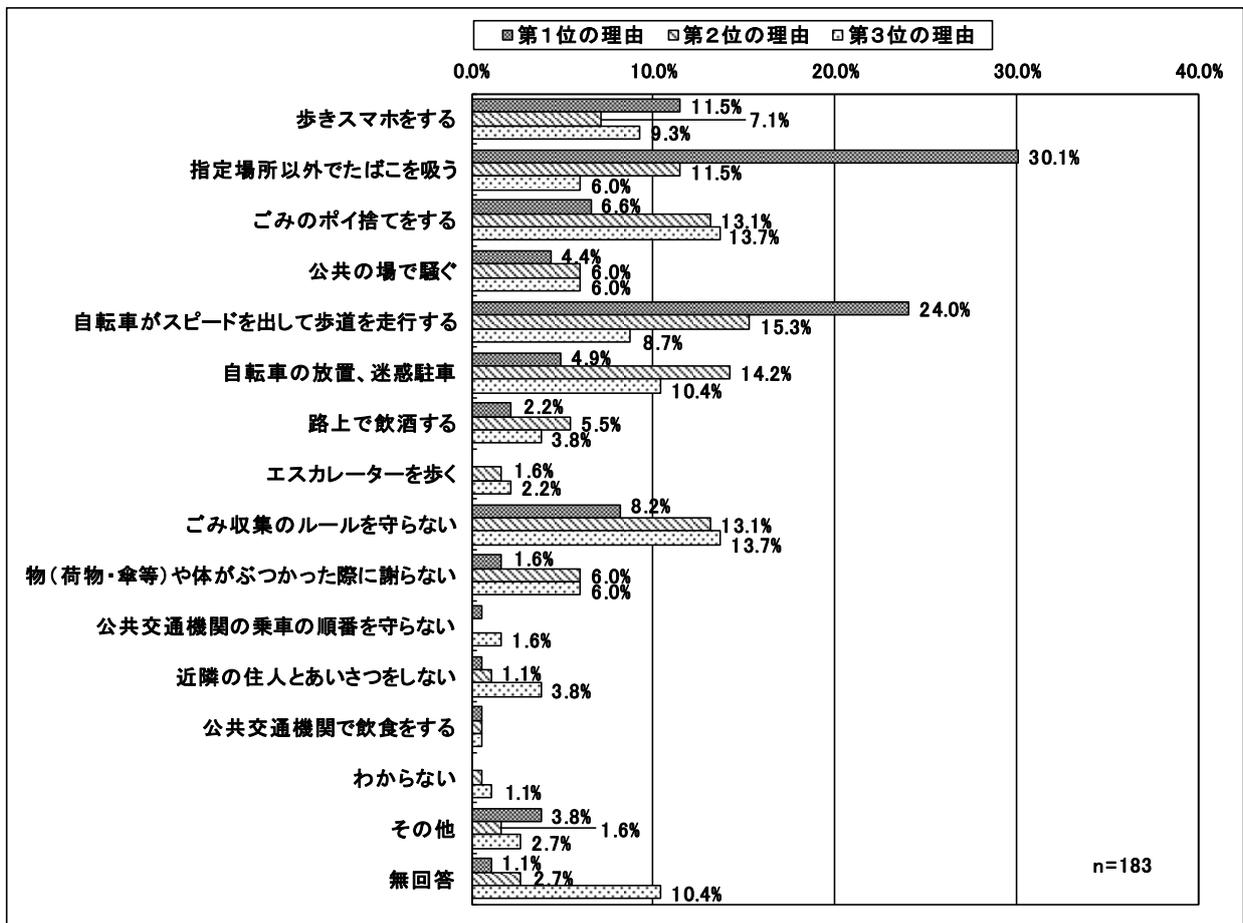
(4) 「マナーが悪い」と感じた理由

問4 大田区のイメージとして「マナーが悪い」と感じた理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「指定場所以外でたばこを吸う」の30.1%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「指定場所以外でたばこを吸う」の30.1%であり、「自転車スピードを出して歩道を走行する」の24.0%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「指定場所以外でたばこを吸う」の11.5%が最も高くなっている。

図表Ⅱ-1-7 「マナーが悪い」と感じた理由(全体)
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。

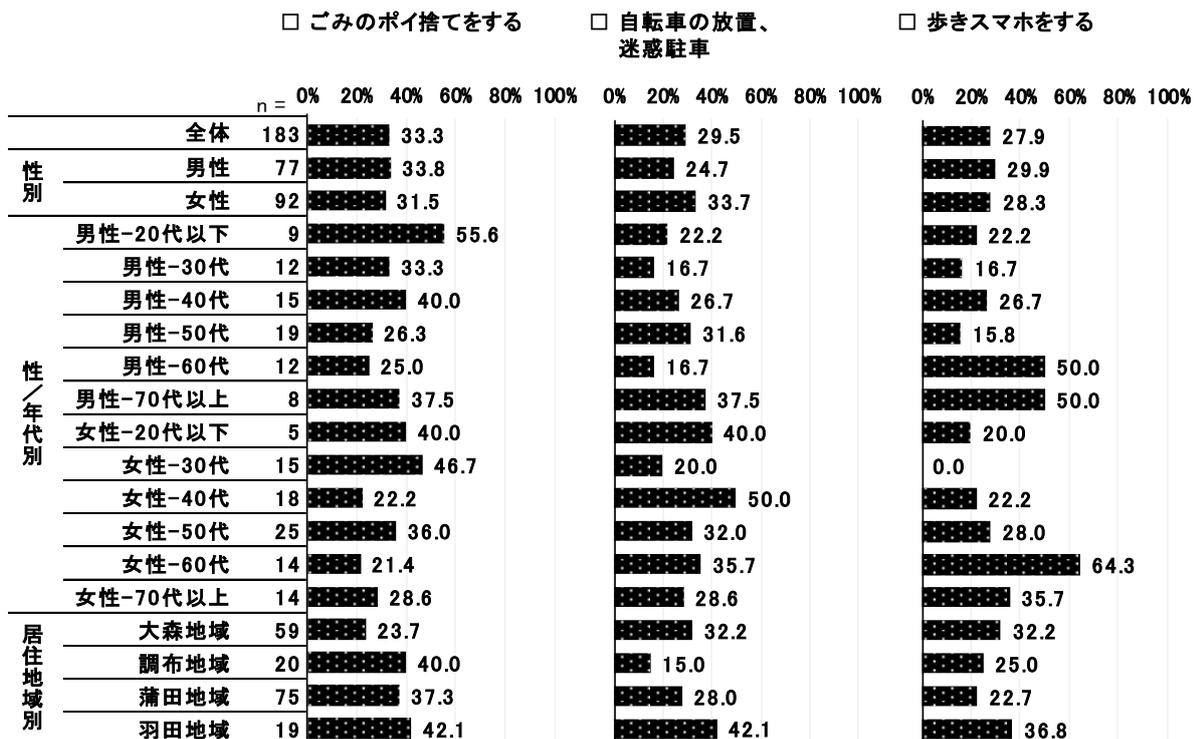
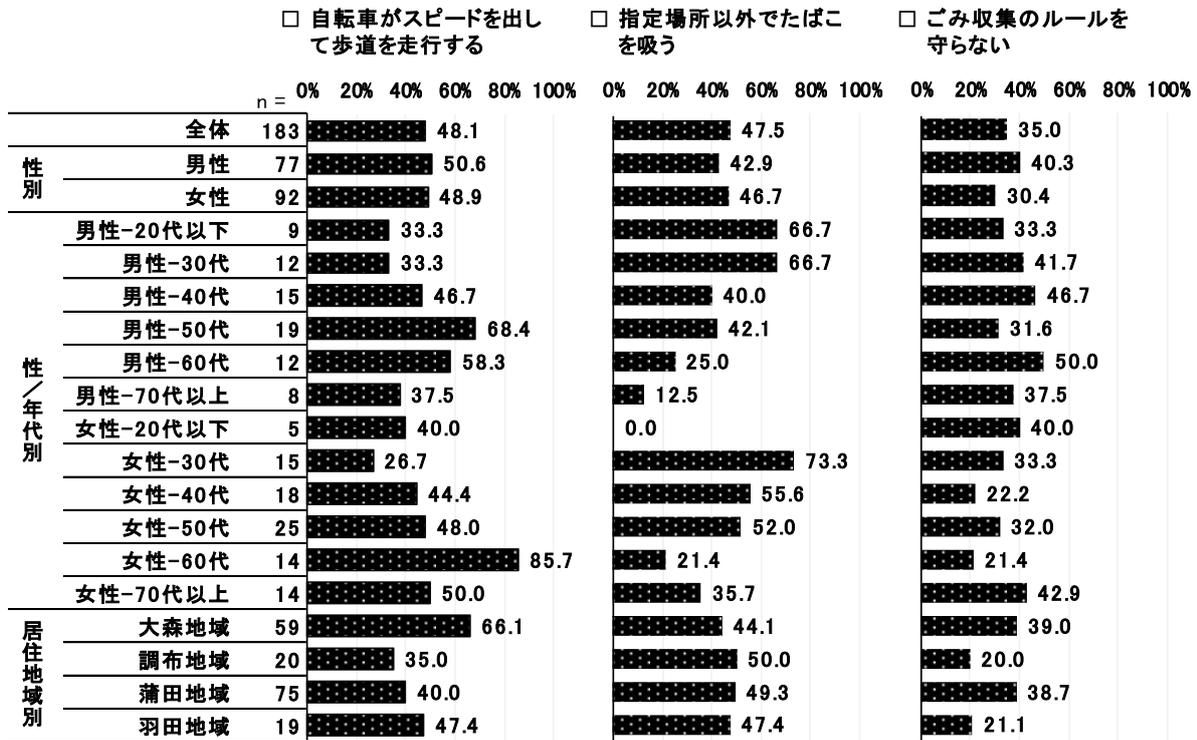


【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○居住地域別でみると、「自転車がスピードを出して歩道を走行する」は、大森地域で66.1%と比較的高くなっており、また、蒲田地域では、「指定場所以外でたばこを吸う」が最も高くなっている。

図表Ⅱ-1-8 「マナーが悪い」と感じた理由（性別・性/年代別・居住地域別）



2 健康

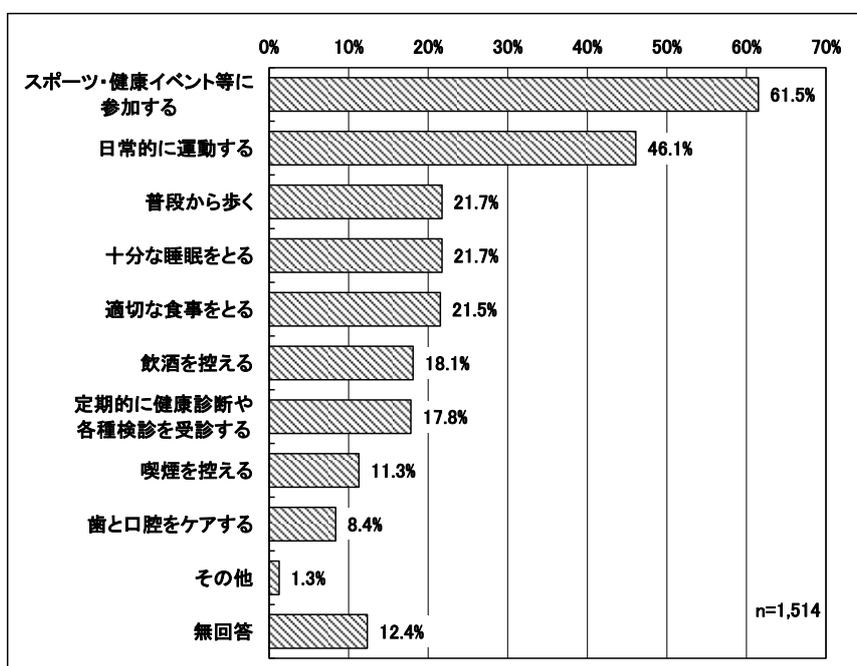
(1) 健康づくりで実践していない行動

問5 健康づくりに関して、実践していない行動についてご回答ください。
(チェックはいくつでも可)

－「スポーツ・健康イベント等に参加する」が61.5%で最も実践していない－

○「スポーツ・健康イベント等に参加する」が61.5%で最も実践しておらず、以下、「日常的に運動する」の46.1%、「普段から歩く」及び「十分な睡眠をとる」の21.7%の順となっている。

図表Ⅱ－2－1 健康づくりで実践していない行動（全体）



【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

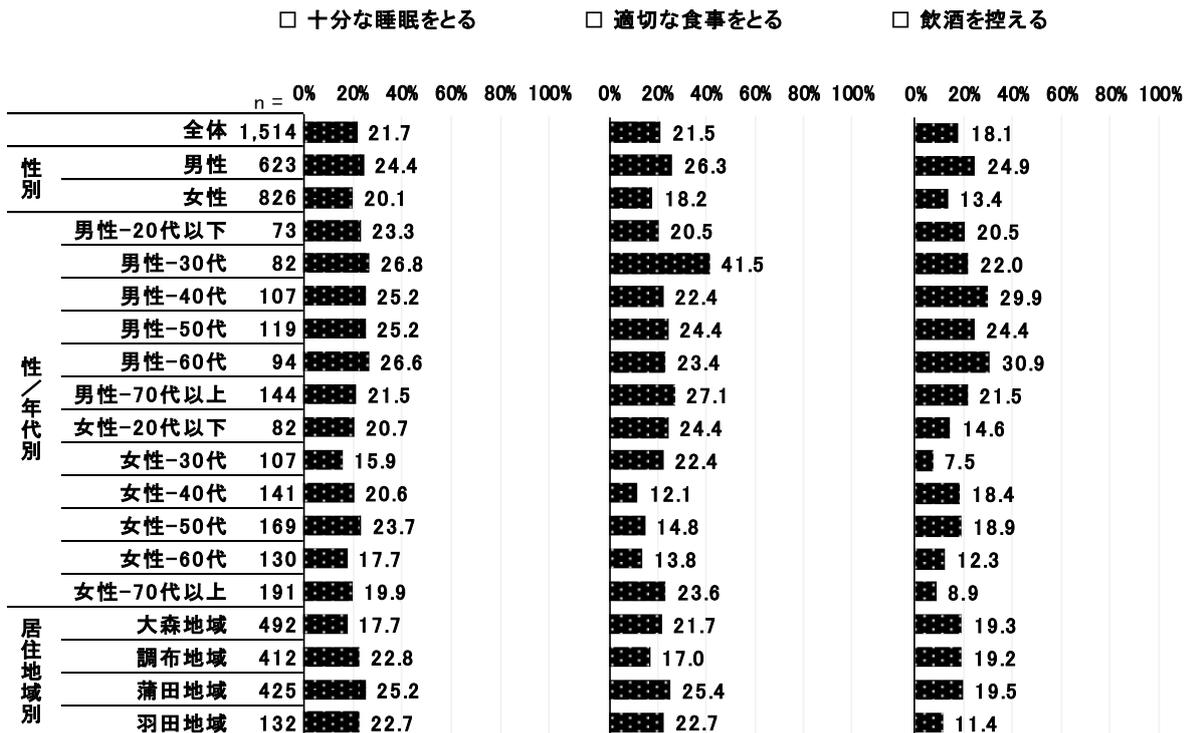
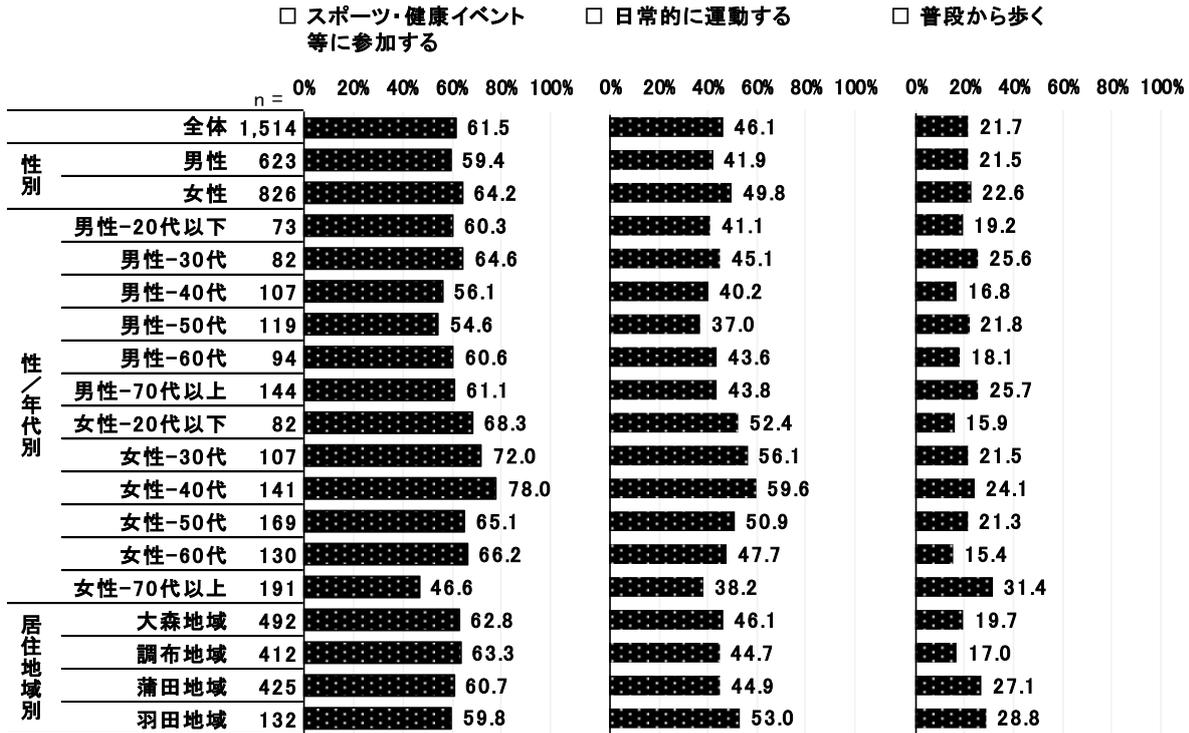
○性別で見ると、大きな差はみられない。

○性/年代別で見ると、「スポーツ・健康イベント等に参加する」は、女性40代で78.0%、女性30代で72.0%と比較的実践していない。

○居住地域別で見ると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-2 健康づくりで実践していない行動（性別・性/年代別・居住地域別）

注）複数回答の設問についても、全体の回答率の上位1位～6位までの選択肢を対象にクロス集計を行っている。（以下同様）



(2) 健康づくりでその行動を実践していない理由

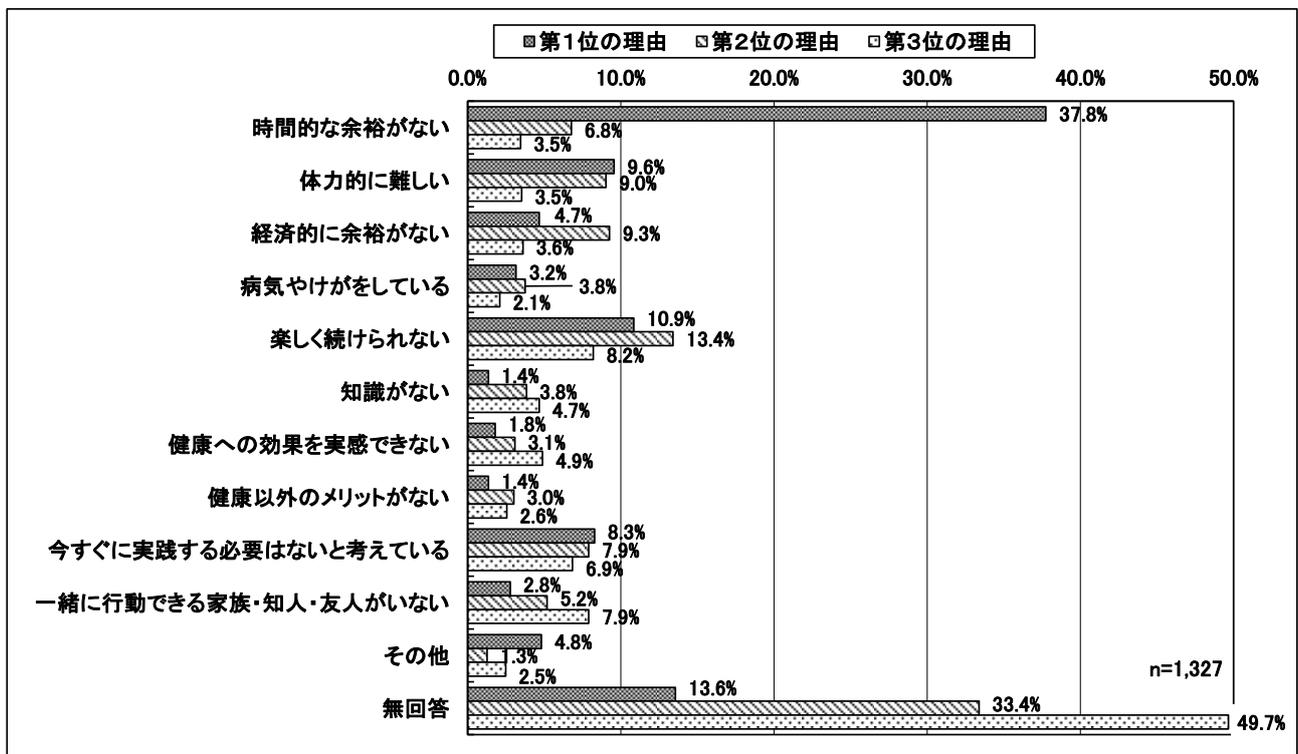
問6 問5で回答した行動について、現在実践していない理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「時間的な余裕がない」の37.8%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「時間的な余裕がない」の37.8%であり、「楽しく続けられない」の10.9%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「楽しく続けられない」が13.4%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-3 健康づくりでその行動を実践していない理由(全体)

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



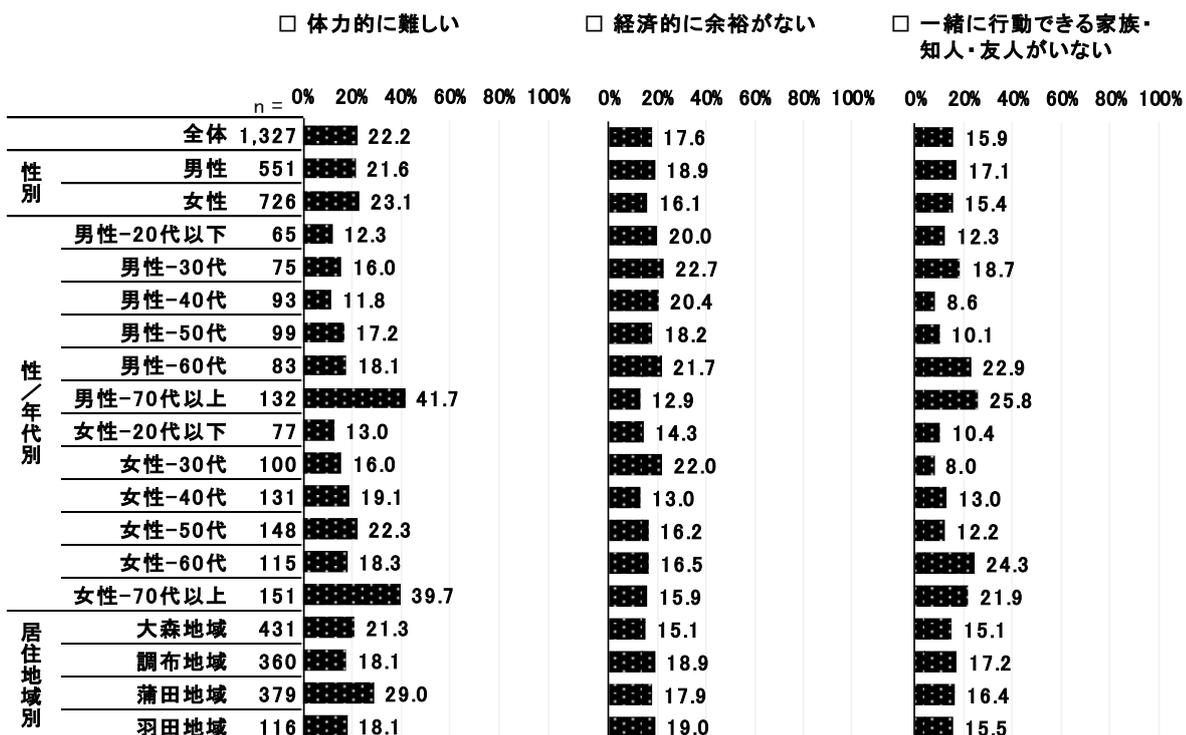
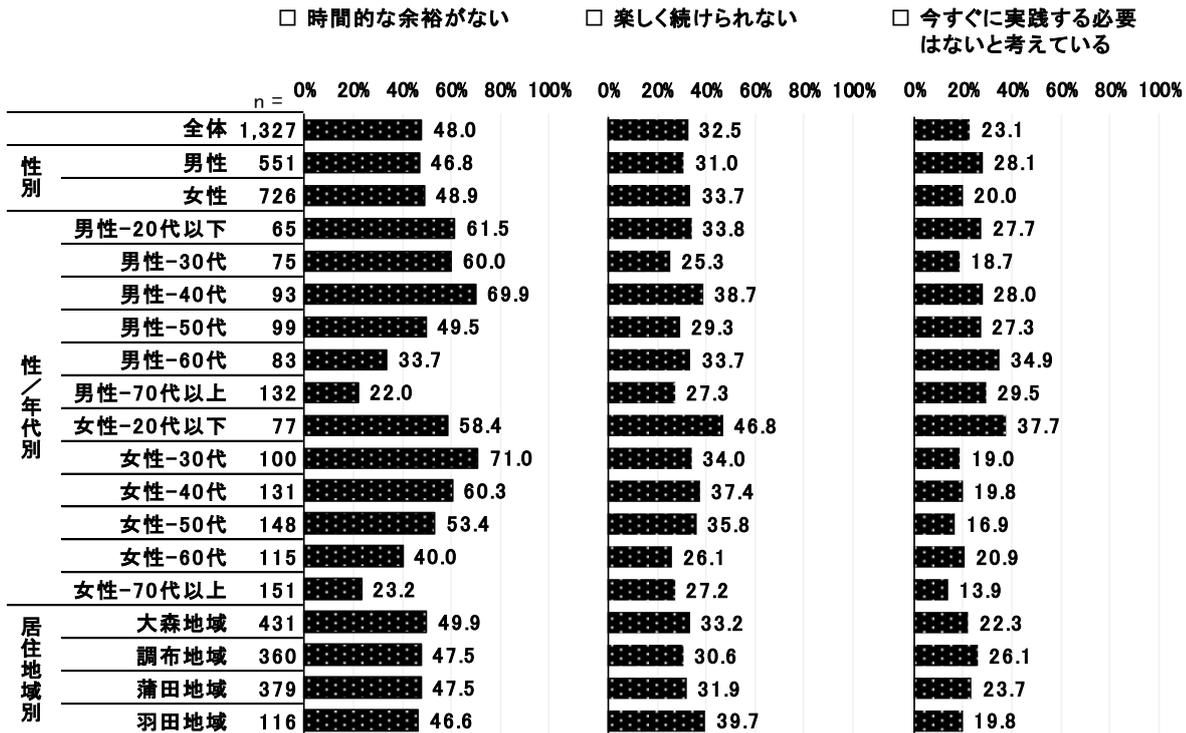
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「時間的な余裕がない」は、女性30代で71.0%、男性40代で69.9%と比較的高くなっており、また、男性60代では「今すぐ実践する必要はないと考えている」、男性・女性70代以上では「体力的に厳しい」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-4 健康づくりでその行動を実践していない理由（性別・性/年代別・居住地域別）



3 地域活動

【地域活動とは】

地域で開催されるイベントなどに参加し、幅広い世代の人々との繋がりを深めることや、地域が抱える様々な課題の解決に向けた取組を指します。ここでは、趣味などを通じて関わる活動、団体に所属しない活動（自主的なごみ拾いなど）も含まれます。

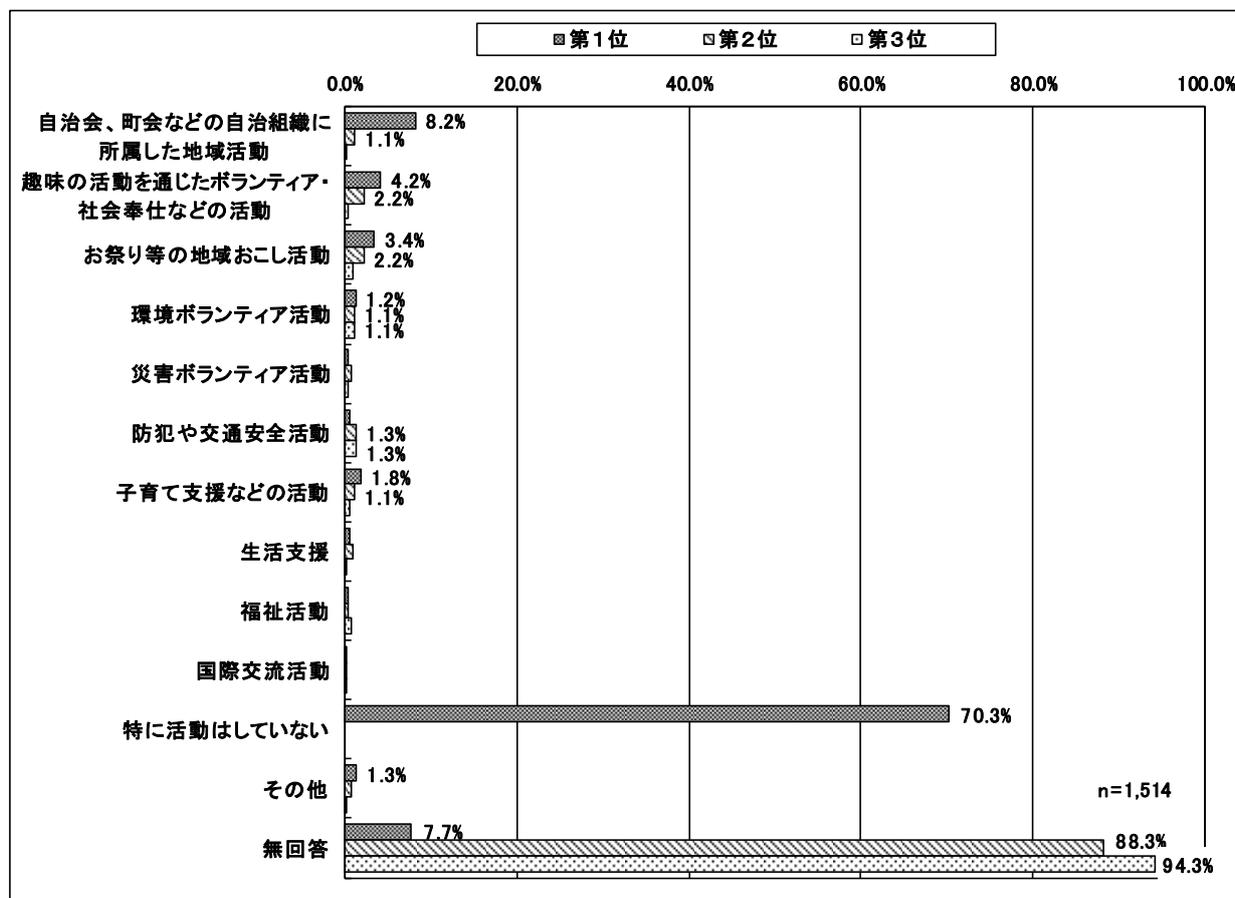
（１）過去１年以内に参加した、かかわった地域活動

問７ 過去１年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験の有無についてご回答ください。
 （より重点をおいている活動を、最大３位まで選び、番号をご記入ください）

－第１位は、「特に活動はしていない」の70.3%で最も高い－

○第１位の回答率が最も高かったのは、「特に活動はしていない」の70.3%であり、「自治会、町会などの自治組織に所属した地域活動」の8.2%がこれに次いでいるほか、第２位の回答率では、「趣味の活動を通じたボランティア・社会奉仕などの活動」及び「お祭り等の地域おこし活動」が2.2%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－３－１ 過去１年以内に参加した、かかわった地域活動（全体）
 注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



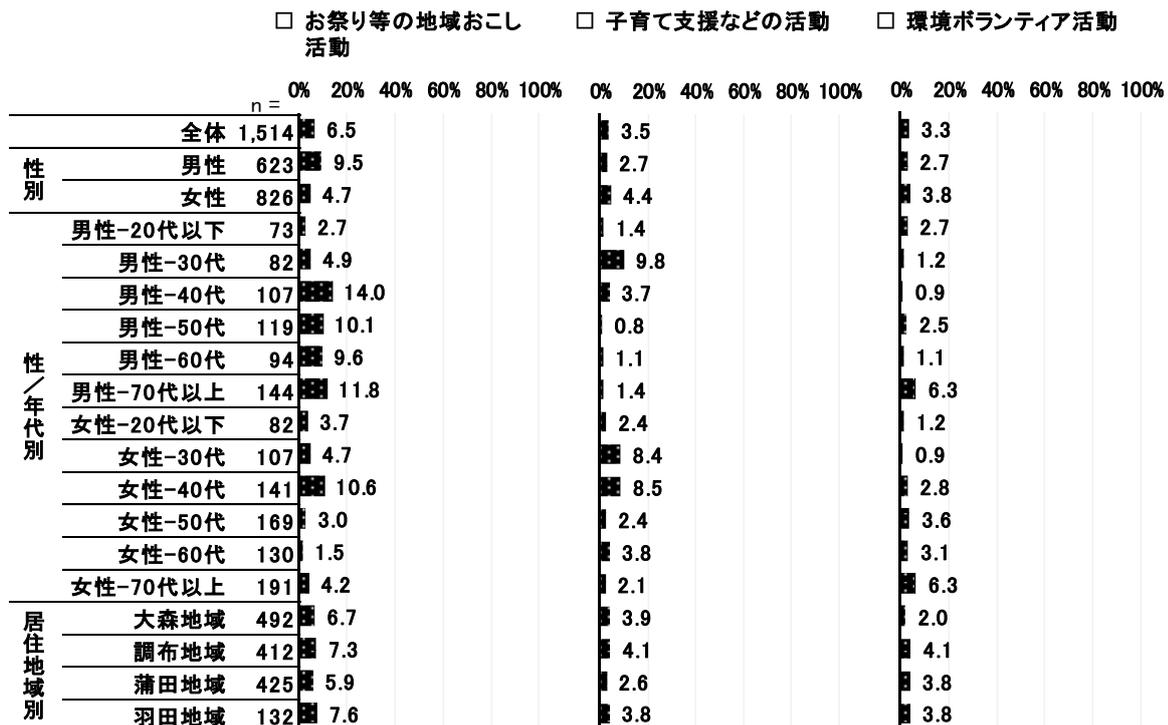
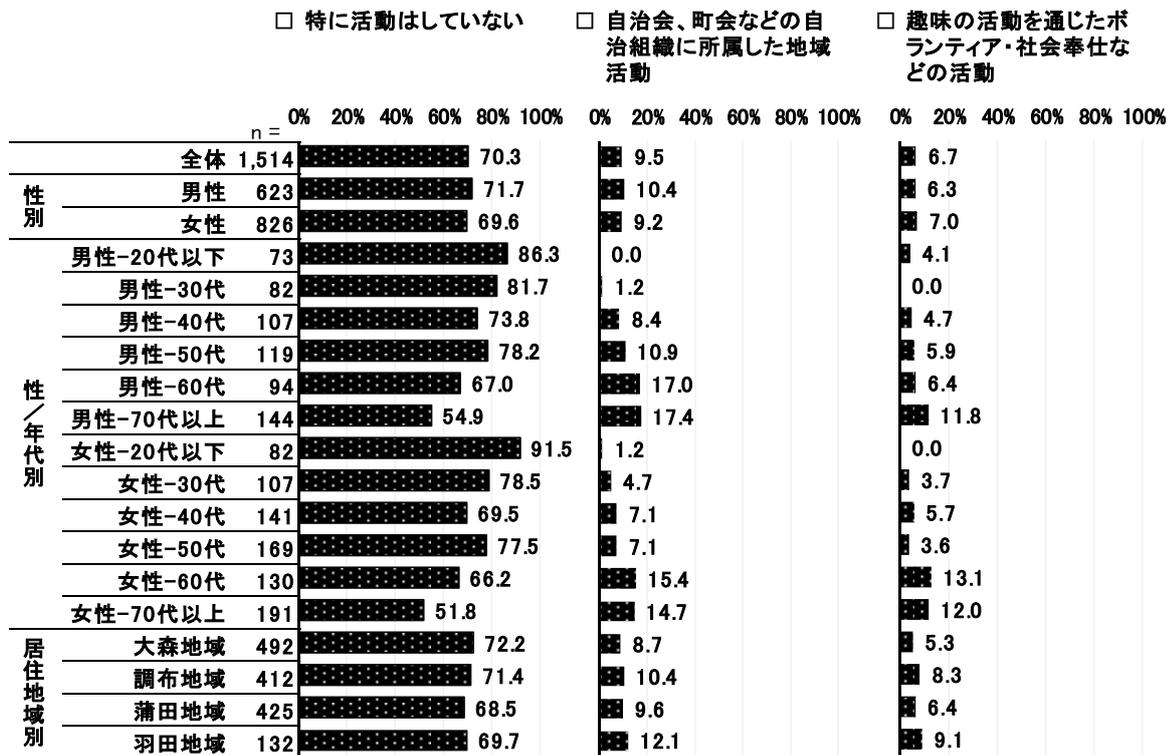
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「特に活動はしていない」は、女性20代以下で91.5%、男性20代以下で86.3%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-3-2 過去1年以内に参加した、かかわった地域活動（性別・性/年代別・居住地域別）



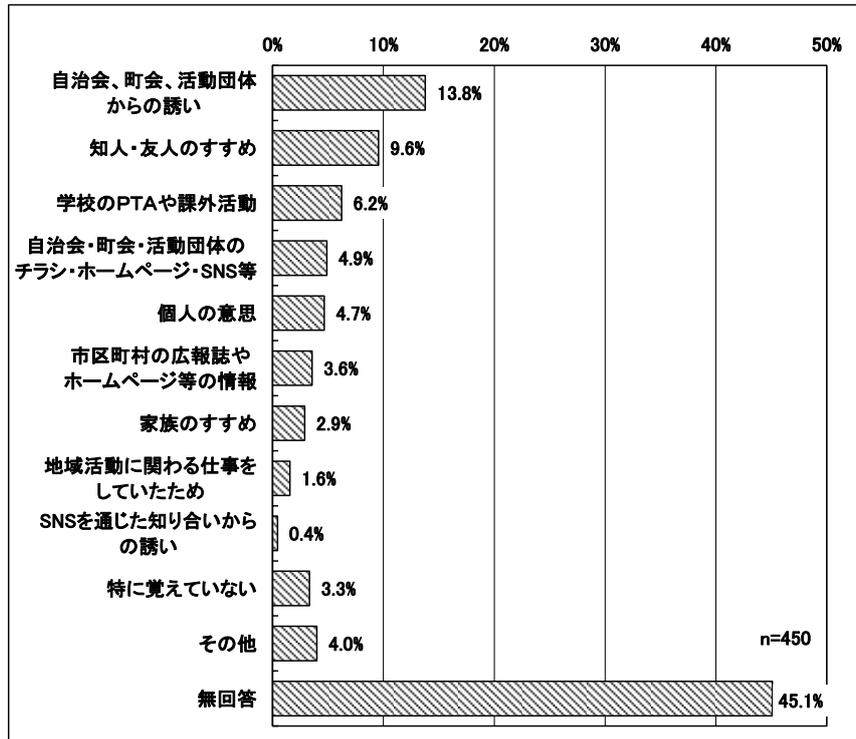
(2) 地域活動を始めたきっかけ

問8 地域活動を始めたきっかけについてご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「自治会、町会、活動団体からの誘い」が13.8%で最も高い－

○「自治会、町会、活動団体からの誘い」が13.8%で最も高く、以下、「知人・友人のすすめ」の9.6%、「学校のPTAや課外活動」の6.2%の順となっている。

図表Ⅱ－3－3 地域活動を始めたきっかけ(全体)



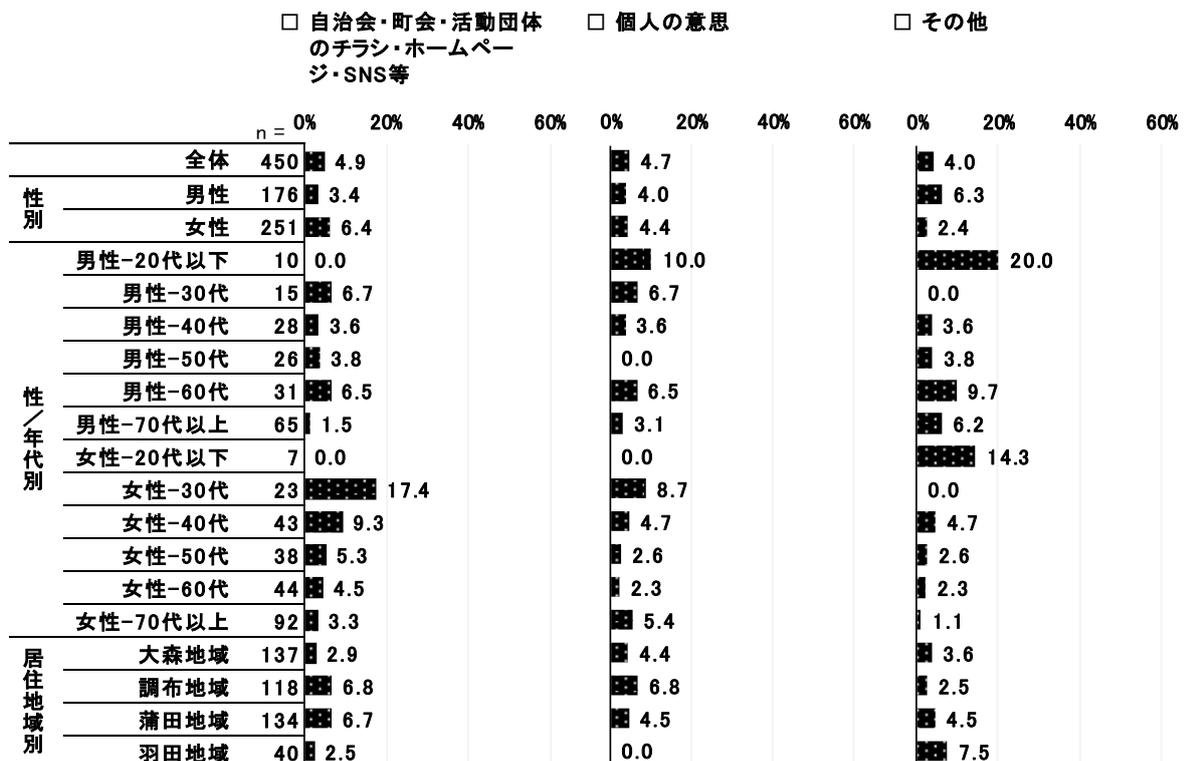
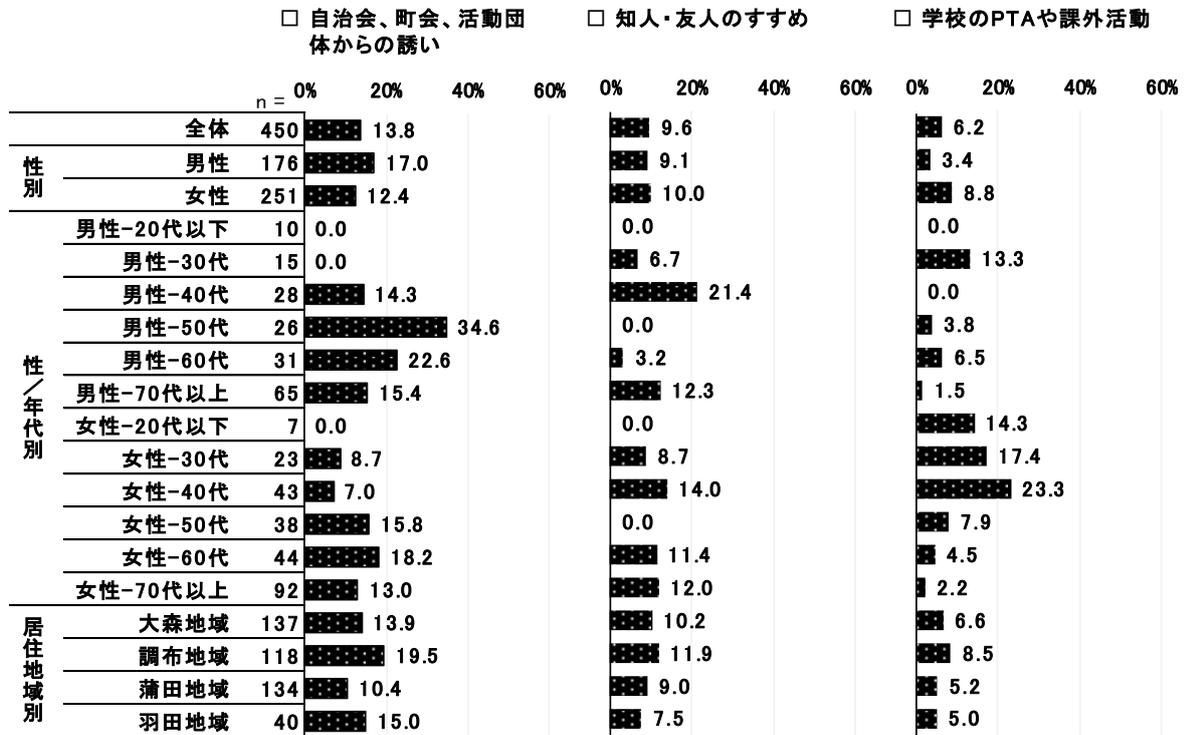
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、女性40代では「学校のPTAや課外活動」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-3-4 地域活動を始めたきっかけ（性別・性/年代別・居住地域別）



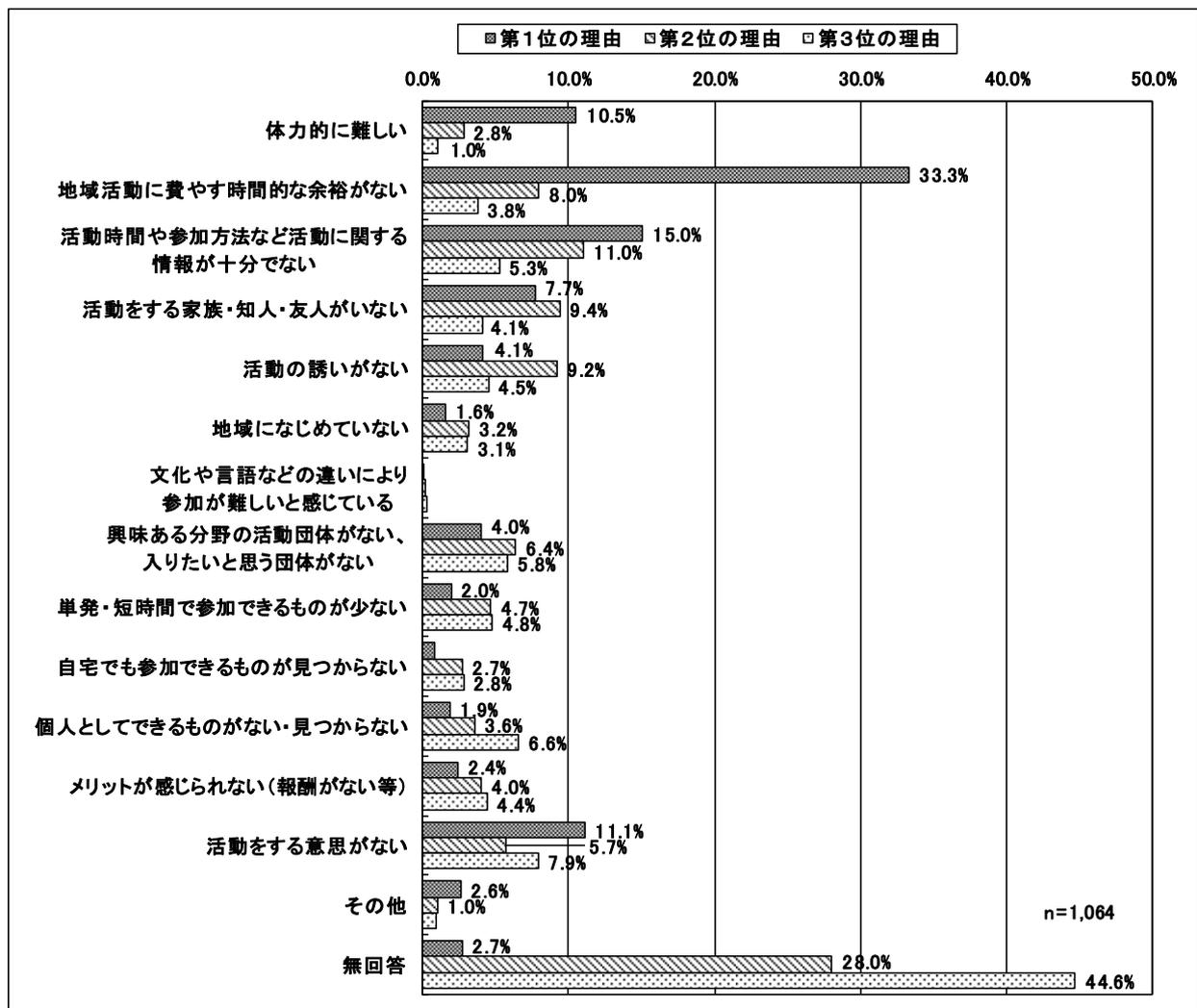
(3) 地域活動に取り組んでいない理由

問9 現在、あなたが地域活動に取り組んでいない理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「地域活動に費やす時間的な余裕がない」の33.3%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「地域活動に費やす時間的な余裕がない」の33.3%であり、「活動時間や参加方法など活動に関する情報が十分でない」の15.0%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「活動時間や参加方法など活動に関する情報が十分でない」が11.0%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-3-5 地域活動に取り組んでいない理由(全体)
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



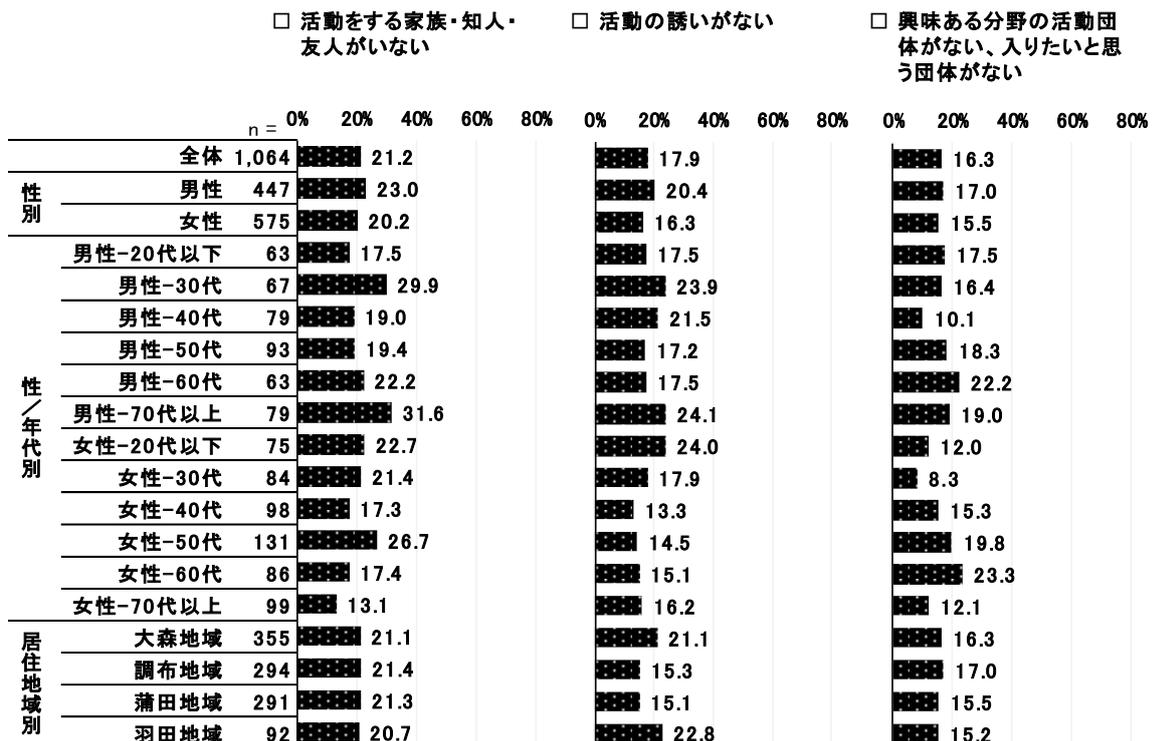
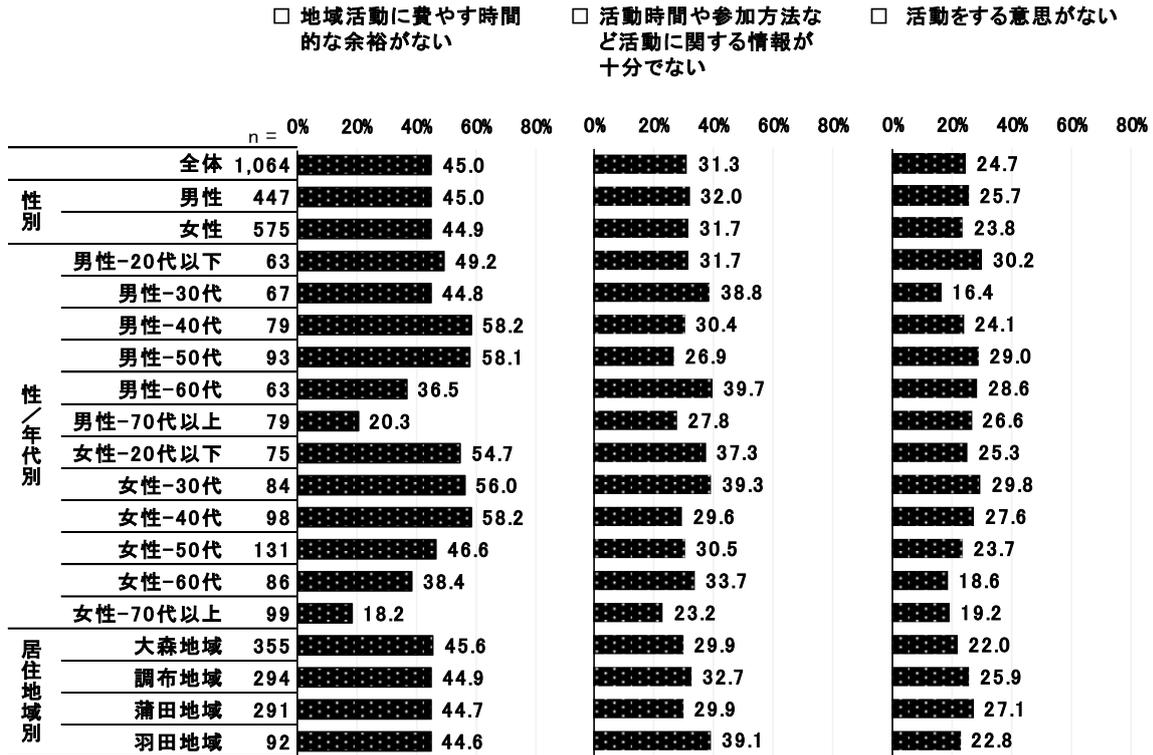
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「地域活動に費やす時間的な余裕がない」は、男性・女性 40 代で 58.2%と比較的高くなっており、また、男性 60 代では「活動時間や参加方法など活動に関する情報が十分でない」、男性 70 代以上では「活動をする家族・知人・友人がいない」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-3-6 地域活動に取り組んでいない理由（性別・性/年代別・居住地域別）



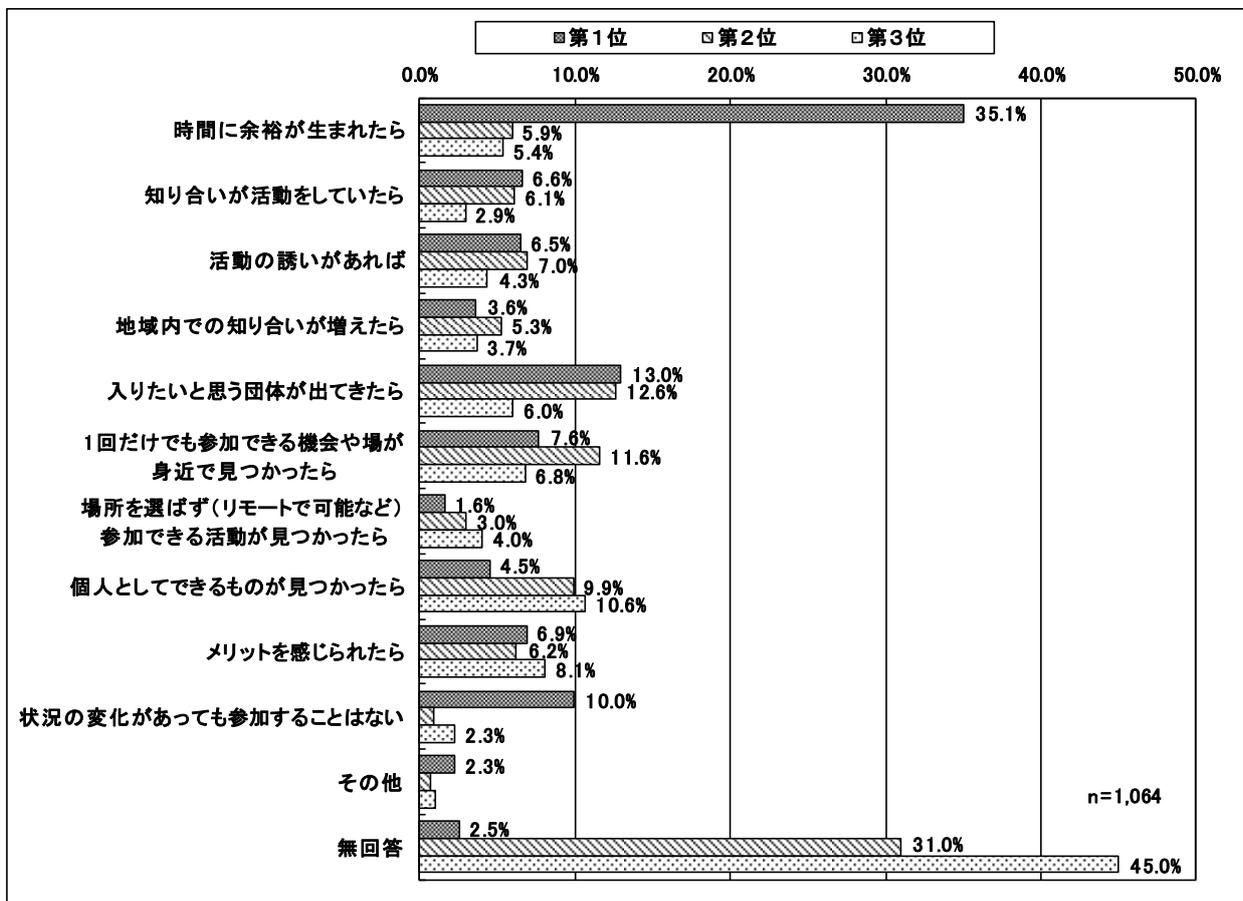
(4) 地域活動に参加するための状況の変化

問 10 今後、どのような状況変化があれば地域活動に参加するかご回答ください。
 (より重要と考える状況変化について、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「時間に余裕が生まれたら」の35.1%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「時間に余裕が生まれたら」の35.1%であり、「入りたいと思う団体が出てきたら」の13.0%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「入りたいと思う団体が出てきたら」が12.6%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-3-7 地域活動に参加するための状況の変化(全体)
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



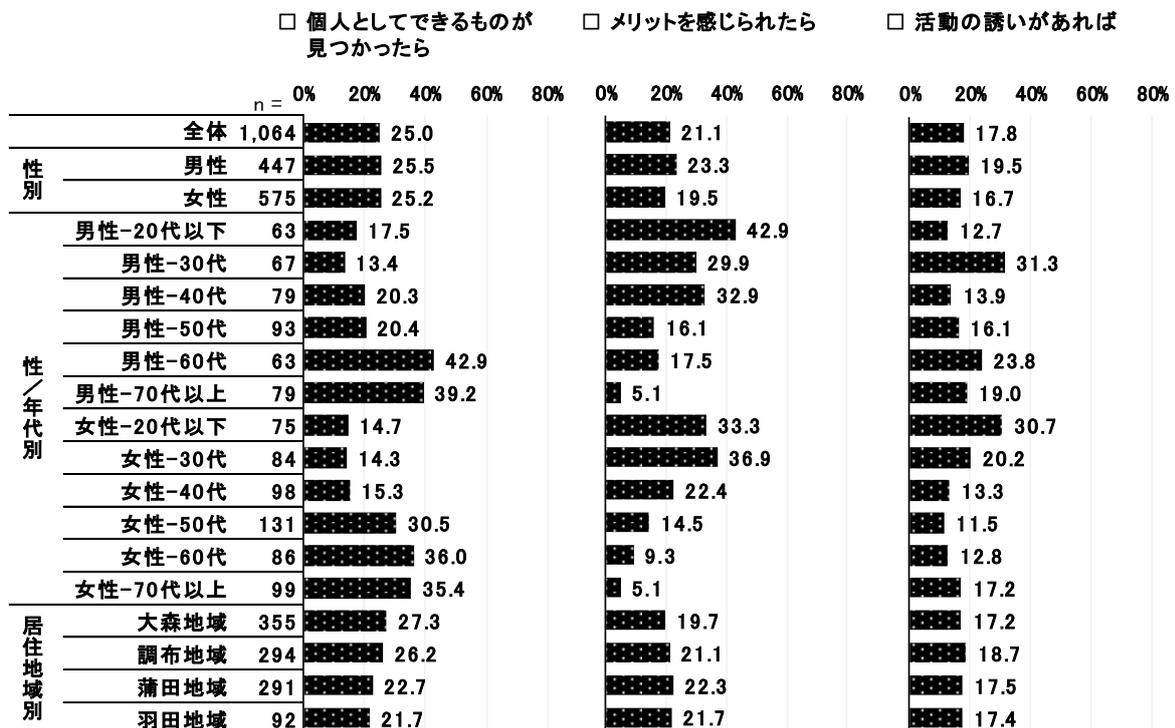
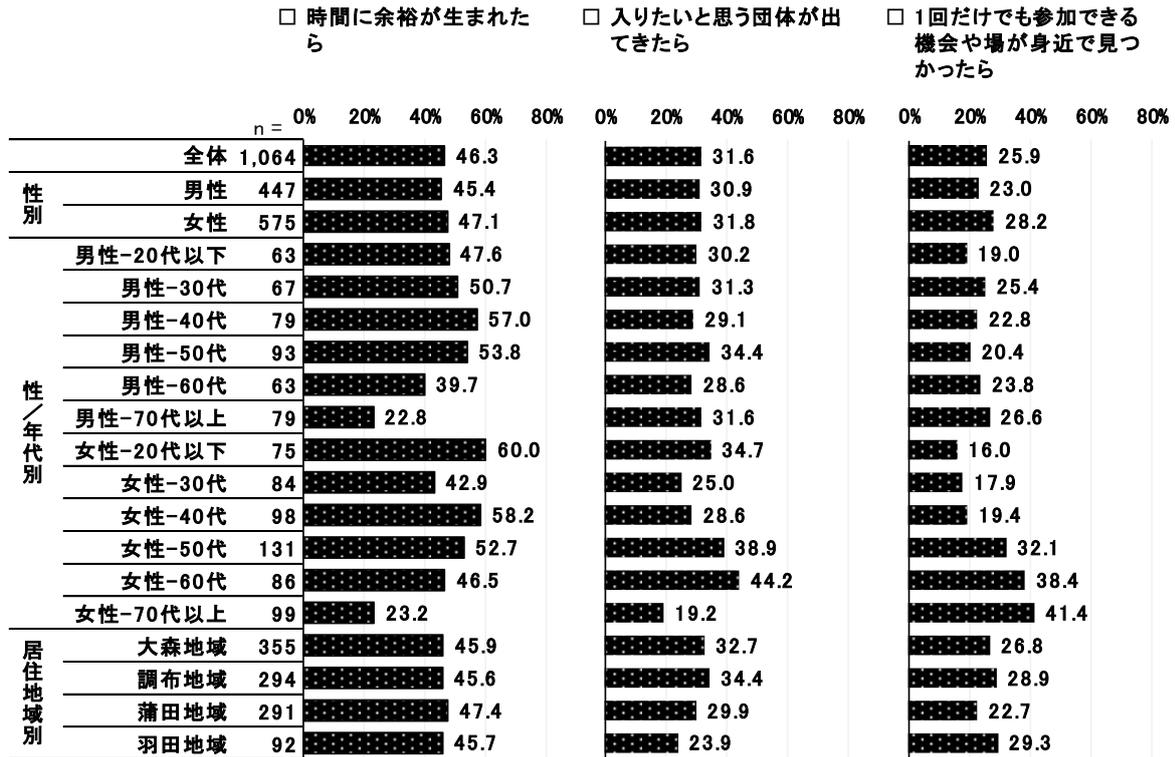
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「時間に余裕が生まれたら」は、女性20代以下で60.0%、女性40代で58.2%と比較的高くなっており、また、男性70代以上では「個人としてできるものが見つかったら」、女性70代以上では「1回だけでも参加できる機会や場が身近で見つかったら」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-3-8 地域活動に参加するための状況の変化（性別・性/年代別・居住地域別）



(1) 現在、今後の予定及び理想的な子どもの数

問 11 子どもの数についてご回答ください。(各設問、1つずつチェック)

※以下の文章では、「現在の子どもの数」と「今後の子どもの予定」の合計を、「現実的な子どもの予定数」と表記する。

-20代から40代に関して、
理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」は
それぞれ80.0%、73.5%、26.7%であるのに対し、
現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」は
それぞれ60.3%、42.2%、9.9%となっている-

○20代に関して、理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ70.5%、65.9%、21.2%であるのに対し、現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ41.7%、32.6%、6.1%となっている。

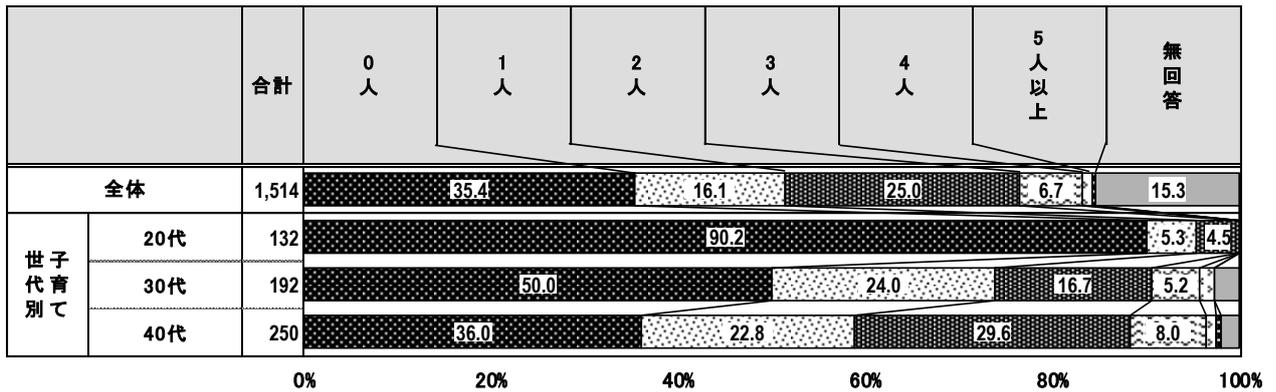
【図表Ⅱ-4-1～4、以下同様】

○30代に関して、理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ84.4%、77.6%、34.4%であるのに対し、現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ67.2%、49.0%、13.0%となっている。

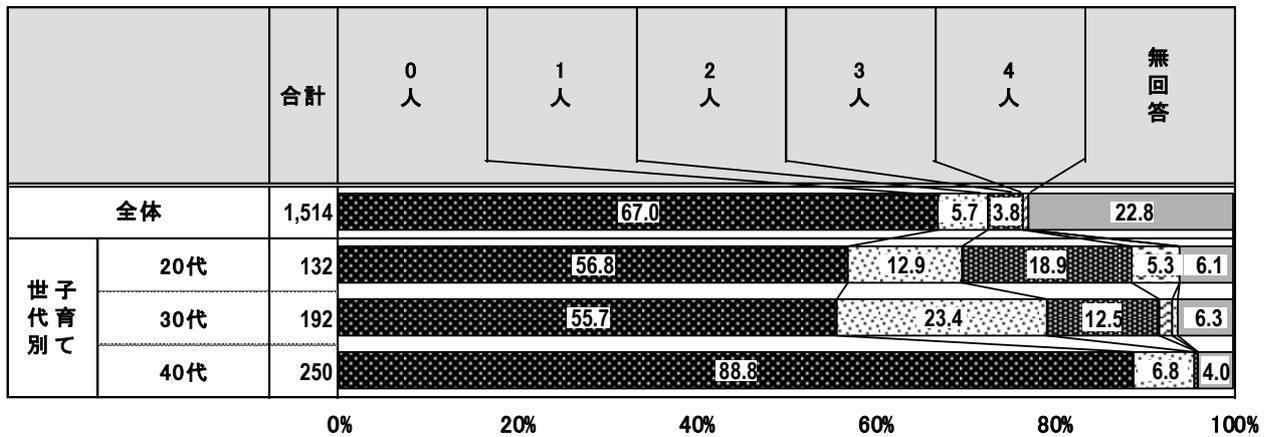
○40代に関して、理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ81.6%、74.4%、23.6%であるのに対し、現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ64.8%、42.0%、9.6%となっている。

図表Ⅱ-4-1 現在の子どもの数（子育て世代別）

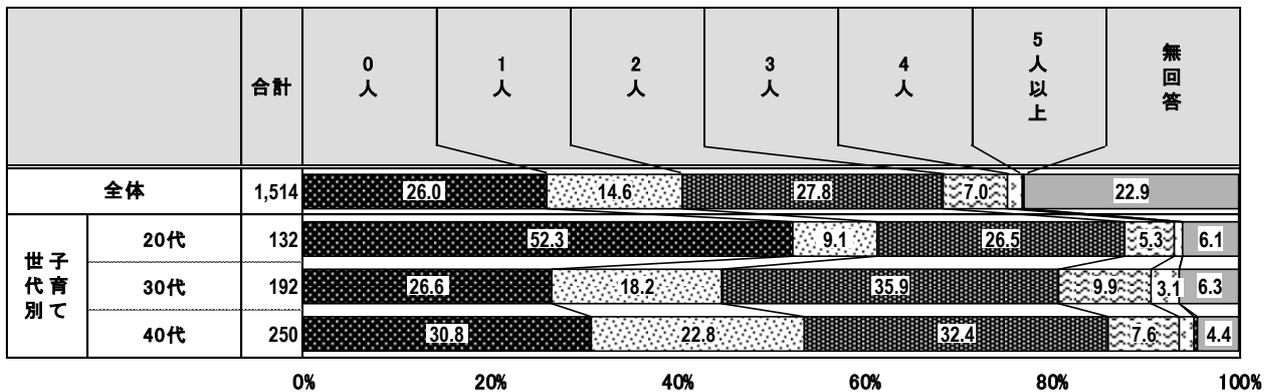
注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。（以下同様）



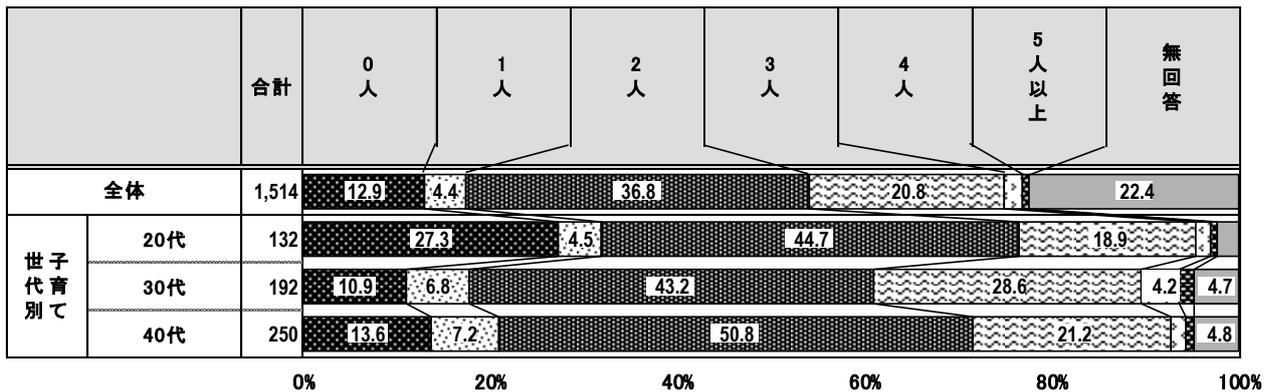
図表Ⅱ-4-2 今後の子どもの予定（子育て世代別）



図表Ⅱ-4-3 現実的な子どもの予定数（子育て世代別）



図表Ⅱ-4-4 理想的な子どもの数（子育て世代別）



(2) 現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由

問 12 「①現在の子どもの数」と「②今後の子どもの予定」の合計が、「③理想的な子どもの数」よりも少ない理由をご回答ください。

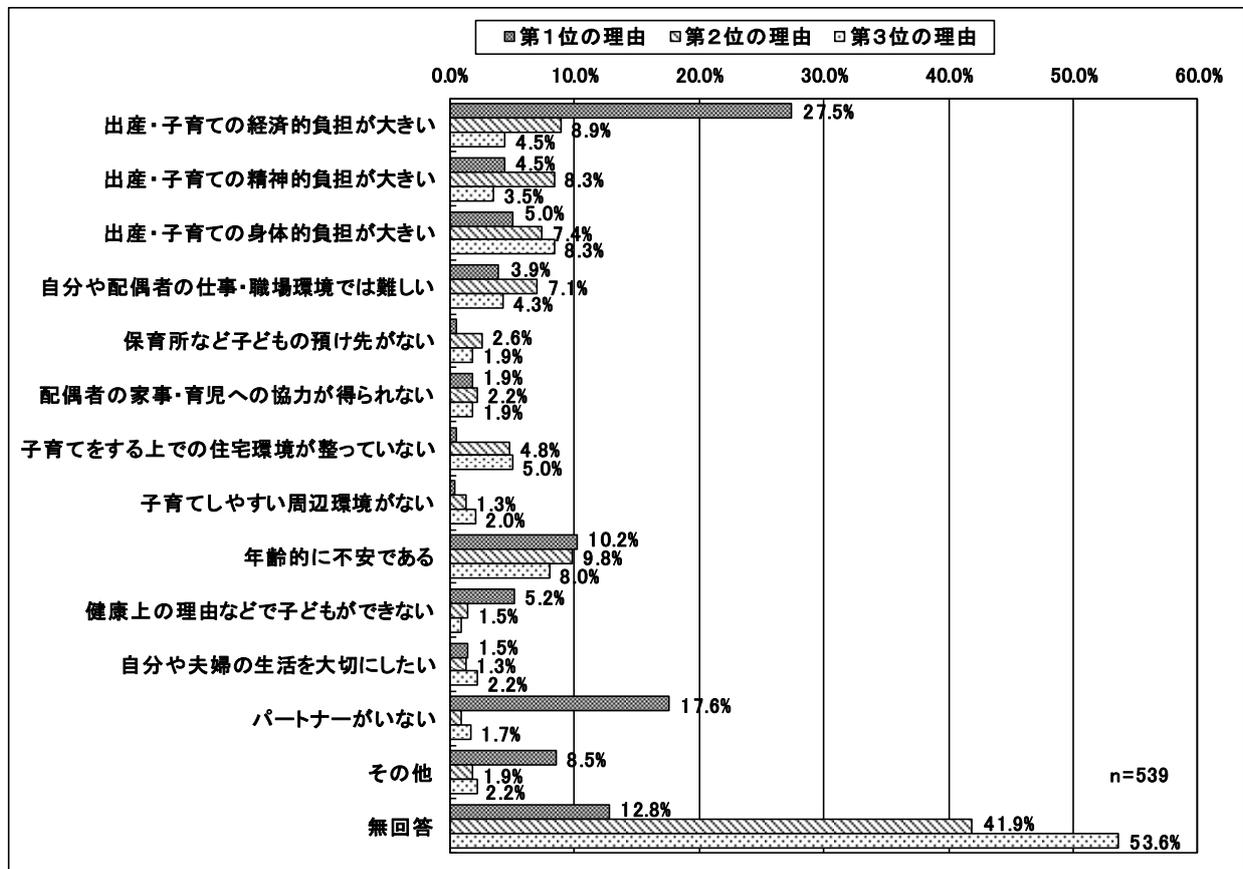
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「出産・子育ての経済的負担が大きい」の27.5%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「出産・子育ての経済的負担が大きい」の27.5%であり、「パートナーがいない」の17.6%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「年齢的に不安である」が9.8%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-4-5 現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由（全体）

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



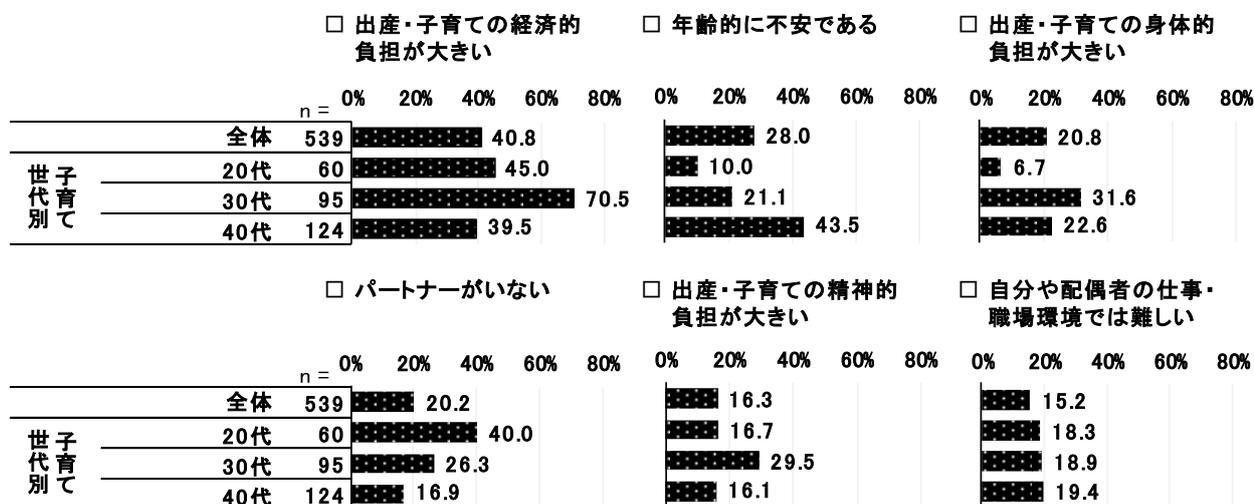
【子育て世代別】（上位6項目）

○20代では、「出産・子育ての経済的負担が大きい」が45.0%で最も高く、以下、「パートナーがない」の40.0%、「自分や配偶者の仕事・職場環境では難しい」の18.3%の順となっている。

○30代では、「出産・子育ての経済的負担が大きい」が70.5%で最も高く、以下、「出産・子育ての身体的負担が大きい」の31.6%、「出産・子育ての精神的負担が大きい」の29.5%の順となっている。

○40代では、「年齢的に不安である」が43.5%で最も高く、以下、「出産・子育ての経済的負担が大きい」の39.5%、「出産・子育ての身体的負担が大きい」の22.6%の順となっている。

図表Ⅱ-4-6 現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由
（子育て世代別）



(3) 理想的な子どもの数を持つための条件

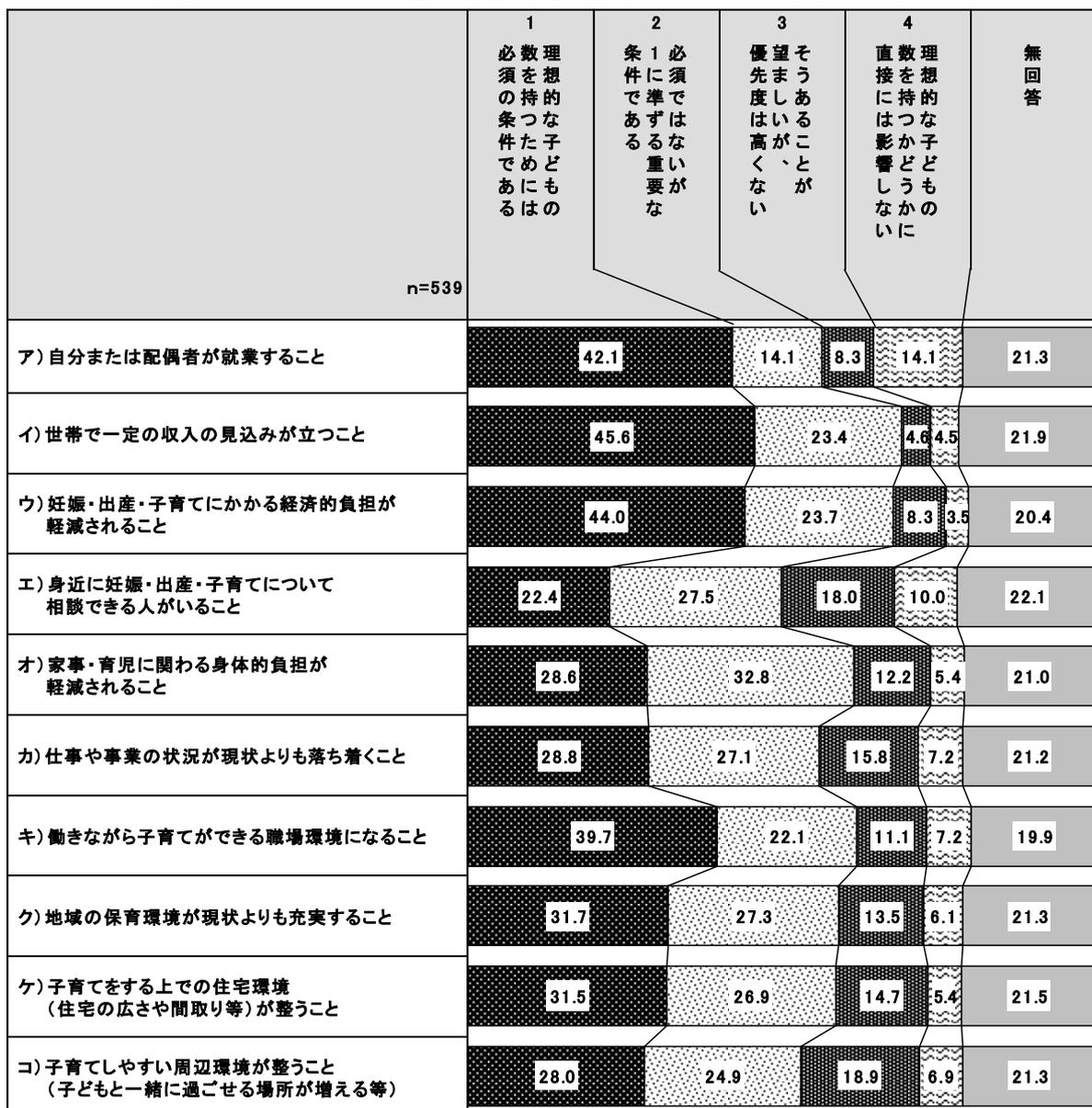
問 13 次のア～コのうち、どのような条件が整えば、理想的な子どもの数を持つことができると考えますか。ア～コの全ての条件について、1から4のうち、該当する項目をご回答ください。(各条件、1つずつチェック)

—必須条件は、「イ) 世帯で一定の収入の見込みが立つこと」が45.6%で最も高い—

○理想的な子どもの数を持つための必須条件では、「イ) 世帯で一定の収入の見込みが立つこと」が45.6%で最も高く、以下、「ウ) 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担が軽減されること」の44.0%、「ア) 自分または配偶者が就業すること」の42.1%の順となっている。

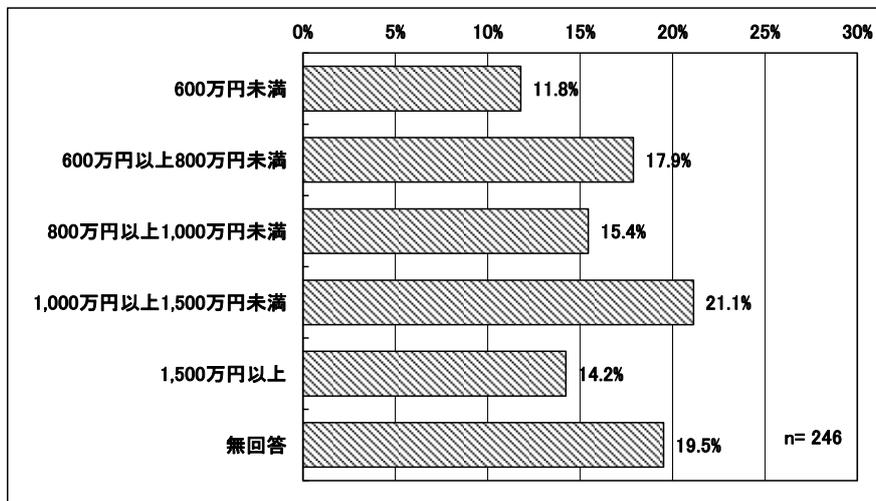
○必須ではないが重要な条件では、「オ) 家事・育児に関わる身体的負担が軽減されること」が32.8%で最も高く、「エ) 身近に妊娠・出産・子育てについて相談できる人がいること」の27.5%がこれに次いでいる。

図表Ⅱ-4-7 理想的な子どもの数を持つための条件（全体）



○「イ）世帯で一定の収入の見込みが立つこと」を必須条件に選択した回答者に目安の年収を質問した結果、「1,000万円以上1,500万円未満」が21.1%で最も高く、以下、「600万円以上800万円未満」の17.9%、「800万円以上1,000万円未満」の15.4%の順となっている。

図表Ⅱ－４－８ 理想的な子どもの数を持つための年収の目安額（全体）



【子育て世代別】

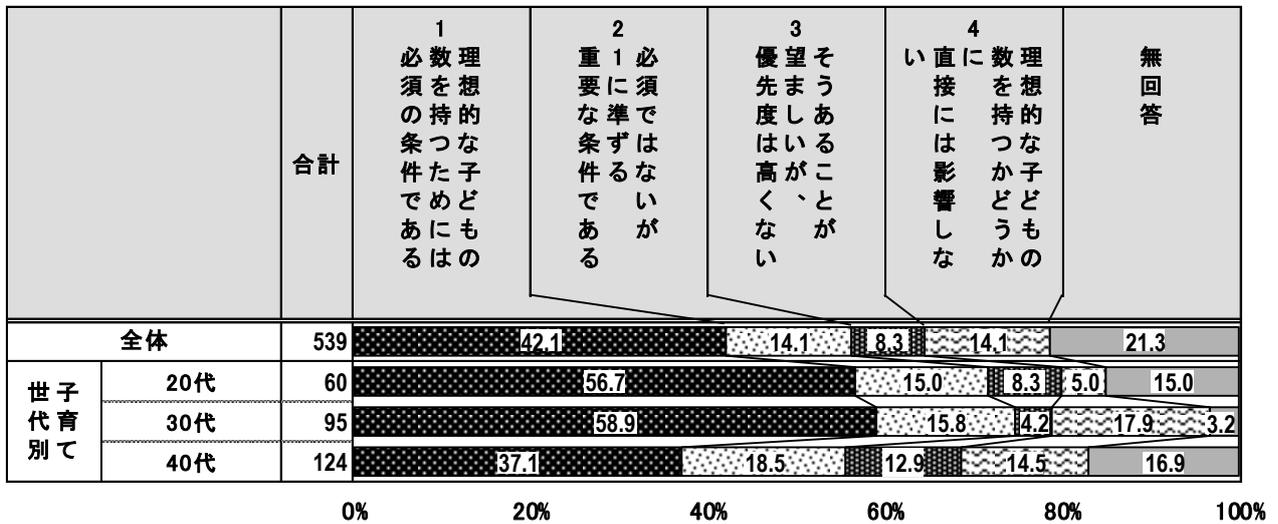
○理想的な子どもの数を持つための必須条件に関して、20代・30代では「ウ）妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担が軽減されること」がそれぞれ70.0%、61.1%で最も高く、また、40代では「イ）世帯で一定の収入の見込みが立つこと」が50.0%で最も高くなっている。

【図Ⅱ-4-10・11】

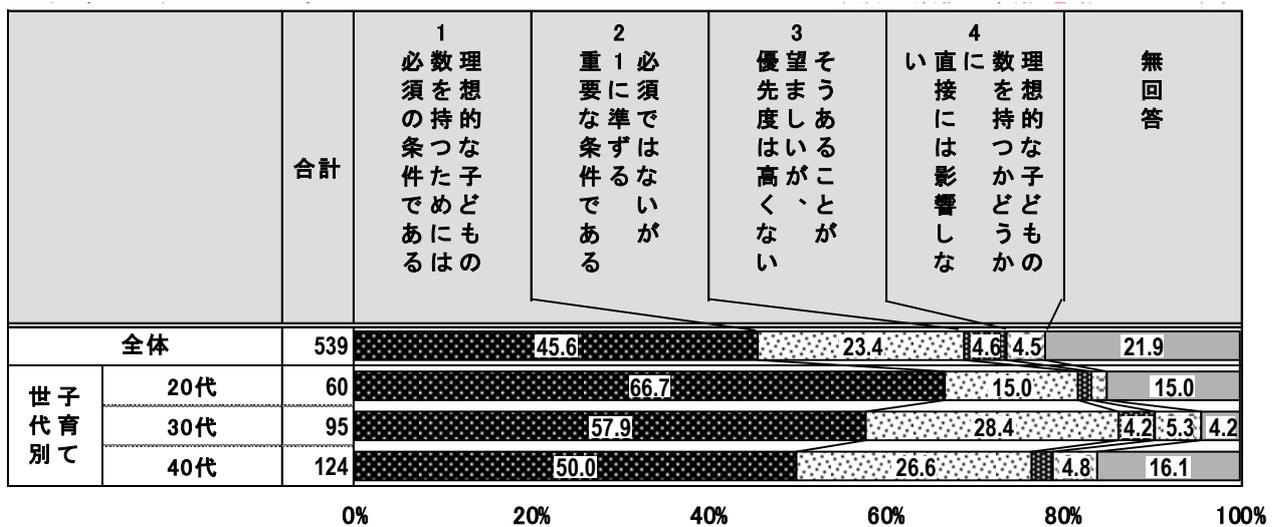
○必須ではないが重要な条件に関して、20代では「コ）子育てしやすい周辺環境が整うこと」が36.7%で最も高く、また、30代・40代では「オ）家事・育児に関わる身体的負担が軽減されること」がそれぞれ43.2%、33.1%で最も高くなっている。【図Ⅱ-4-13・18】

図表Ⅱ-4-9 ア) 自分または配偶者が就業すること
(子育て世代別)

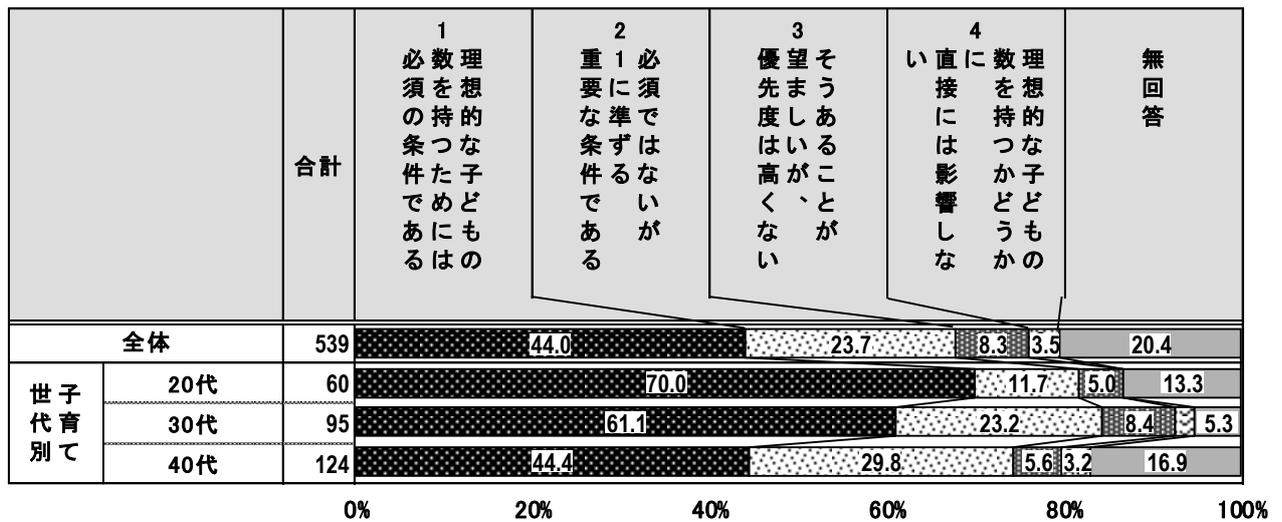
注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。(以下同様)



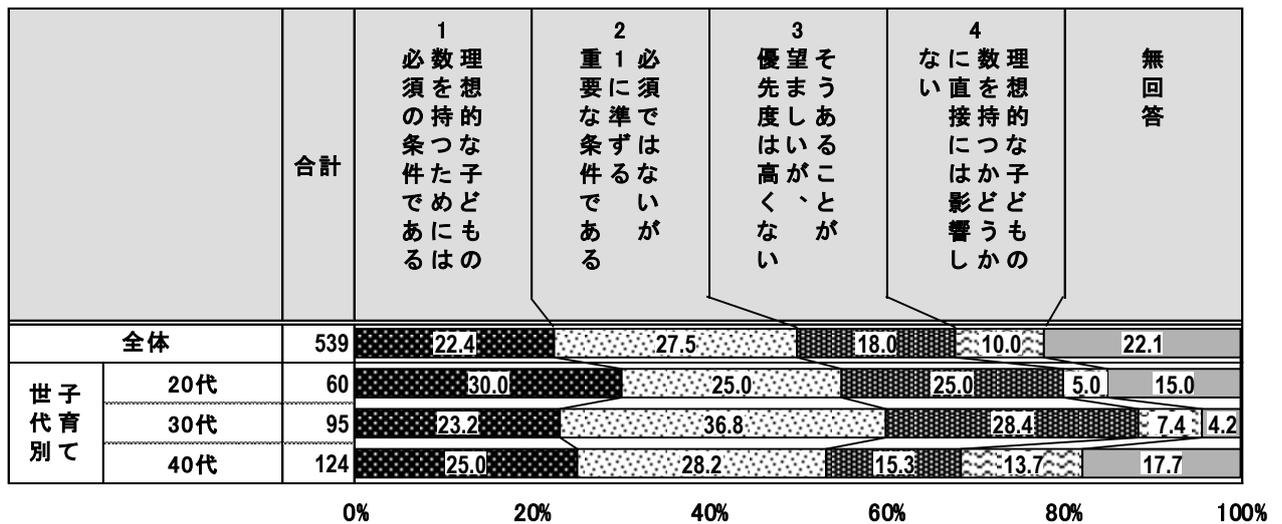
図表Ⅱ-4-10 イ) 世帯で一定の収入の見込みが立つこと
(子育て世代別)



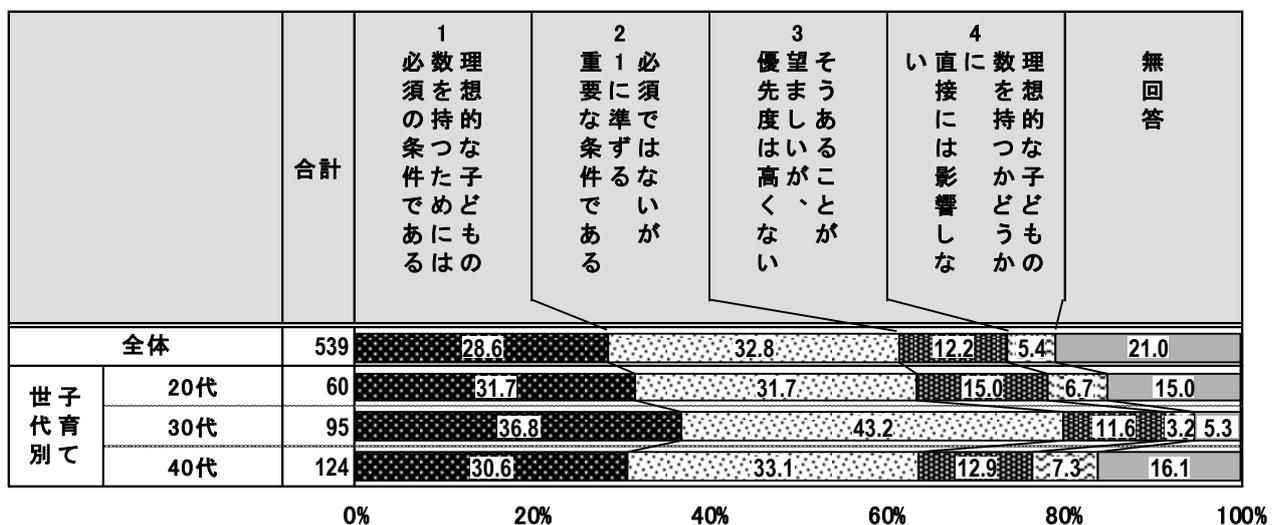
図表Ⅱ-4-11 ウ) 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担が軽減されること
(子育て世代別)



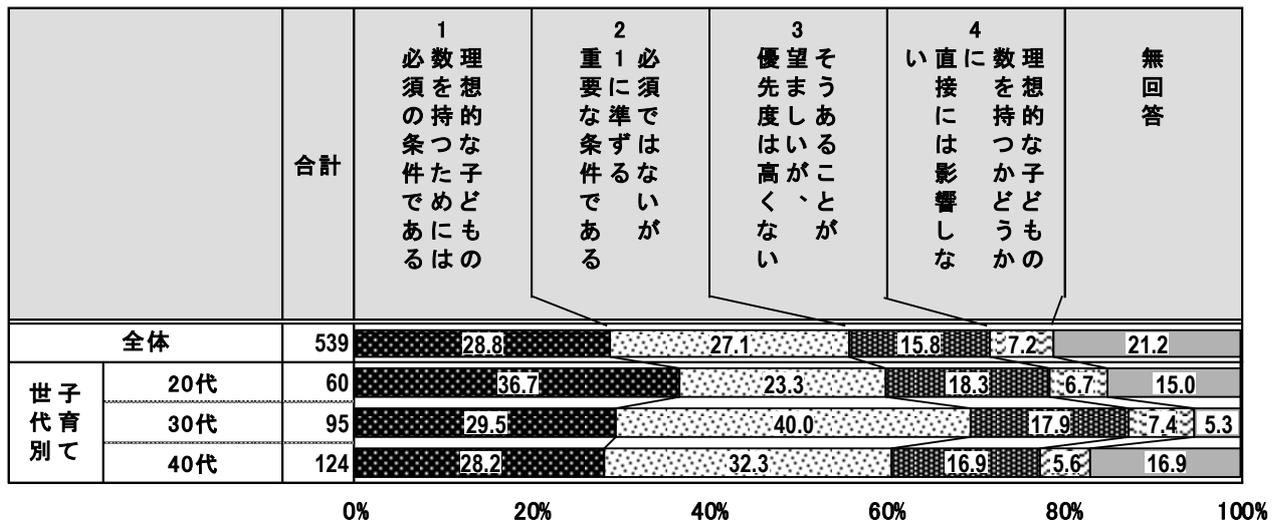
図表Ⅱ-4-12 エ) 身近に妊娠・出産・子育てについて相談できる人がいること
(子育て世代別)



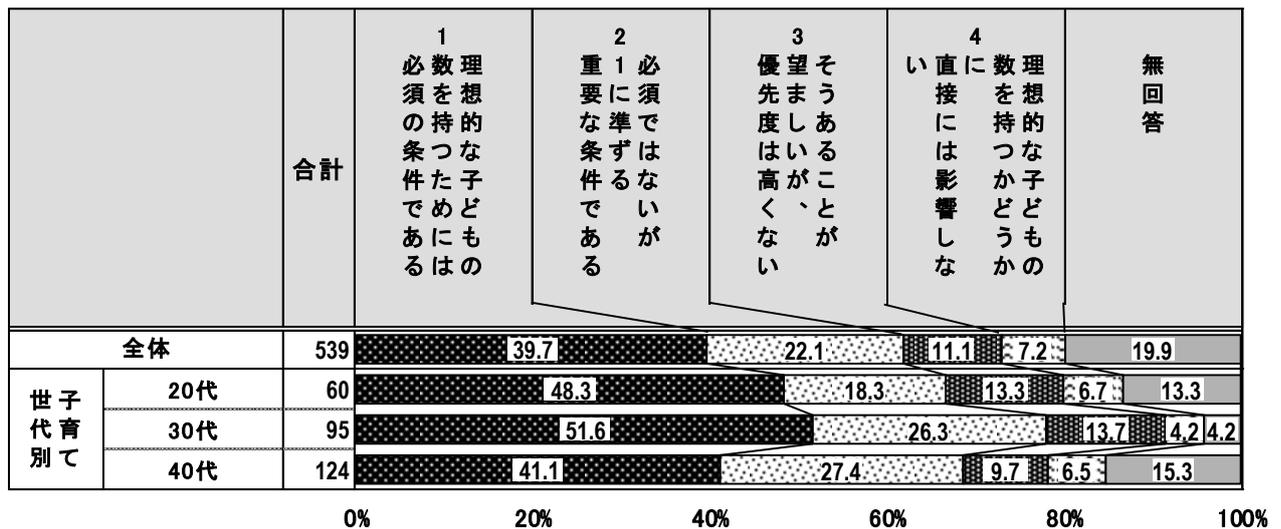
図表Ⅱ-4-13 オ) 家事・育児に関わる身体的負担が軽減されること
(子育て世代別)



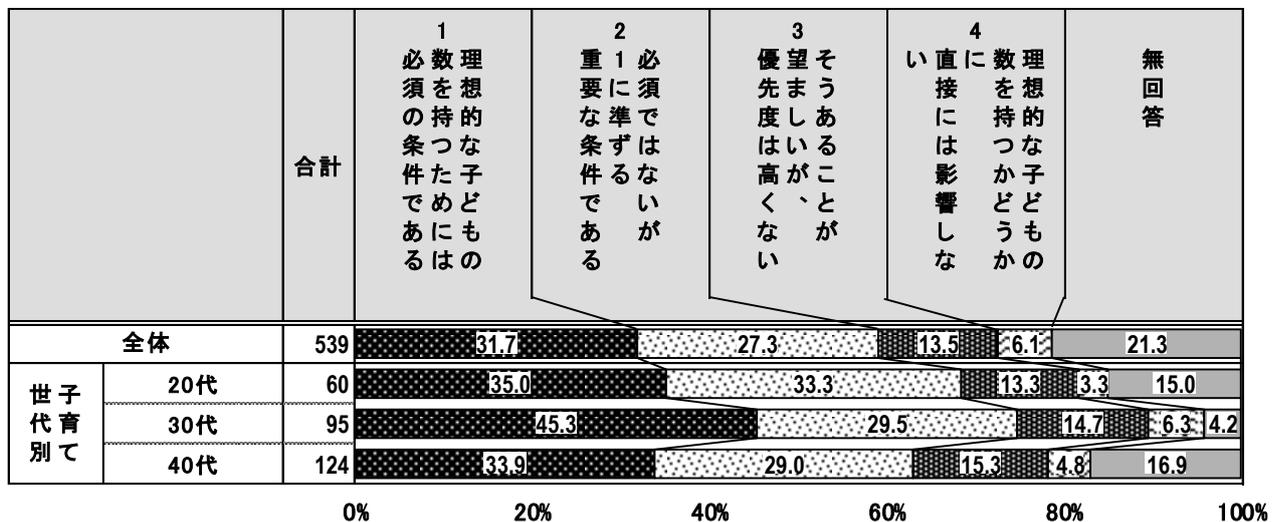
図表Ⅱ－４－１４ カ) 仕事や事業の状況が現状よりも落ち着くこと
(子育て世代別)



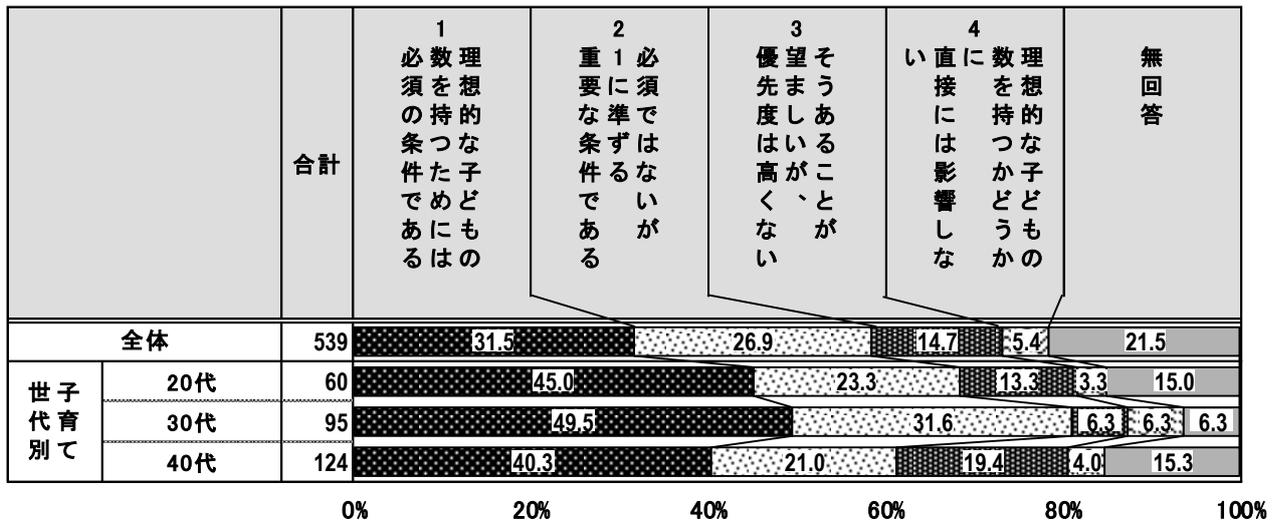
図表Ⅱ－４－１５ キ) 働きながら子育てができる職場環境になること
(子育て世代別)



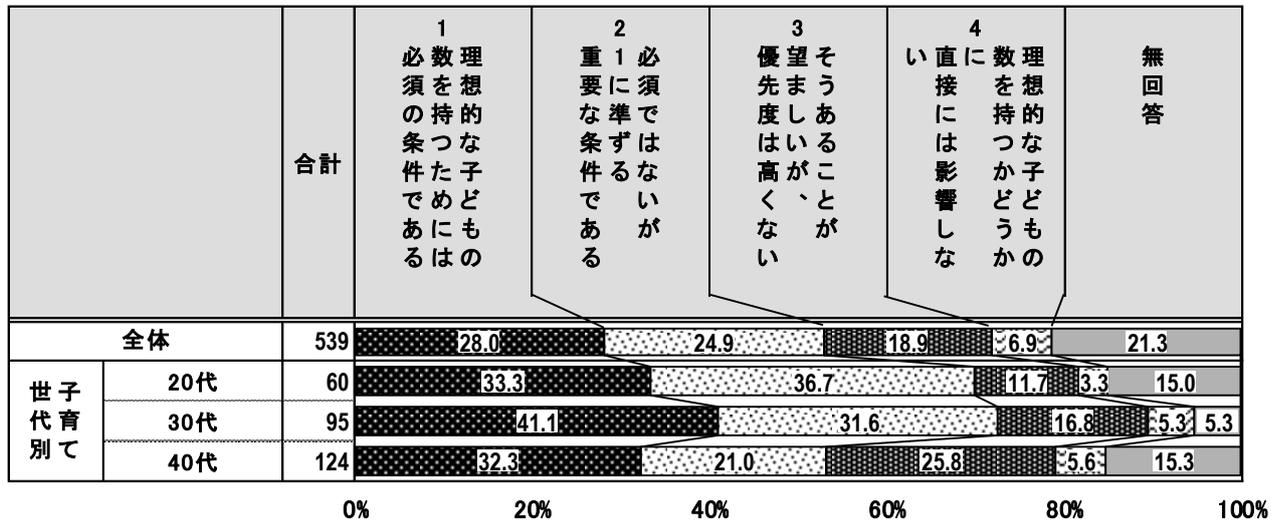
図表Ⅱ－４－１６ ク) 地域の保育環境が現状よりも充実すること
(子育て世代別)



図表Ⅱ－４－17 ケ) 子育てをする上での住宅環境（住宅の広さや間取り等）が整うこと
（子育て世代別）



図表Ⅱ－４－18 コ) 子育てしやすい周辺環境が整うこと（子どもと一緒に過ごせる場所が増える等）
（子育て世代別）



5 教育（子ども達に身につけさせたい力）

問 14 これからの社会を生きていく子ども達に、どのような力を身につけさせていくべきかをご回答ください。

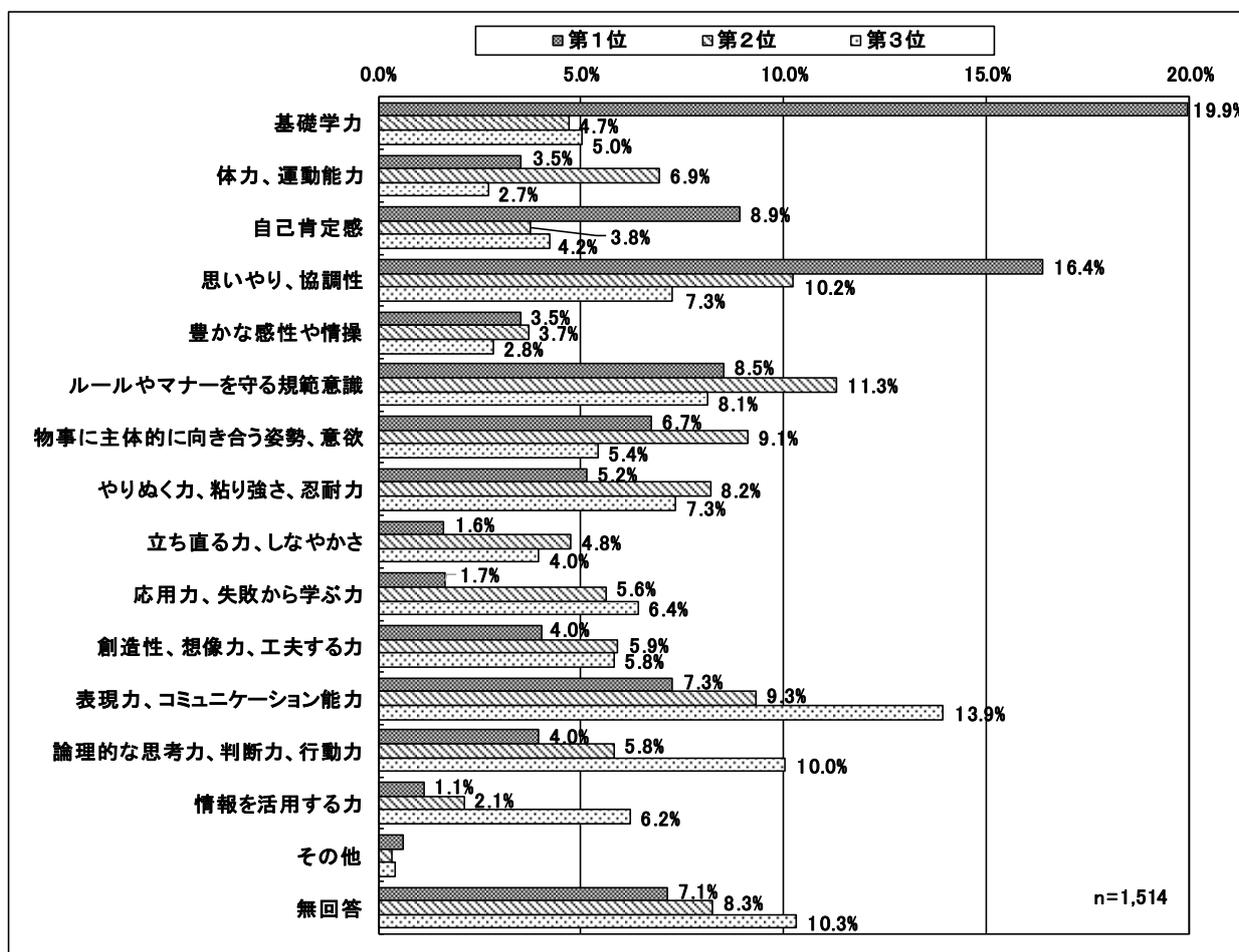
（より重要度の高い項目を、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

－第1位は、「基礎学力」の19.9%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「基礎学力」の19.9%であり、「思いやり、協調性」の16.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「ルールやマナーを守る規範意識」が11.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－5－1 子ども達に身につけさせたい力（全体）

注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



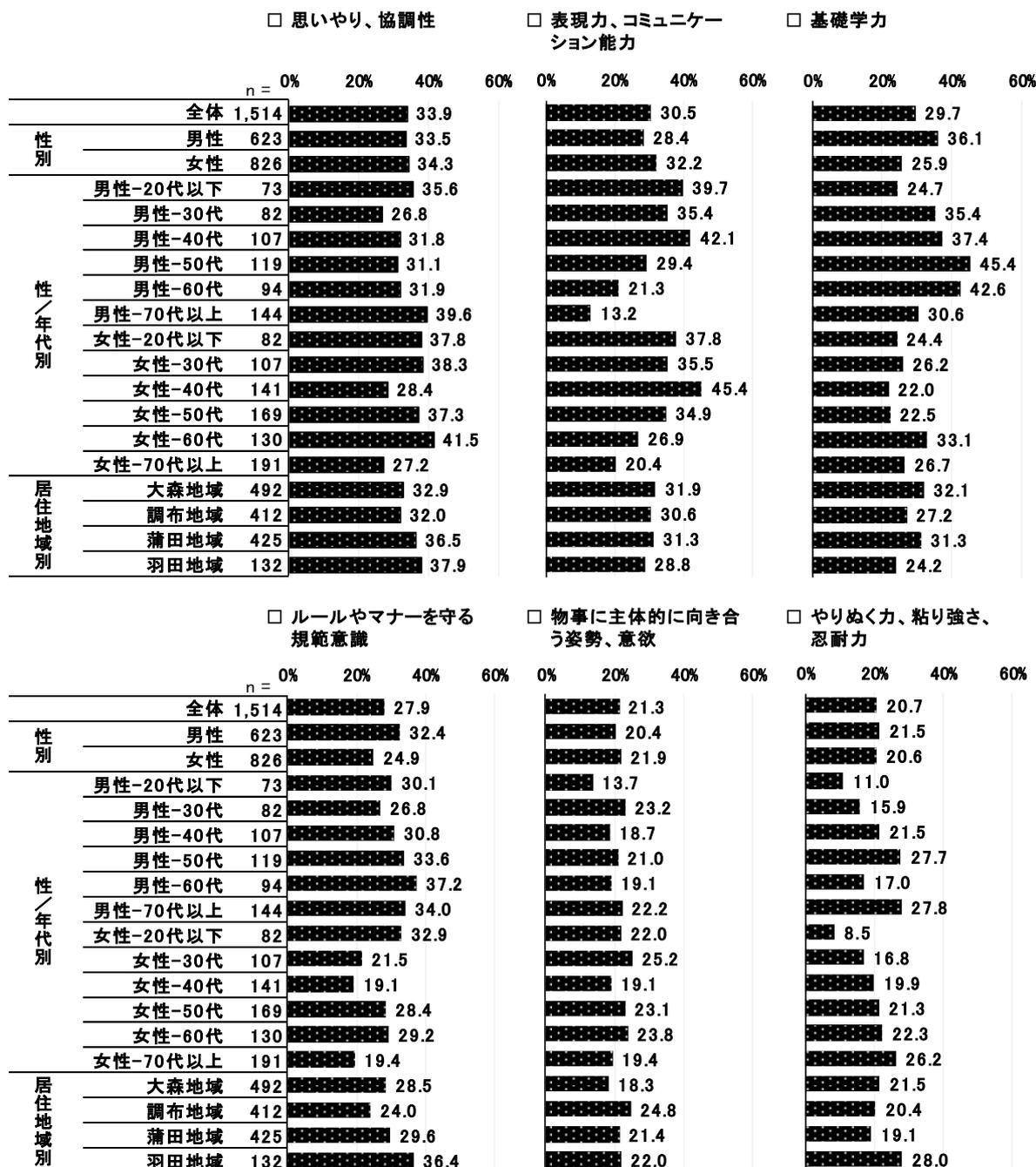
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、男性は「基礎学力」が36.1%、女性は「思いやり、協調性」が34.3%と最も高くなっている。

○性/年代別でみると、男性20代以下・30代・40代、女性40代では「表現力、コミュニケーション能力」、男性30代・50代・60代では「基礎学力」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-5-2 子ども達に身につけさせたい力（性別・性/年代別・居住地域別）



6 まちづくり

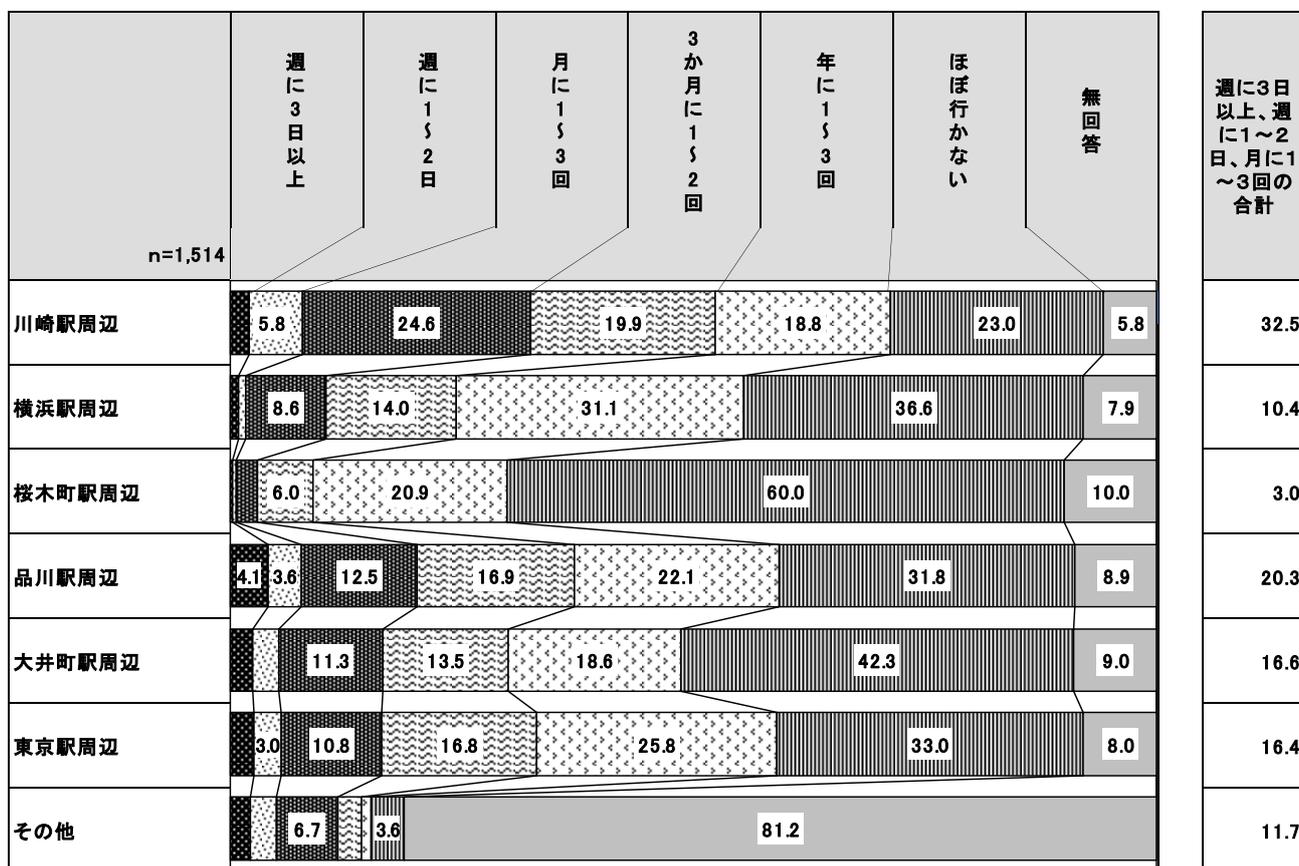
(1) 区外の近隣繁華街へ行く頻度

問 15 大田区以外の近隣繁華街へどのくらいの頻度で行くかご回答ください。
(各駅周辺、1つずつチェック)

－「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、
川崎駅周辺が32.5%で最も高い－

○「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、川崎駅周辺が32.5%で最も高く、以下、「品川駅周辺」の20.3%、「大井町駅周辺」の16.6%の順となっている。

図表Ⅱ－6－1 区外の近隣繁華街へ行く頻度（全体）
注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。（以下同様）



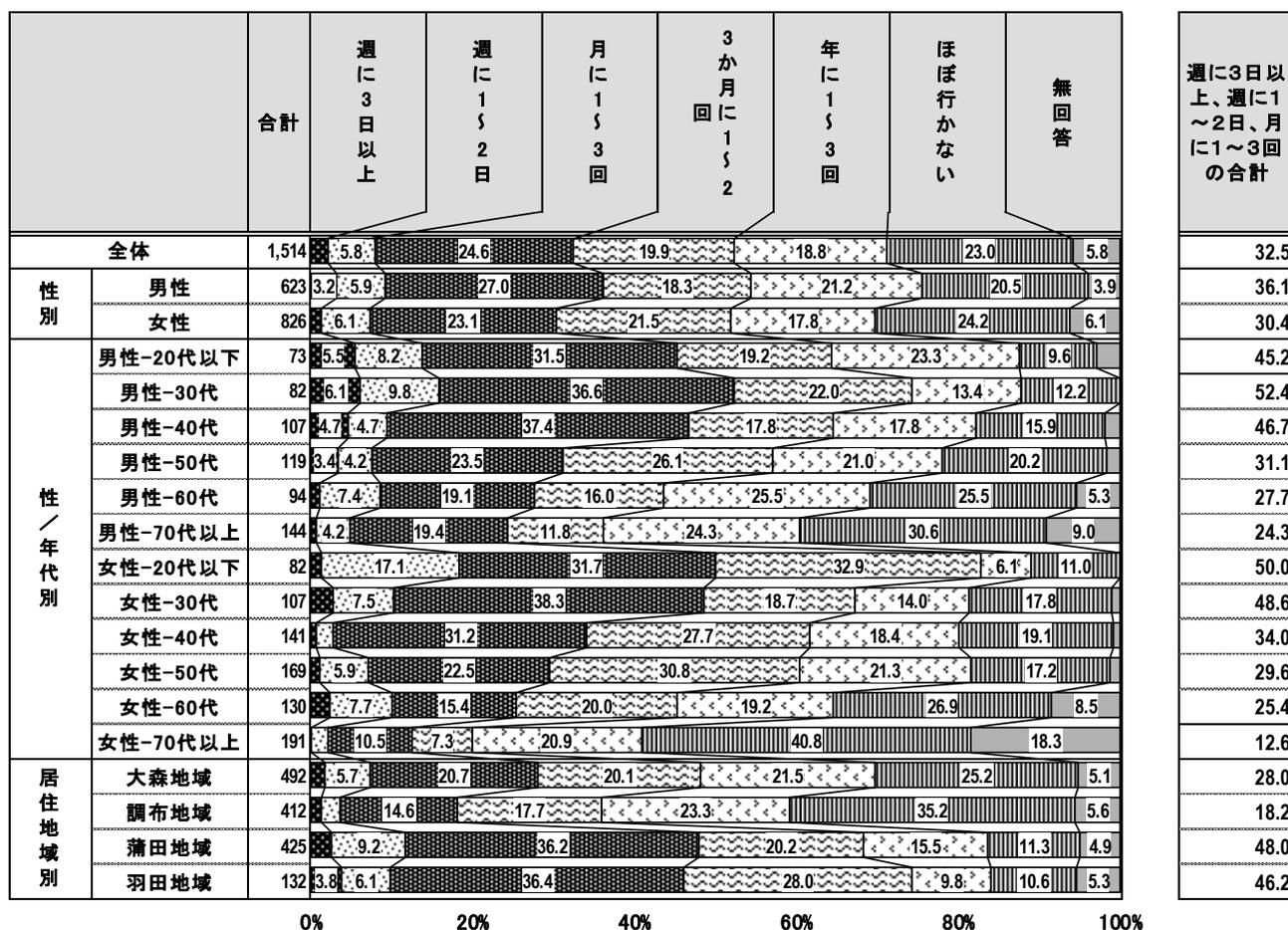
【性別・性/年代別・居住地域別】（川崎駅周辺）

○性別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、男性で36.1%、女性で30.4%と男性が5.7ポイント上回っている。

○性/年代別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、男性30代で52.4%、女性20代以下で50.0%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、蒲田地域で48.0%、羽田地域で46.2%と比較的高くなっている。

図表Ⅱ－6－2 川崎駅周辺へ行く頻度（性別・性/年代別・居住地域別）



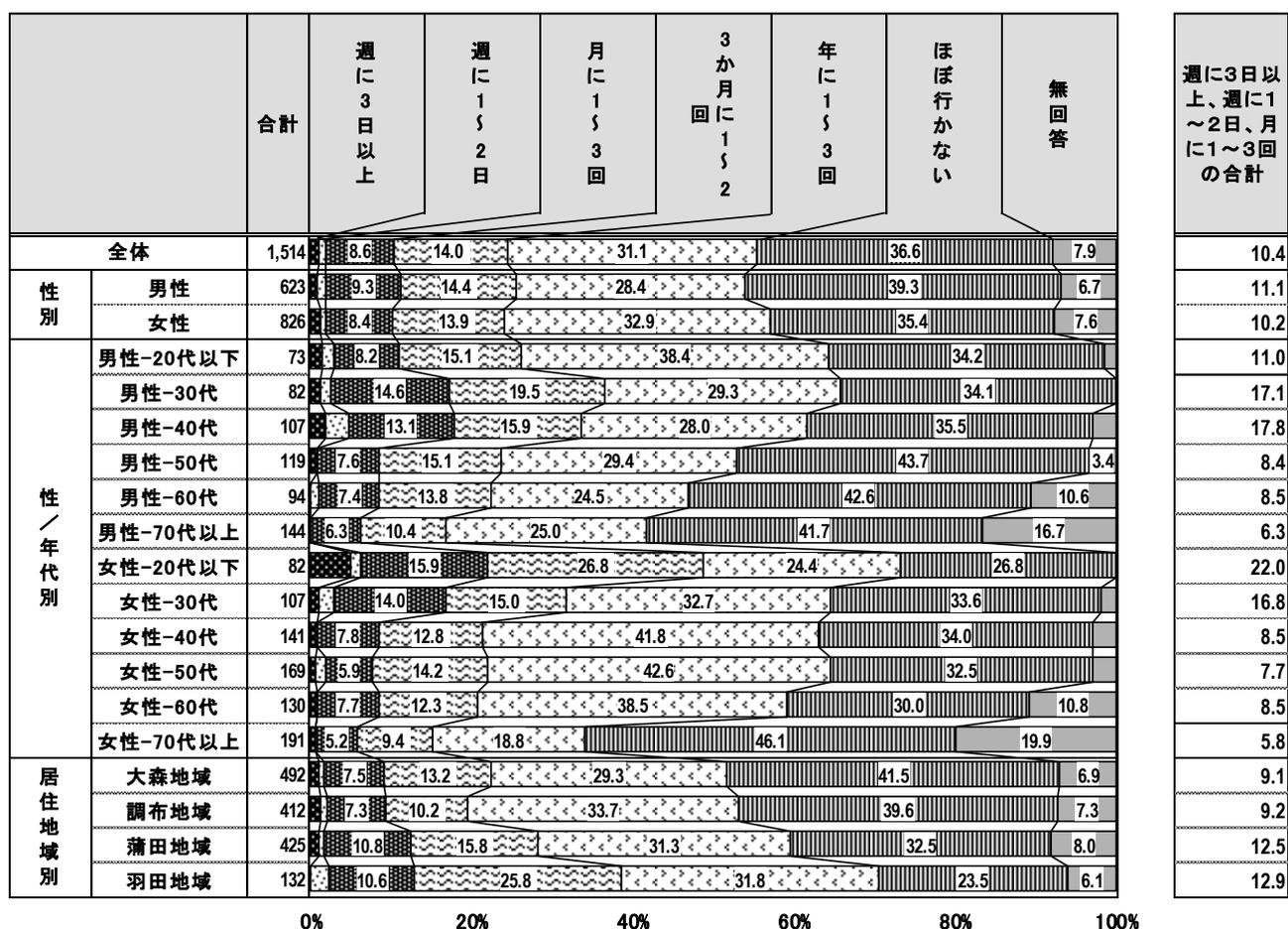
【性別・性/年代別・居住地域別】（横浜駅周辺）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、女性20代以下で22.0%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

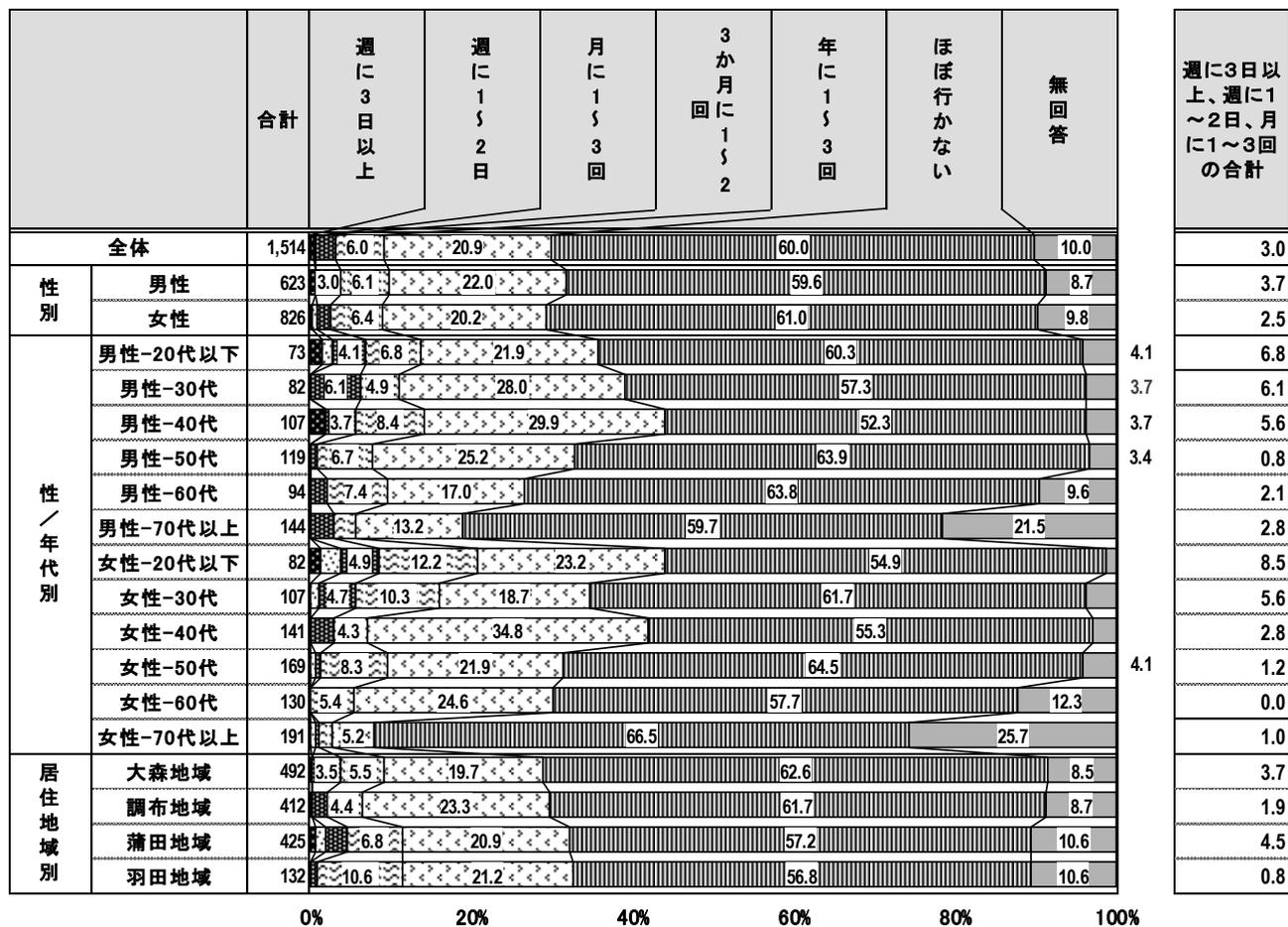
図表Ⅱ－6－3 横浜駅周辺へ行く頻度（性別・性/年代別・居住地域別）



【性別・性/年代別・居住地域別】（桜木町駅周辺）

- 性別でみると、大きな差はみられない。
- 性/年代別でみると、大きな差はみられない。
- 居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－6－4 桜木町駅周辺へ行く頻度（性別・性/年代別・居住地域別）



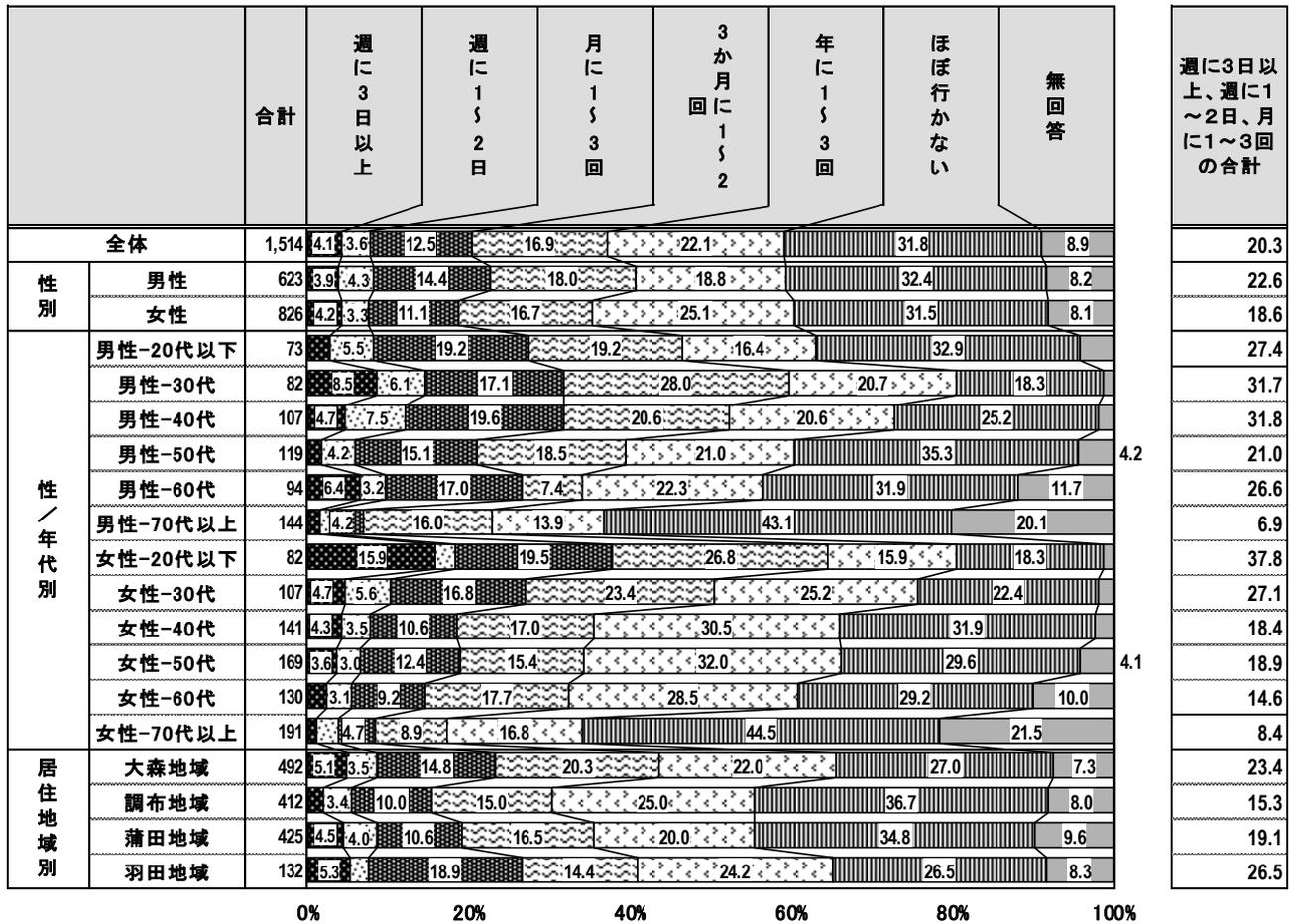
【性別・性/年代別・居住地域別】（品川駅周辺）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、女性20代以下で37.8%、男性40代で31.8%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－6－5 品川駅周辺へ行く頻度（性別・性/年代別・居住地域別）



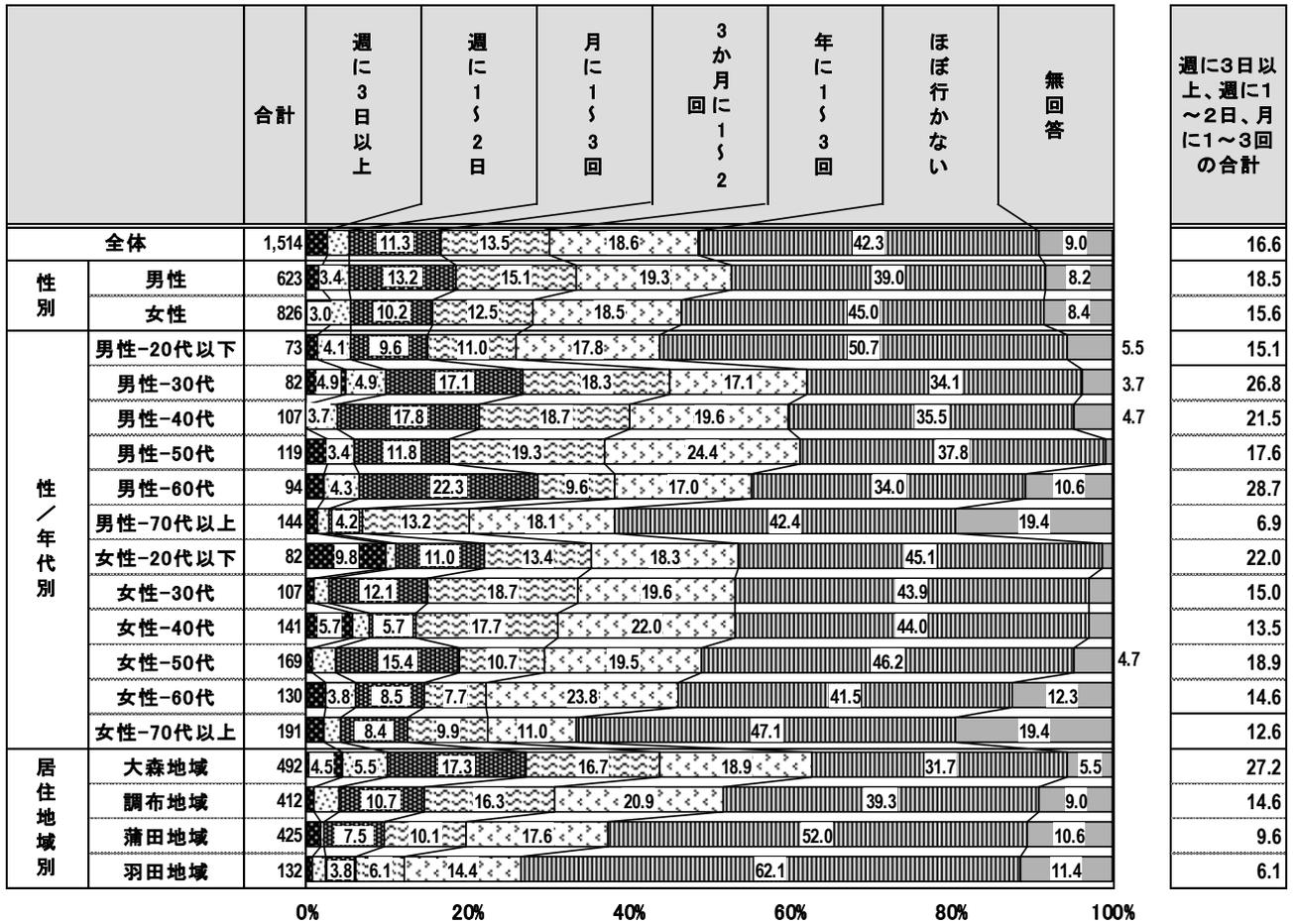
【性別・性/年代別・居住地域別】（大井町駅周辺）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、男性60代で28.7%、男性30代で26.8%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、大森地域で27.2%と比較的高くなっている。

図表Ⅱ－6－6 大井町駅周辺へ行く頻度（性別・性/年代別・居住地域別）



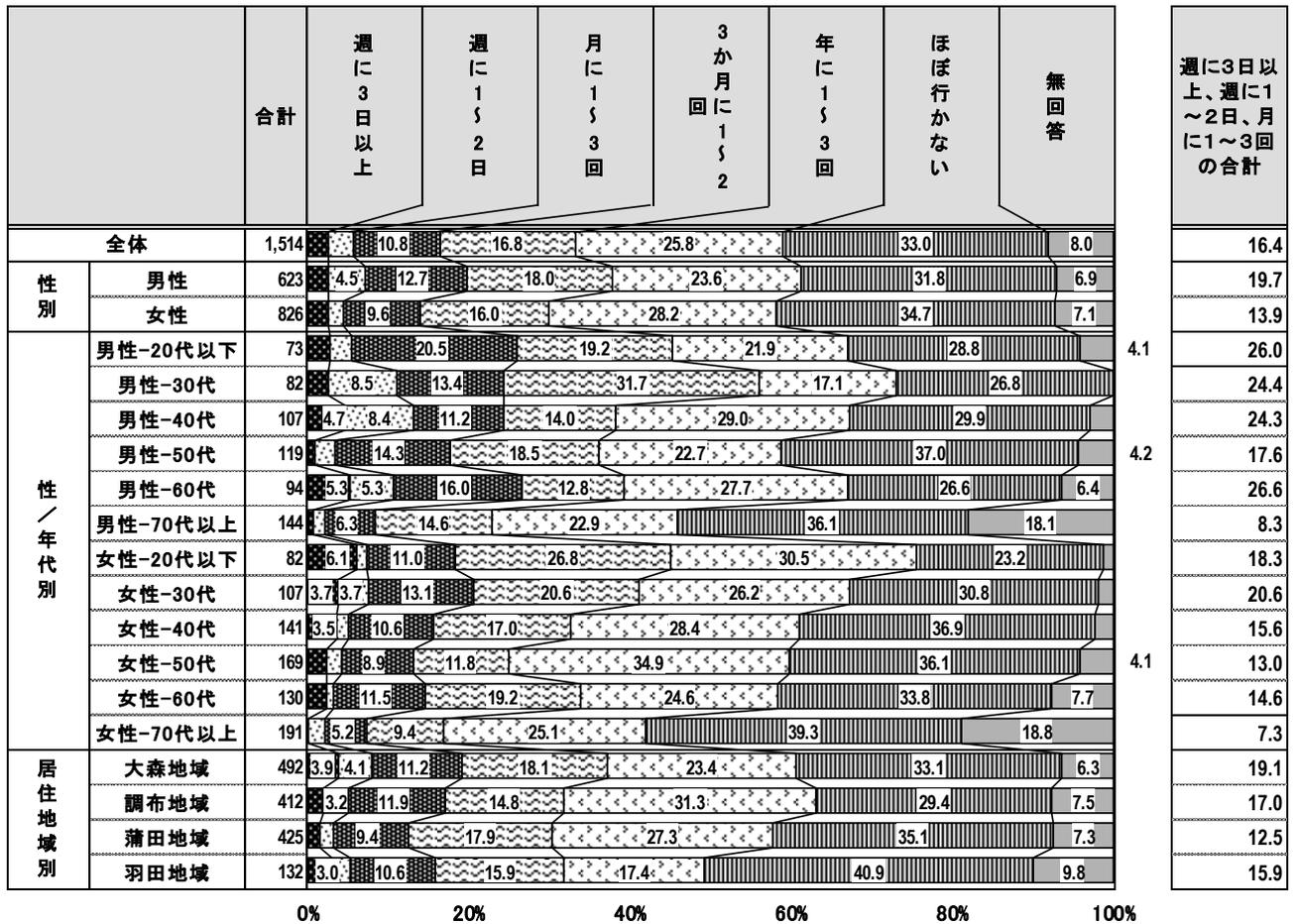
【性別・性/年代別・居住地域別】（東京駅周辺）

○性別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、男性で19.7%、女性で13.9%と男性が5.8ポイント上回っている。

○性/年代別でみると、「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、男性60代で26.6%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－6－7 東京駅周辺へ行く頻度（性別・性/年代別・居住地域別）



(2) 区外の近隣繁華街へ行く理由

問 16 大田区以外の近隣繁華街へ行く理由についてご回答ください。

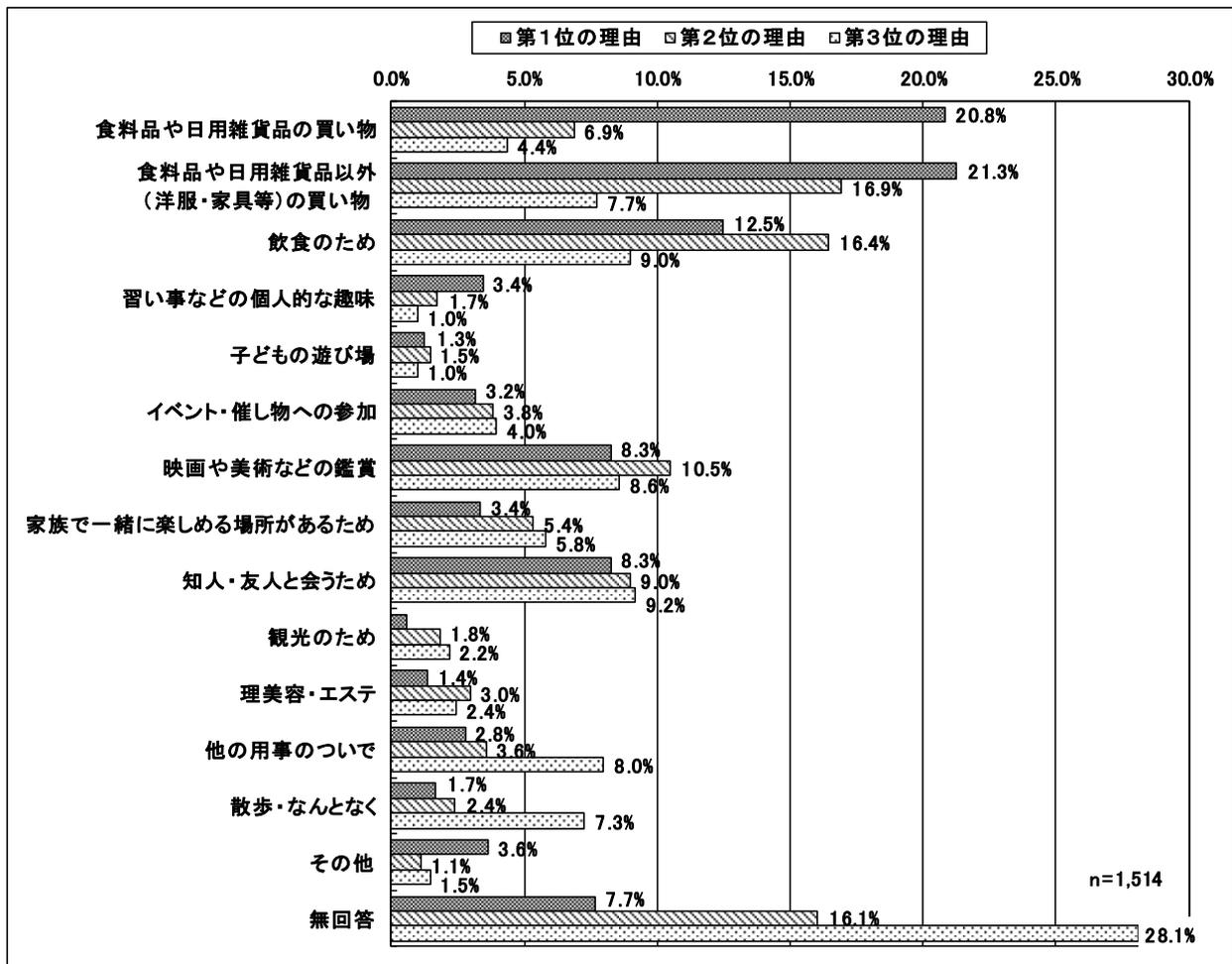
(より頻度の高いものを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」
の21.3%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」の21.3%であり、「食料品や日用雑貨品の買い物」の20.8%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率でも「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」が16.9%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－6－8 区外の近隣繁華街へ行く理由（全体）

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



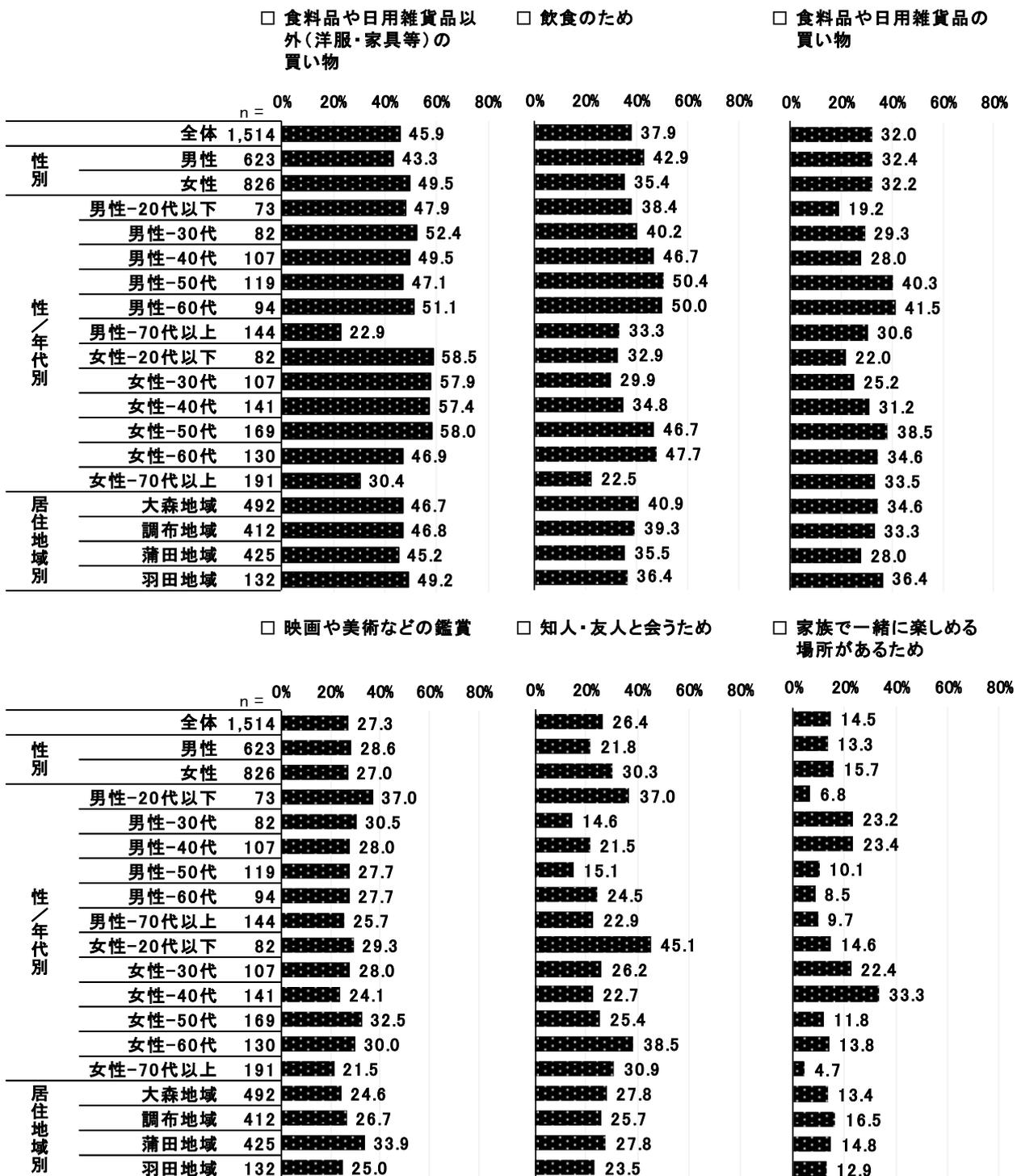
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」は、男性で 43.3%、女性で 49.5%と女性が 6.2 ポイント上回っている。

○性/年代別でみると、「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」は、女性 20 代以下で 58.5%、女性 50 代で 58.0%と比較的高くなっており、また、男性 50 代・70 代以上、女性 60 代では「飲食のため」、女性 70 代以上では「食料品や日用雑貨品の買い物」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－6－9 区外の近隣繁華街へ行く理由（性別・性/年代別・居住地域別）



7 新空港線（同線の整備に期待する効果）

【新空港線とは】

新空港線は、矢口渡駅と蒲田駅の間で多摩川線を地下化し、新設する東急蒲田駅の地下ホームから京急蒲田駅（地下）を通して、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画です。

このうち、一期整備（矢口渡駅～京急蒲田駅）において、都区間の費用負担割合などについて東京都と大田区で合意し、事業化に向けて大きな一歩を踏み出しました。

今後、一期整備の事業化や二期整備（京急蒲田駅～大鳥居駅）の進展など、新空港線整備を着実に推進するとともに、沿線のまちづくりも同時に進めていきます。

問 17 新空港線の整備にあたり、あなたが期待する効果についてご回答ください。

（より期待する効果を、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

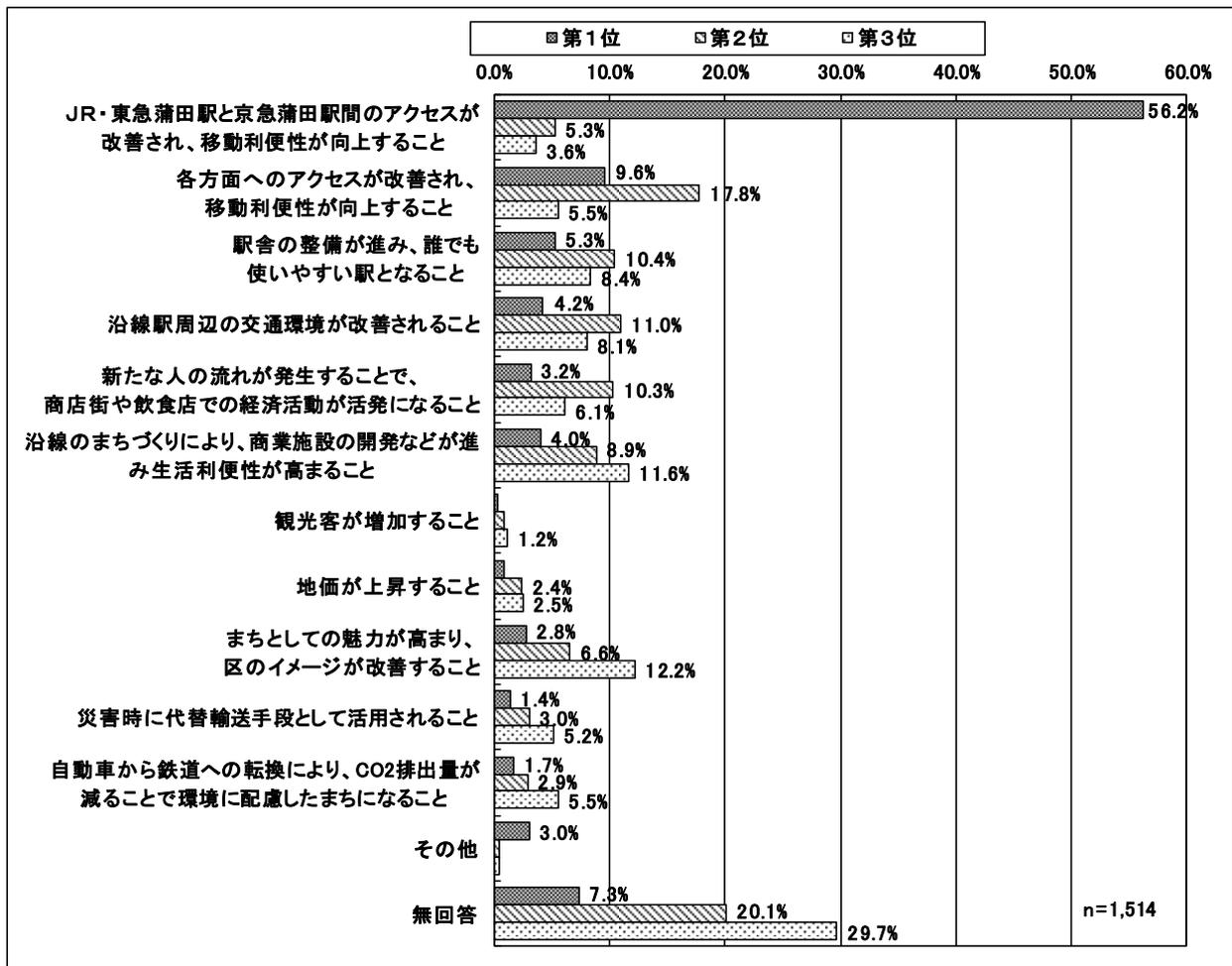
—第1位は、「JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」の56.2%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」の56.2%であり、「各方面へのアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」の9.6%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「各方面へのアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」が17.8%で最も高くなっている。

【図表Ⅱ-7-1】

図表Ⅱ-7-1 新空港線の整備に期待する効果（全体）

注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



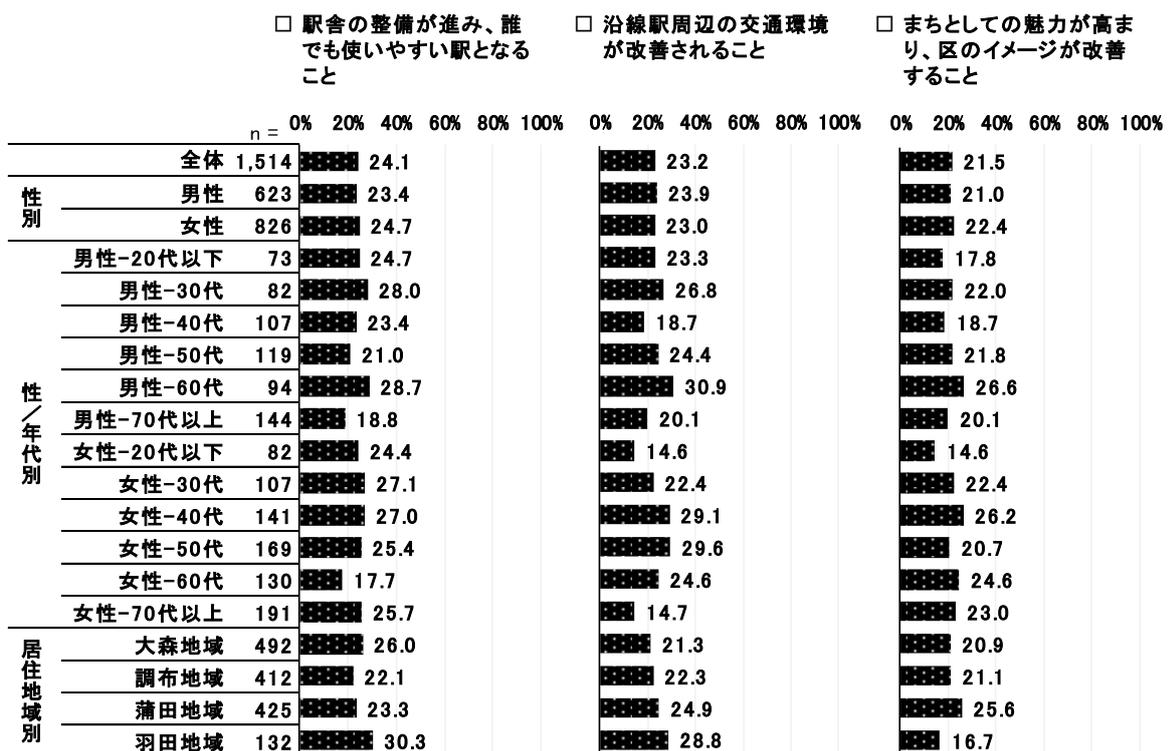
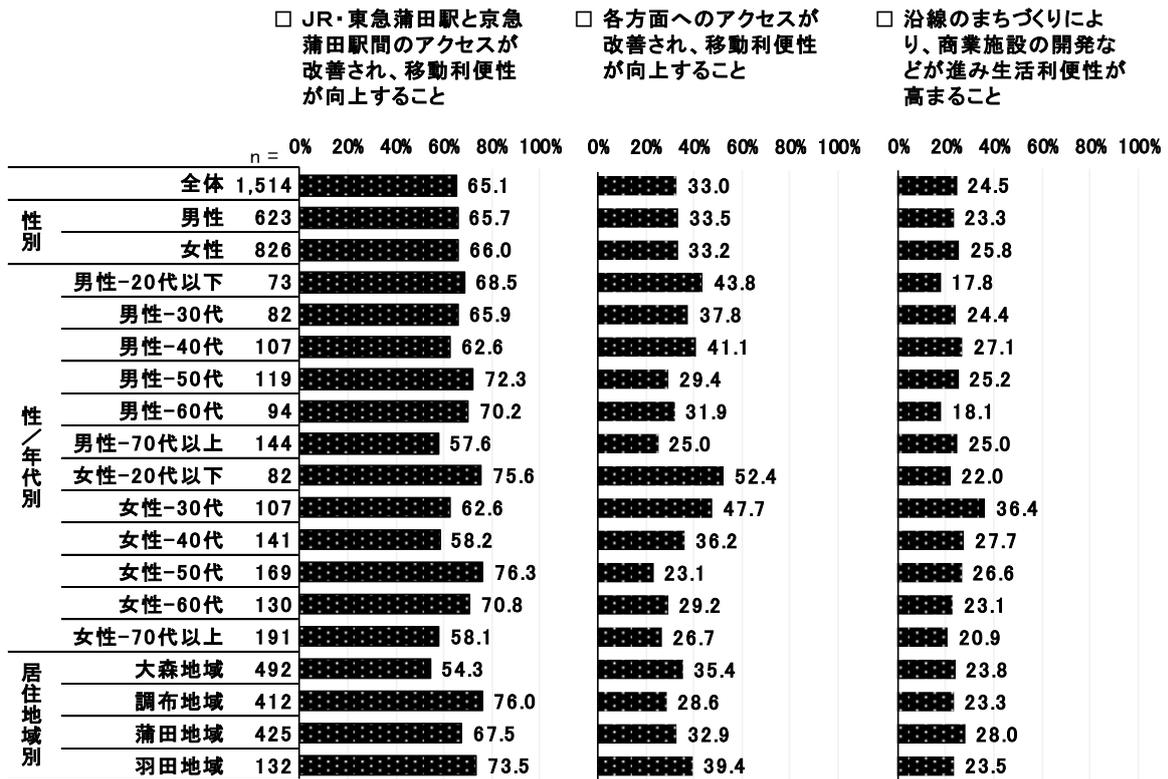
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」は、女性50代で76.3%、女性20代以下で75.6%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、「JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」は、調布地域で76.0%と比較的高くなっている。

図表Ⅱ-7-2 新空港線の整備に期待する効果（性別・性/年代別・居住地域別）



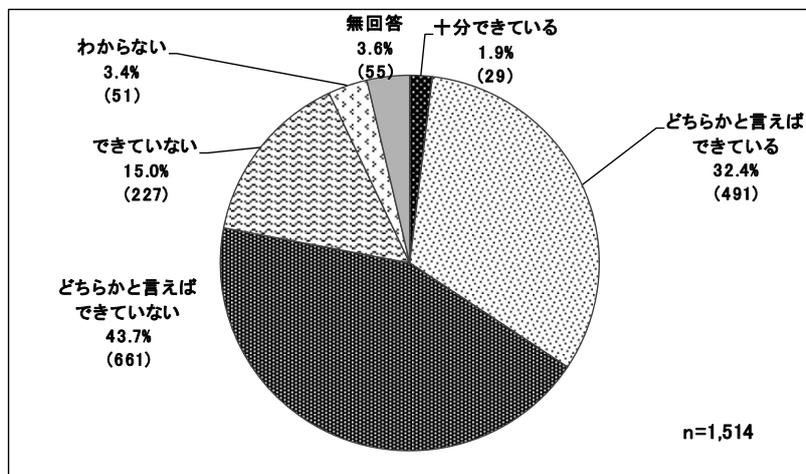
(1) 災害への備えの状況

問 18 ご自身の災害への備えについてご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「十分できている」と「どちらかと言えぱできている」の合計は 34.3%となっている－

○「十分できている (1.9%)」と「どちらかと言えぱできている (32.4%)」の合計が 34.3%で、「どちらかと言えぱできていない (43.7%)」と「できていない (15.0%)」の合計の 58.7%を大きく下回っている。

図表Ⅱ－8－1 災害への備えの状況 (全体)



【性別・性/年代別・居住地域別】

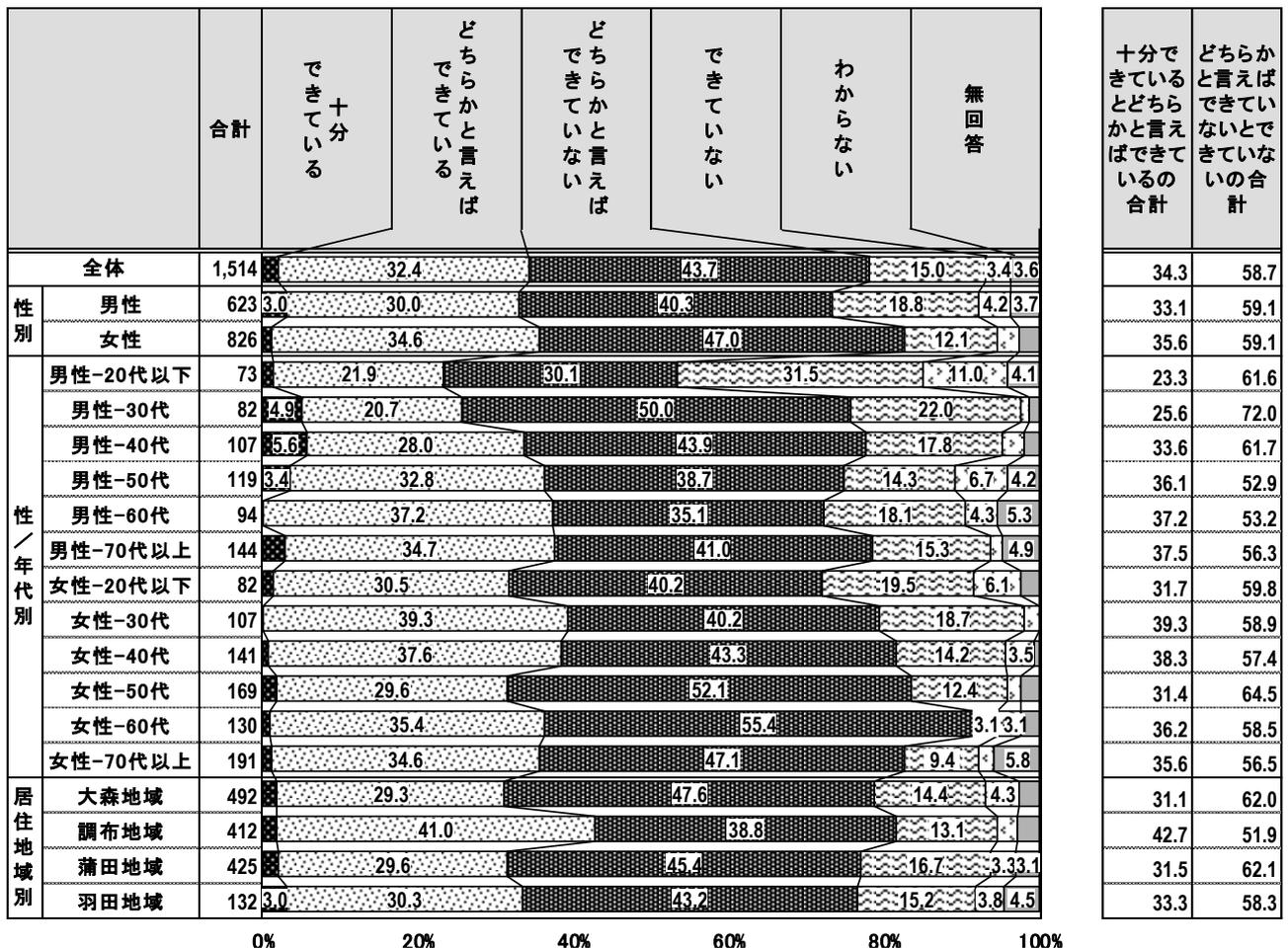
○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「十分できている」と「どちらかと言えはできている」の合計は、女性30代で39.3%と最も高くなっており、男性20代以下で23.3%と最も低くなっている。

○居住地域別でみると、「十分できている」と「どちらかと言えはできている」の合計は、調布地域で42.7%と最も高くなっている。

図表Ⅱ－8－2 災害への備えの状況（性別・性/年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



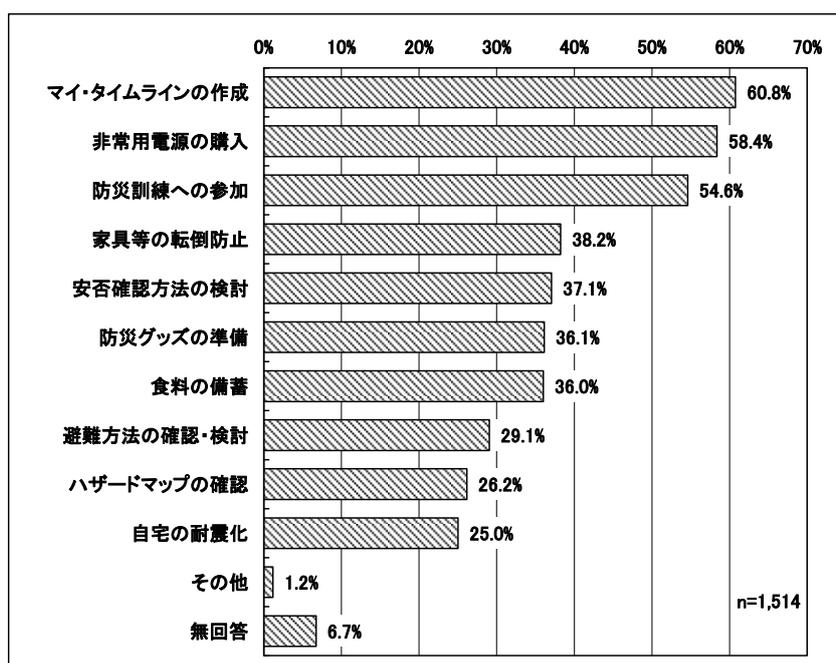
(2) 災害への備えで実践していない行動

問 19 災害への備えに関して、実践していない行動についてご回答ください。
(チェックはいくつでも可)

－「マイ・タイムラインの作成」が60.8%で最も実践していない－

○「マイ・タイムラインの作成」が60.8%で最も実践しておらず、以下、「非常用電源の購入」の58.4%、「防災訓練への参加」の54.6%の順となっている。

図表Ⅱ－8－3 災害への備えで実践していない行動（全体）



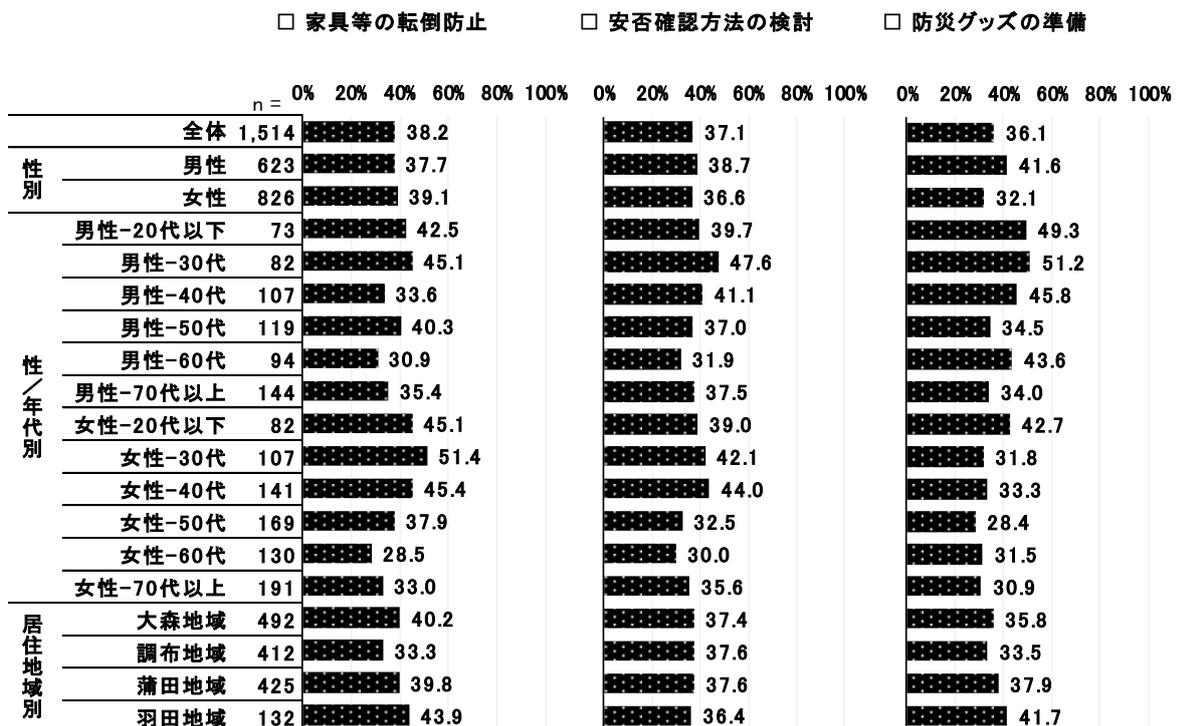
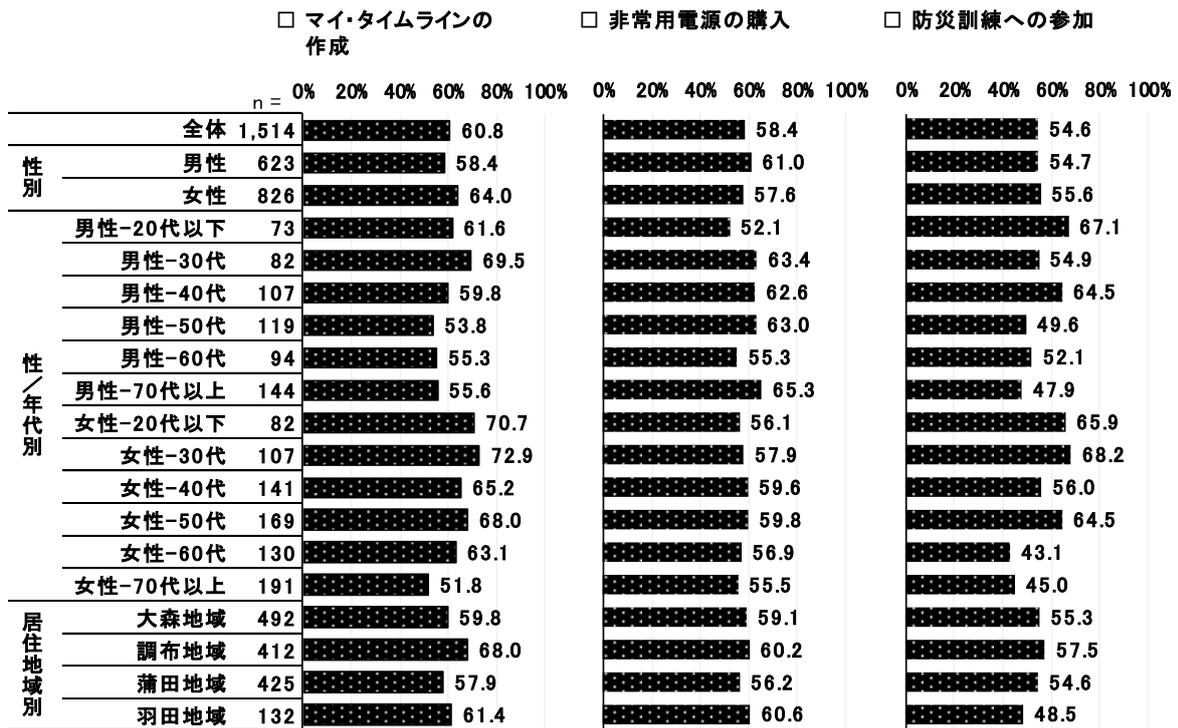
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、男性は「非常用電源の購入」が61.0%、女性は「マイ・タイムラインの作成」が64.0%で最も実践していない。

○性/年代別でみると、「マイ・タイムラインの作成」は、女性30代で72.9%と比較的実践しておらず、また、男性20代以下・40代では「防災訓練への参加」、男性50代・70代以上、女性70代以上では「非常用電源の購入」が最も実践していない。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－8－4 災害への備えで実践していない行動（性別・性/年代別・居住地域別）



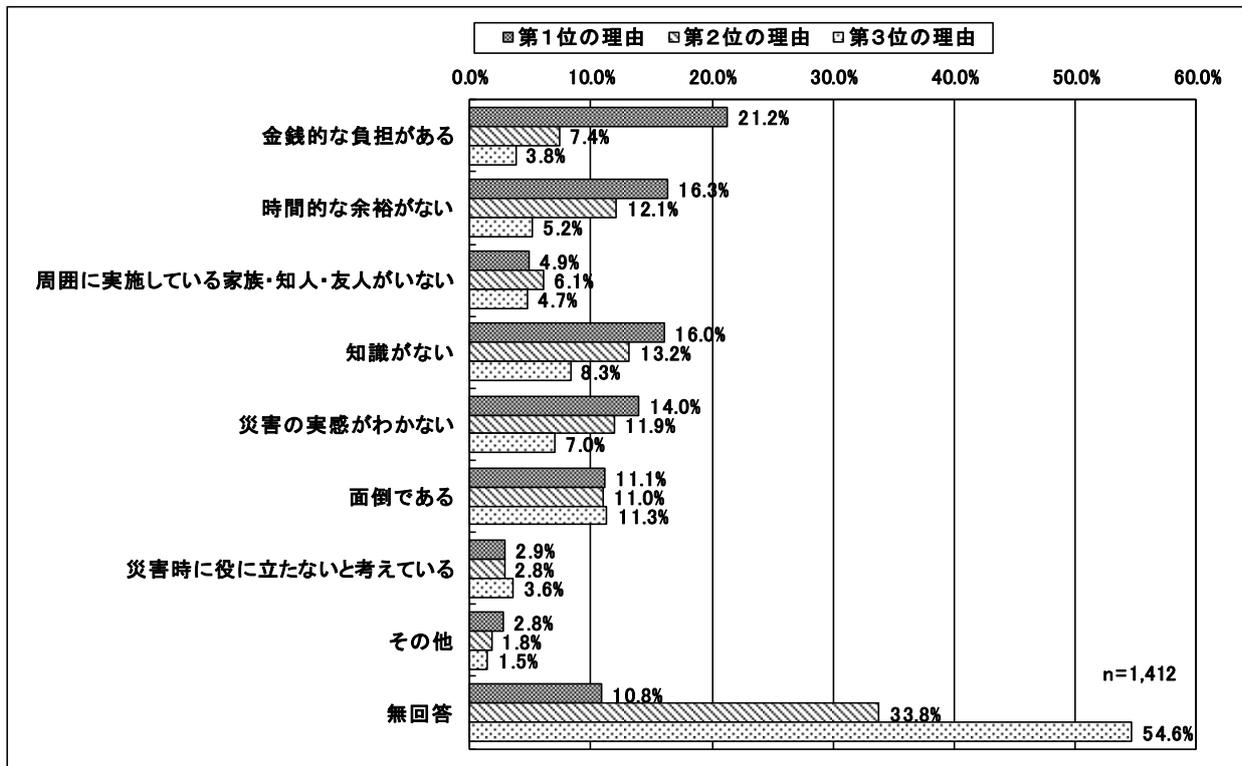
(3) 災害への備えでその行動を実践していない理由

問 20 問 19 で回答した行動について、現在実践していない理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「金銭的な負担がある」の21.2%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「金銭的な負担がある」の21.2%であり、「時間的な余裕がない」の16.3%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「知識がない」が13.2%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-8-5 災害への備えでその行動を実践していない理由 (全体)



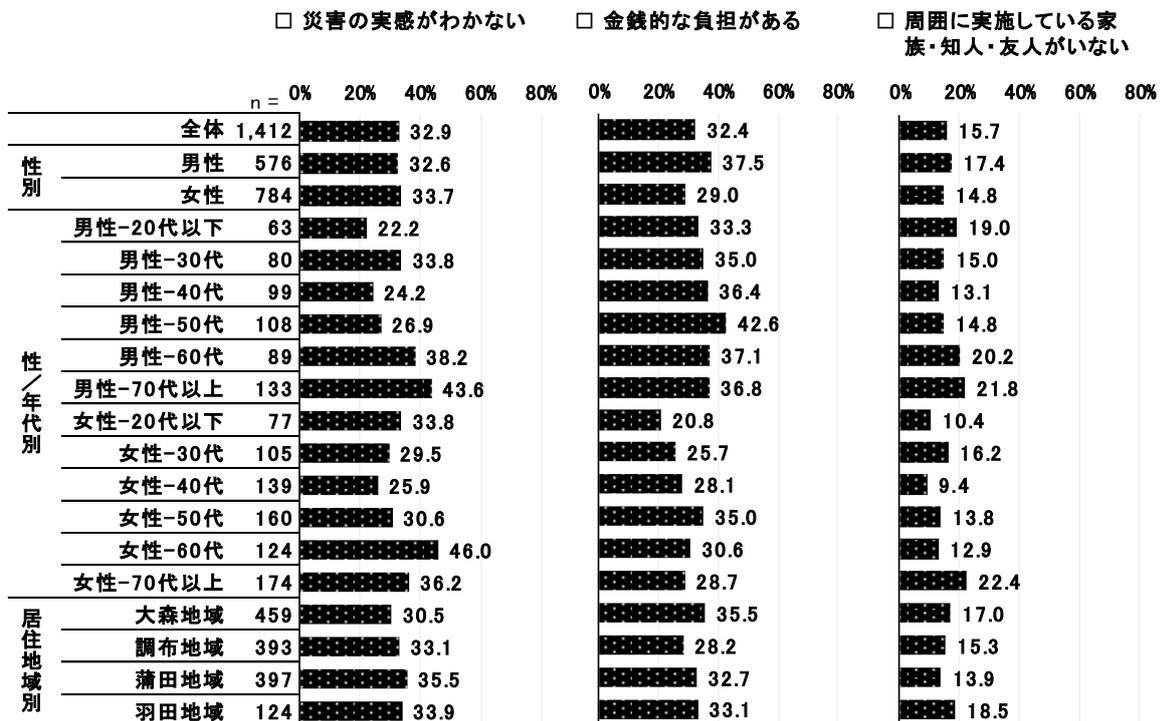
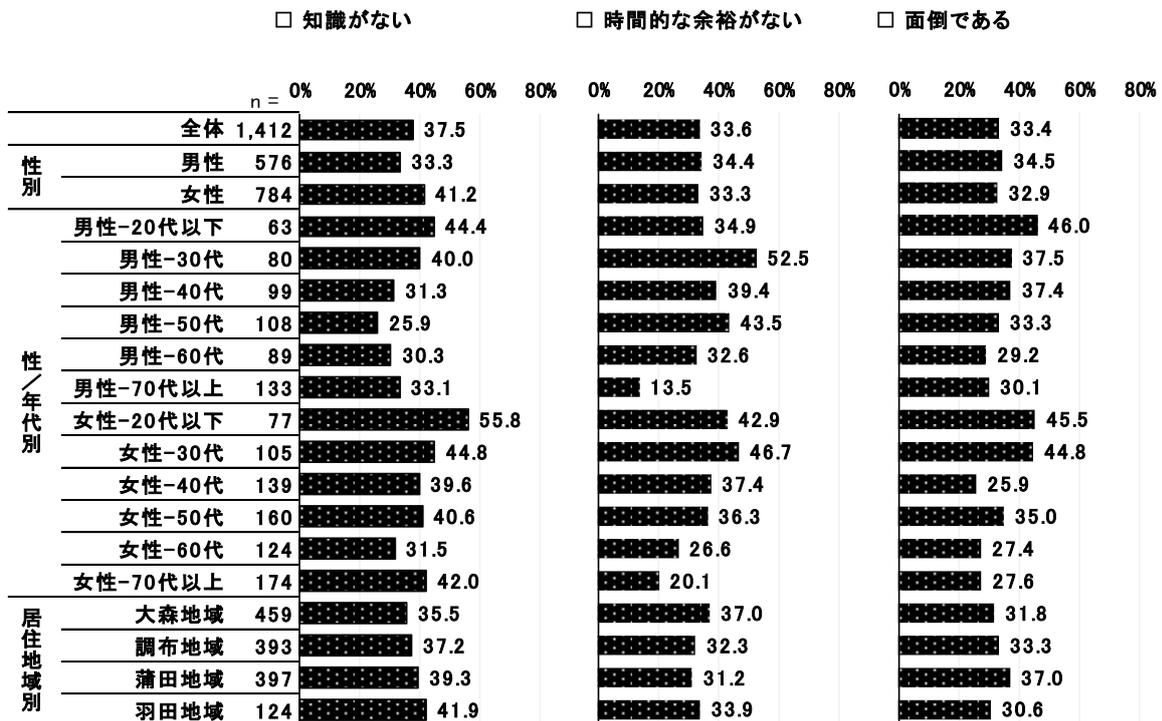
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、男性は「金銭的な負担がある」が37.5%、女性は「知識がない」が41.2%と最も高くなっている。

○性/年代別でみると、「知識がない」は、女性20代以下で55.8%と比較的高くなっており、また、男性20代以下では「面倒である」、男性30代・40代・50代、女性30代では「時間的な余裕がない」、男性60代・70代以上、女性60代では「災害の実感がわからない」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大森地域では「時間的な余裕がない」が最も高くなっている。

図表Ⅱ－8－6 災害への備えでその行動を実践していない理由（性別・性/年代別・居住地域別）



9 観光（充実させるべき観光資源）

問 21 大田区が観光客にとって魅力的なまちになるためには、どのような観光資源を充実させるべきかご回答ください。

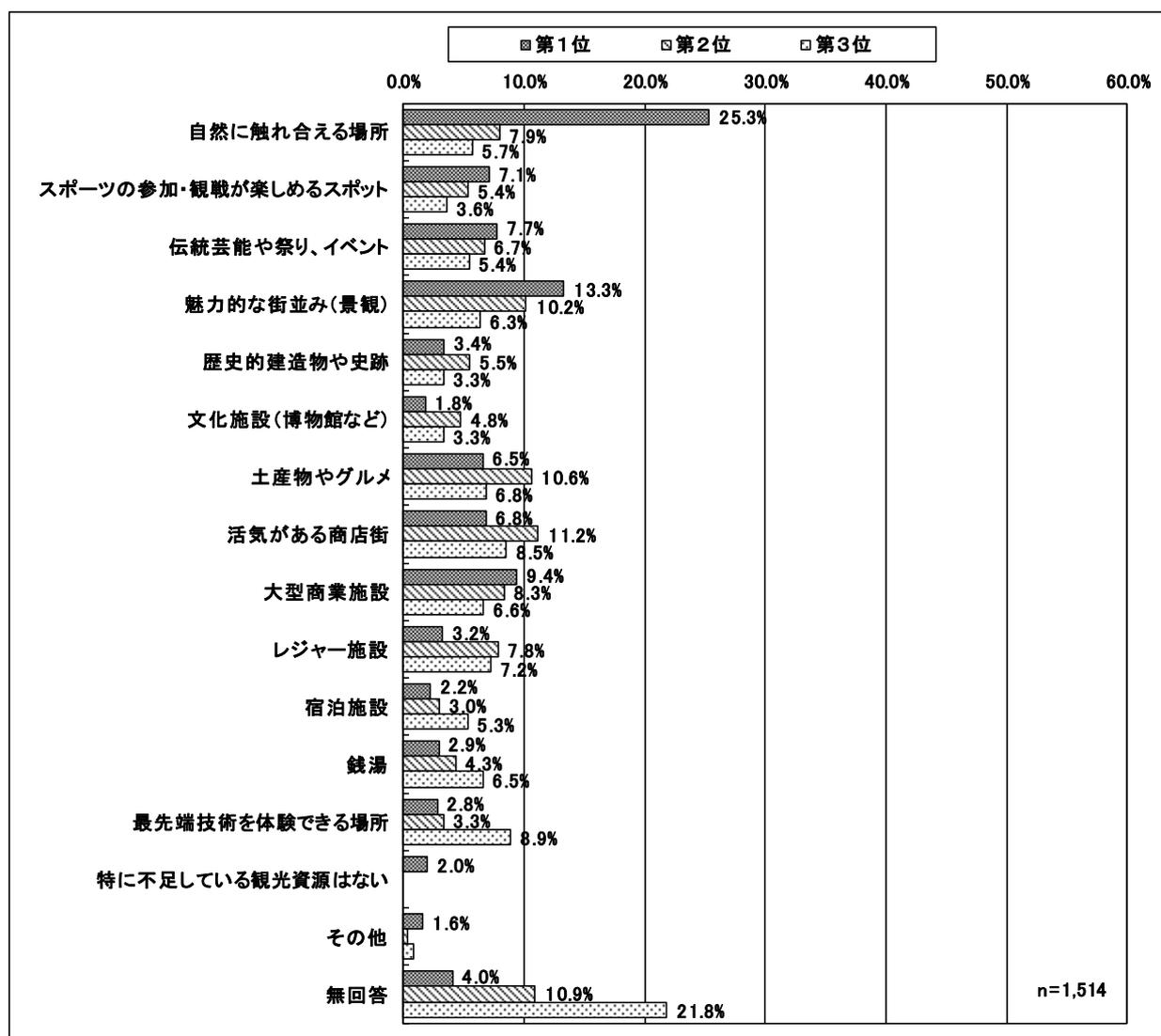
（特に充実させるべきだと感じるものを、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

－第1位は、「自然に触れ合える場所」の25.3%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「自然に触れ合える場所」の25.3%であり、「魅力的な街並み」の13.3%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「活気がある商店街」が11.2%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－9－1 充実させるべき観光資源（全体）

注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



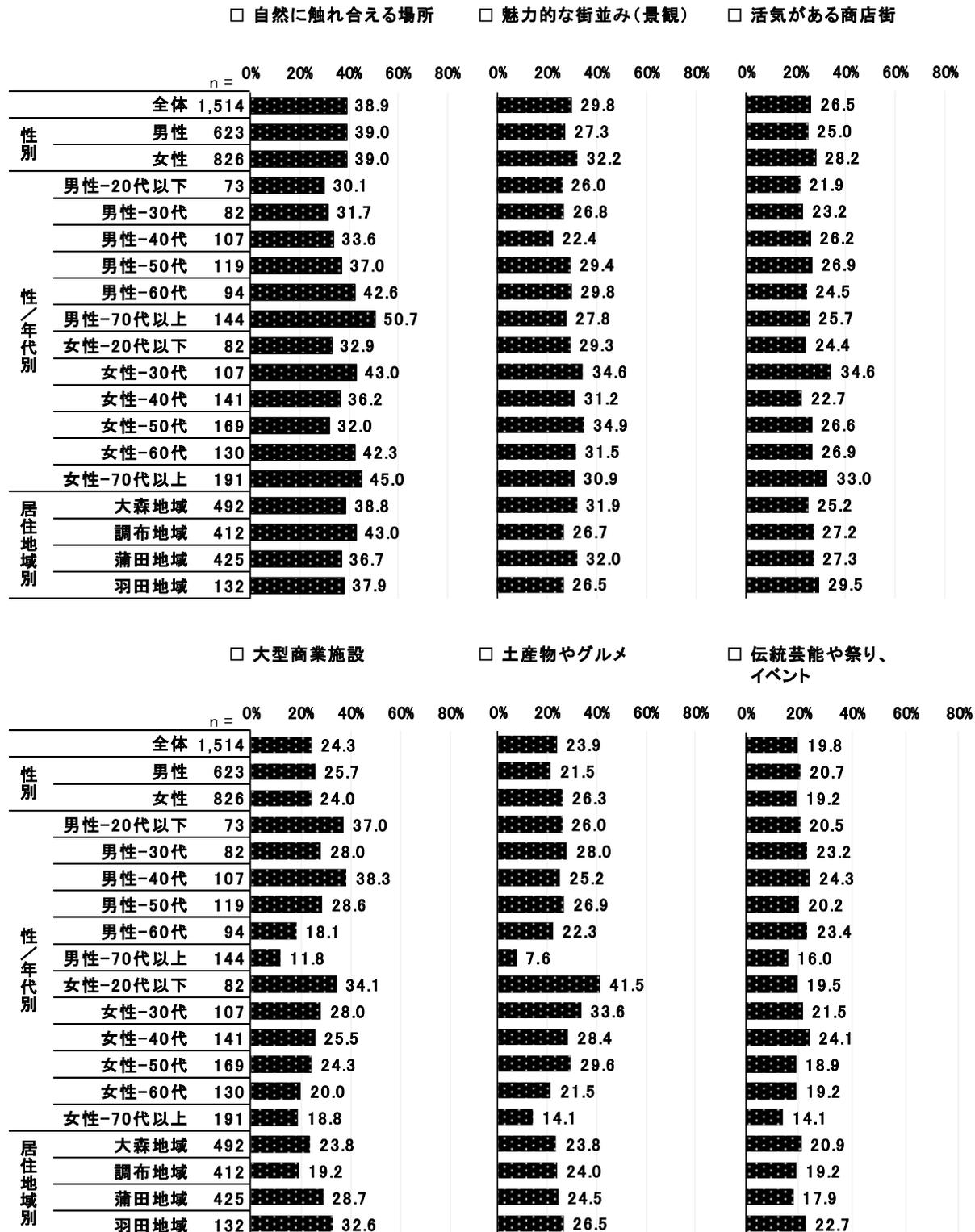
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「自然に触れ合える場所」は、男性 70 代以上で 50.7%と比較的高くなっており、また、男性 20 代以下・40 代では「大型商業施設」、女性 20 代以下では「土産物やグルメ」、女性 50 代では「魅力的な街並み」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ－9－2 充実させるべき観光資源（性別・性/年代別・居住地域別）



10 文化（新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動）

【本調査で対象としている文化・芸術に関わる事物】

音楽、美術、デザイン、映画、演劇、舞踊、文芸、歴史的な街並み・文化財・遺跡、地域で取り組んでいるイベント・祭り、芸能（歌舞伎・落語など）、サブカルチャー（アニメ、マンガなど）

問 22 新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動についてご回答ください。
（「関心」「鑑賞」「活動」の各項目、1つずつチェック）

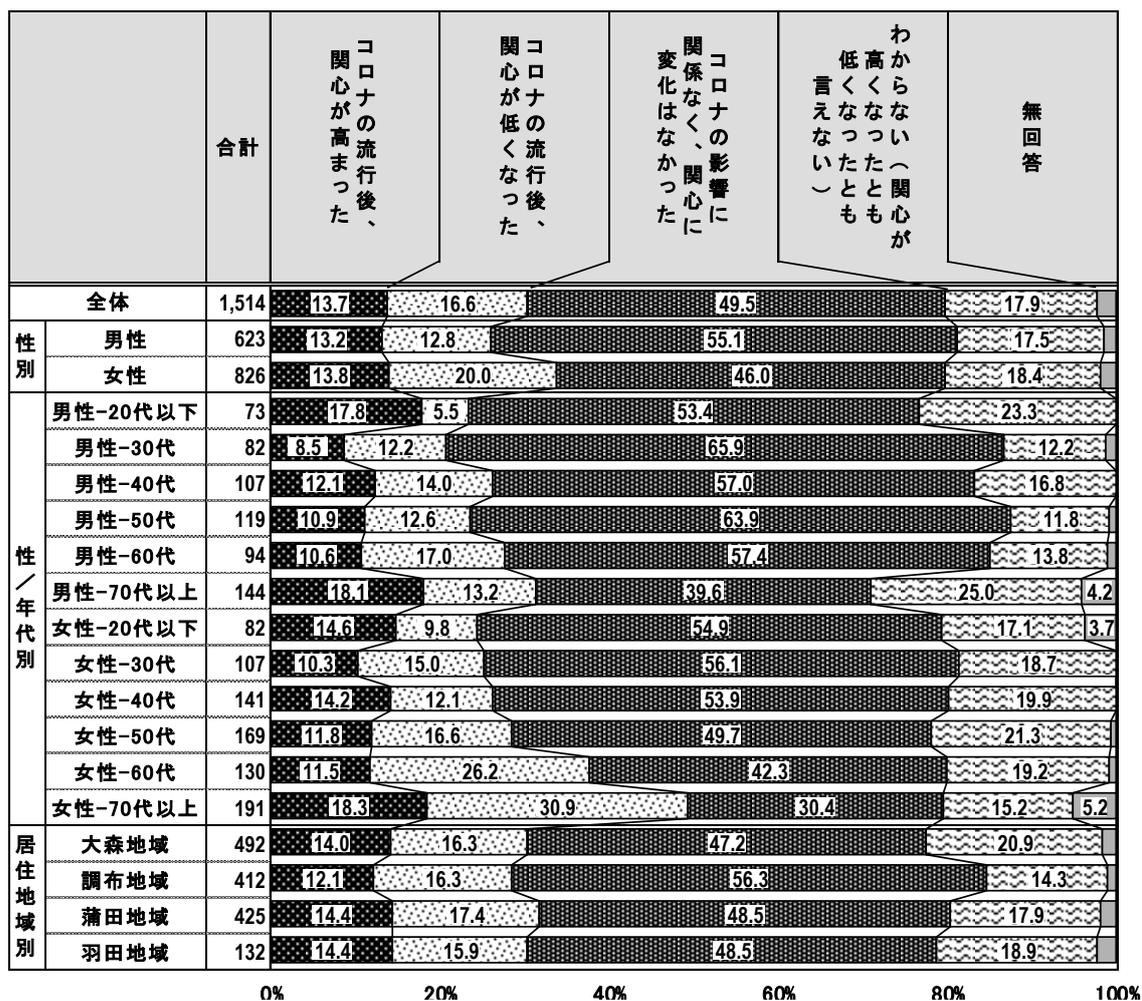
（1）文化・芸術活動に対する関心

－「コロナの影響に関係なく、関心に変化はなかった」が49.5%で最も高い－

- 全体で見ると、「コロナの影響に関係なく、関心に変化はなかった」が49.5%で最も高く、以下、「わからない（関心が高くなったとも低くなったとも言えない）」の17.9%、「コロナの流行後、関心が低くなった」の16.6%の順となっている。【図表Ⅱ-10-1、以下同様】
- 性別で見ると、「コロナの影響に関係なく、関心に変化はなかった」は、男性で55.1%、女性で46.0%と男性が9.1ポイント上回っている。
- 性／年代別で見ると、「コロナの影響に関係なく、関心に変化がなかった」は、男性30代で65.9%、男性50代で63.9%と比較的高くなっており、また、女性70代以上では「コロナの流行後、関心が低くなった」が最も高くなっている。
- 居住地域別で見ると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-10-1 文化・芸術活動に対する関心（性別・性/年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(2) 文化・芸術活動の鑑賞

－「コロナの流行後、鑑賞する機会が減った」が32.5%で最も高い－

○全体でみると、「コロナの流行後、鑑賞する機会が減った」が32.5%で最も高く、以下、「コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会がなかった」の31.4%、「コロナの流行後、鑑賞する機会が一時的に減ったが、徐々に戻りつつある」の16.7%の順となっている。

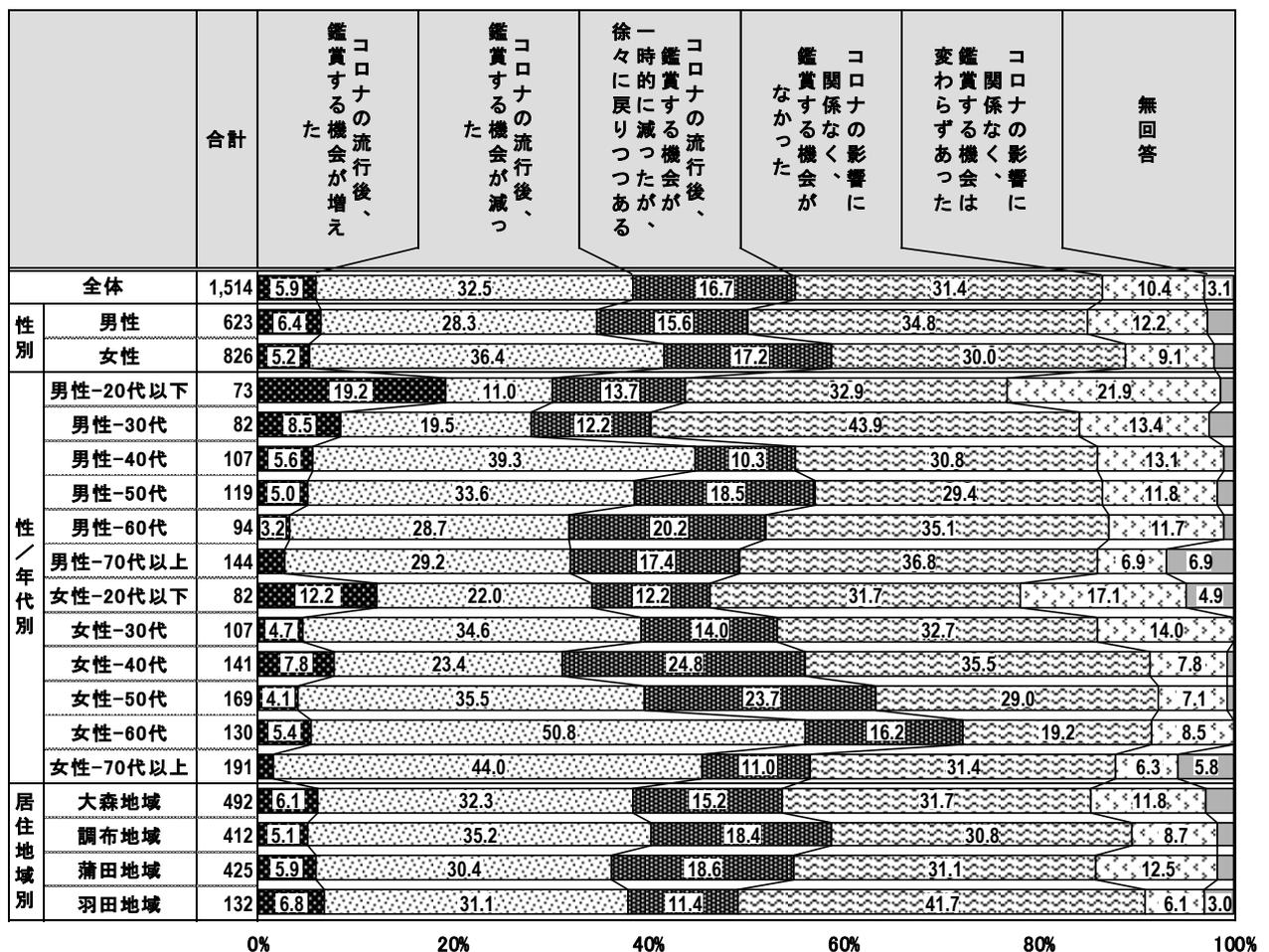
○性別でみると、男性は「コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会がなかった」が34.8%、女性は「コロナの流行後、鑑賞する機会が減った」が36.4%と最も高くなっている。

○性／年代別でみると、「コロナの流行後、鑑賞する機会が減った」は、女性60代で50.8%、女性70代以上で44.0%と比較的高くなっており、また、男性20代以下・30代・60代・70代以上、女性20代以下・40代では「コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会がなかった」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、蒲田地域と羽田地域では「コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会がなかった」が最も高くなっている。

図表Ⅱ-10-2 文化・芸術活動の鑑賞（性別・性／年代別・居住地域別）

注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(3) 文化・芸術に関わる活動

－「コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった」が39.8%で最も高い－

○全体でみると、「コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった」が39.8%で最も高く、以下、「コロナの流行後、活動する機会が減った」の27.7%、「コロナの流行後、活動する機会が一時的に減ったが、徐々に戻りつつある」の16.9%の順となっている。

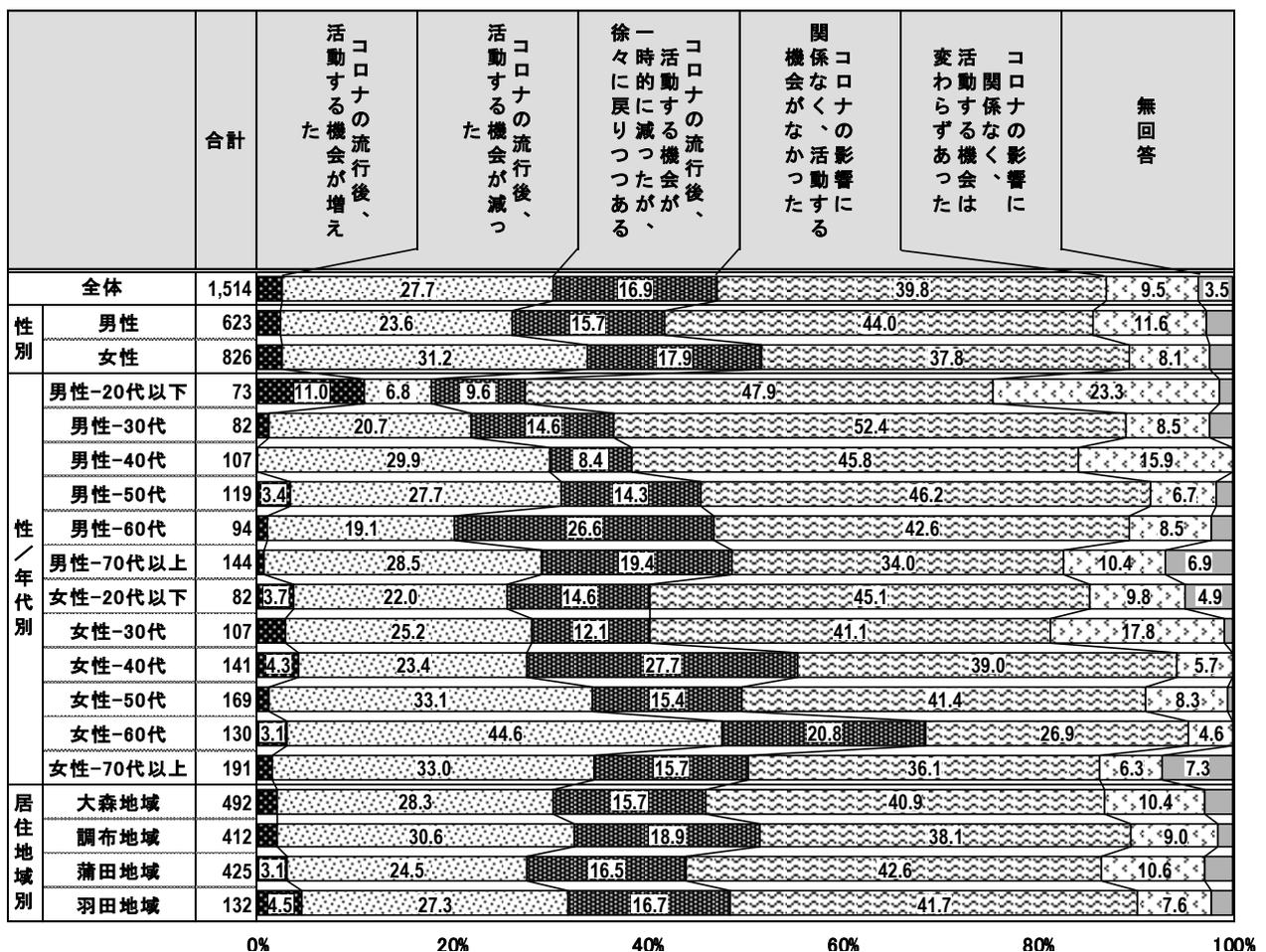
○性別でみると、「コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった」は、男性で44.0%、女性で37.8%と男性が6.2ポイント上回っている。

○性／年代別でみると、「コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった」は、男性30代で52.4%と比較的高くなっており、また、女性60代では「コロナの流行後、活動する機会が減った」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-10-3 文化・芸術に関わる活動（性別・性／年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



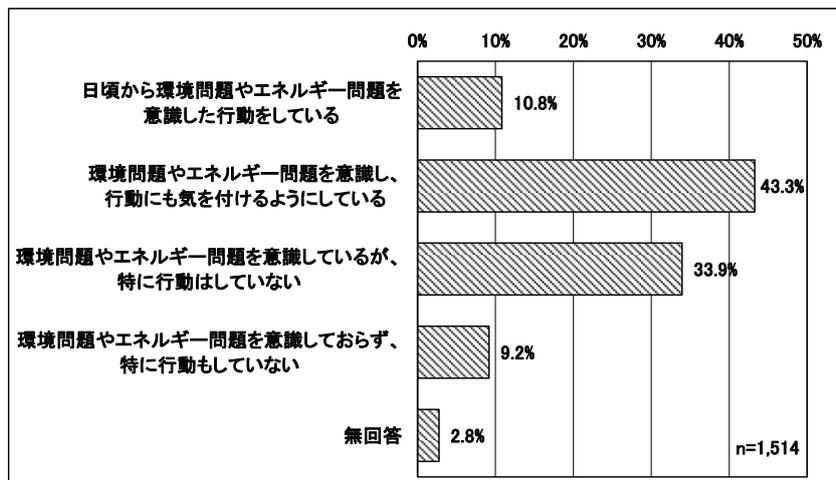
(1) 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動

問 23 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動についてご回答ください。
(チェックは1つだけ)

－「日頃から環境問題やエネルギー問題を意識した行動をしている」と
「環境問題やエネルギー問題を意識し、行動にも気を付けるようにしている」
の合計は 54.1%となっている－

○「日頃から環境問題やエネルギー問題を意識した行動をしている (10.8%)」と「環境問題やエネルギー問題を意識し、行動にも気を付けるようにしている (43.3%)」の合計が 54.1%で、「環境問題やエネルギー問題を意識しているが、特に行動はしていない (33.9%)」と「環境問題やエネルギー問題を意識しておらず、特に行動もしていない (9.2%)」の合計の 43.1%を上回っている。

図表Ⅱ-11-1 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動 (全体)



【性別・性/年代別・居住地域別】

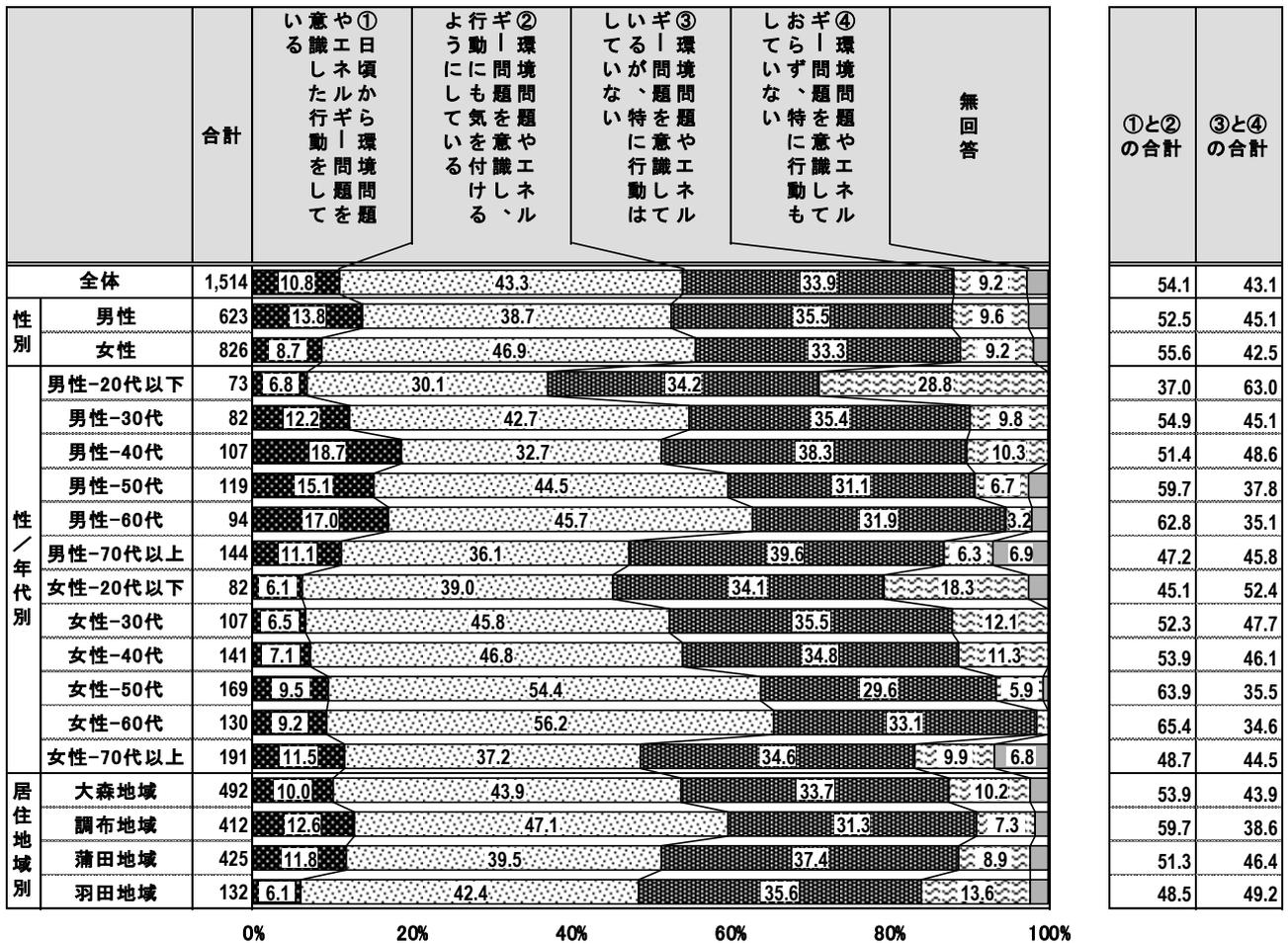
○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「日頃から環境問題やエネルギー問題を意識した行動をしている」と「環境問題やエネルギー問題を意識し、行動にも気を付けるようにしている」の合計は、女性60代で65.4%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-11-2 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動
(性別・性/年代別・居住地域別)

注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



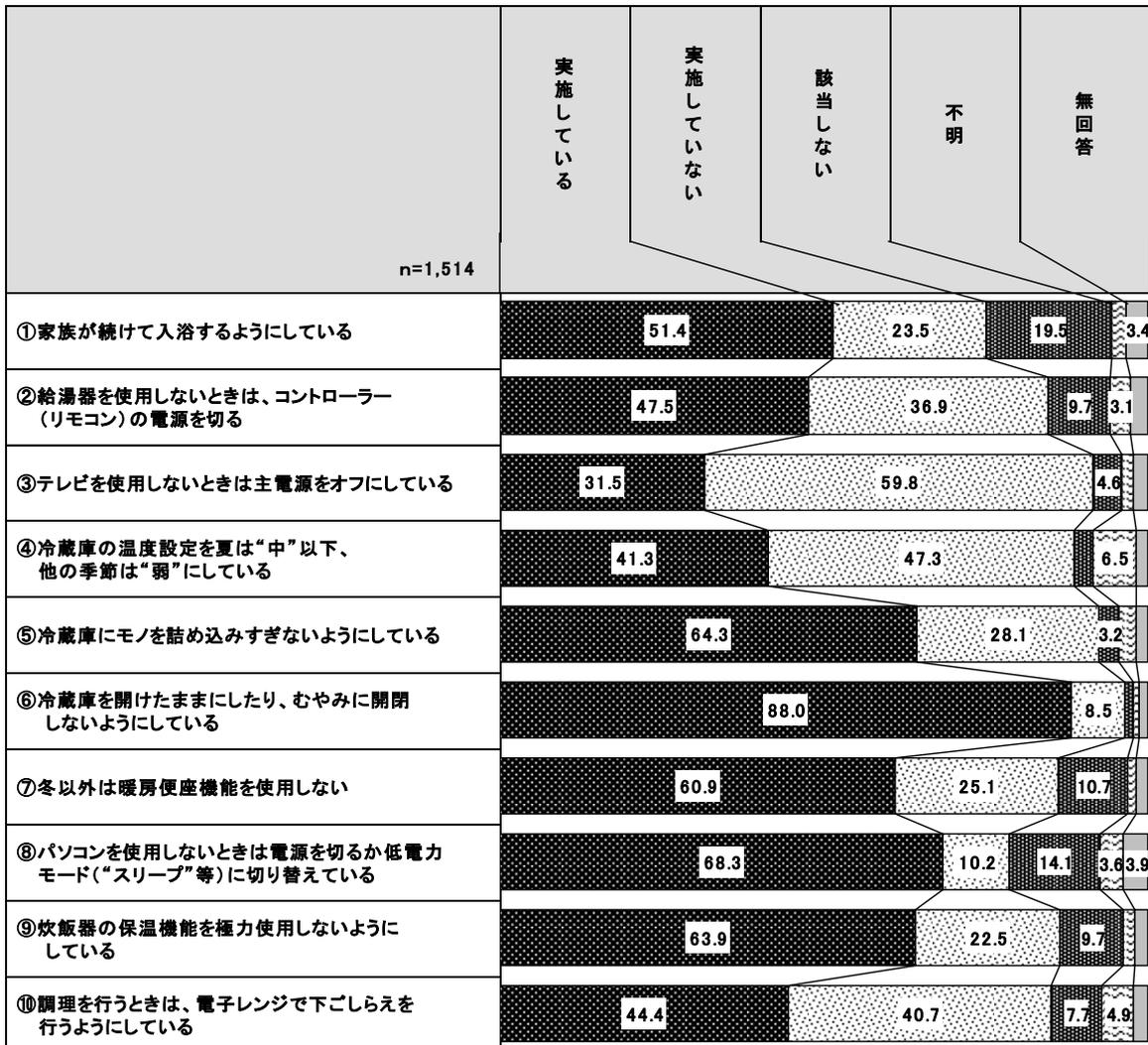
(2) 日常生活における省エネ行動

問 24 日常生活における、以下の省エネ行動についてご回答ください。
(各項目、1つずつチェック)

－「実施している」の回答率が最も高かったのは、「冷蔵庫を開けたままにしたり、むやみに開閉しないようにしている」の88.0%であり、
「実施していない」の回答率が最も高かったのは、
「テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」の59.8%である－

- 「実施している」の回答率が最も高かったのは、「⑥冷蔵庫を開けたままにしたり、むやみに開閉しないようにしている」の88.0%であり、以下、「⑧パソコンを使用しないときは電源を切るか低電力モード(“スリープ”等)に切り替えている」の68.3%、「⑤冷蔵庫にモノを詰め込みすぎないようにしている」の64.3%の順となっている。
- 「実施していない」の回答率が最も高かったのは、「③テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」の59.8%であり、以下、「④冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている」の47.3%、「⑩調理を行うときは、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている」の40.7%の順となっている。

図表Ⅱ-11-3 日常生活における省エネ行動(全体)
注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(3) 省エネ行動を実施していない理由

問 25 省エネ行動を実施していない理由についてご回答ください。

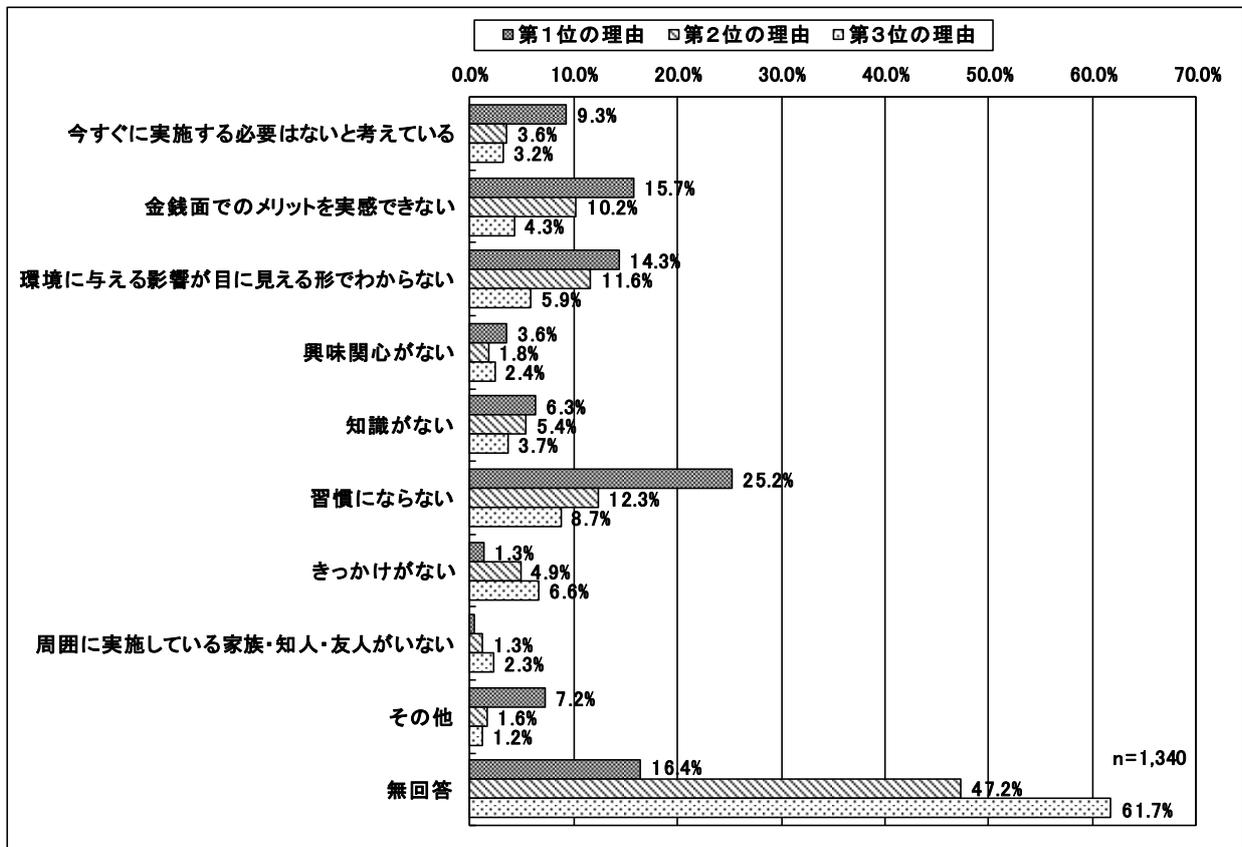
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「習慣にならない」の25.2%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「習慣にならない」の25.2%であり、「金銭面でのメリットを実感できない」の15.7%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率でも「習慣にならない」が12.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-11-4 省エネ行動を実施していない理由（全体）

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



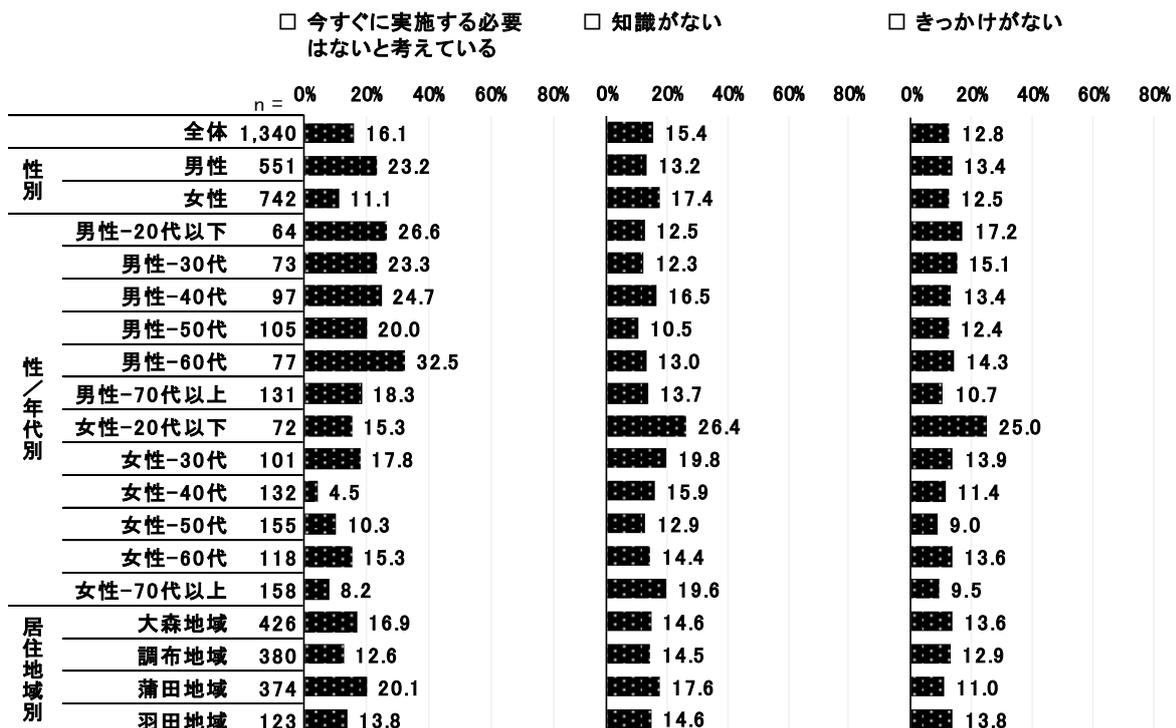
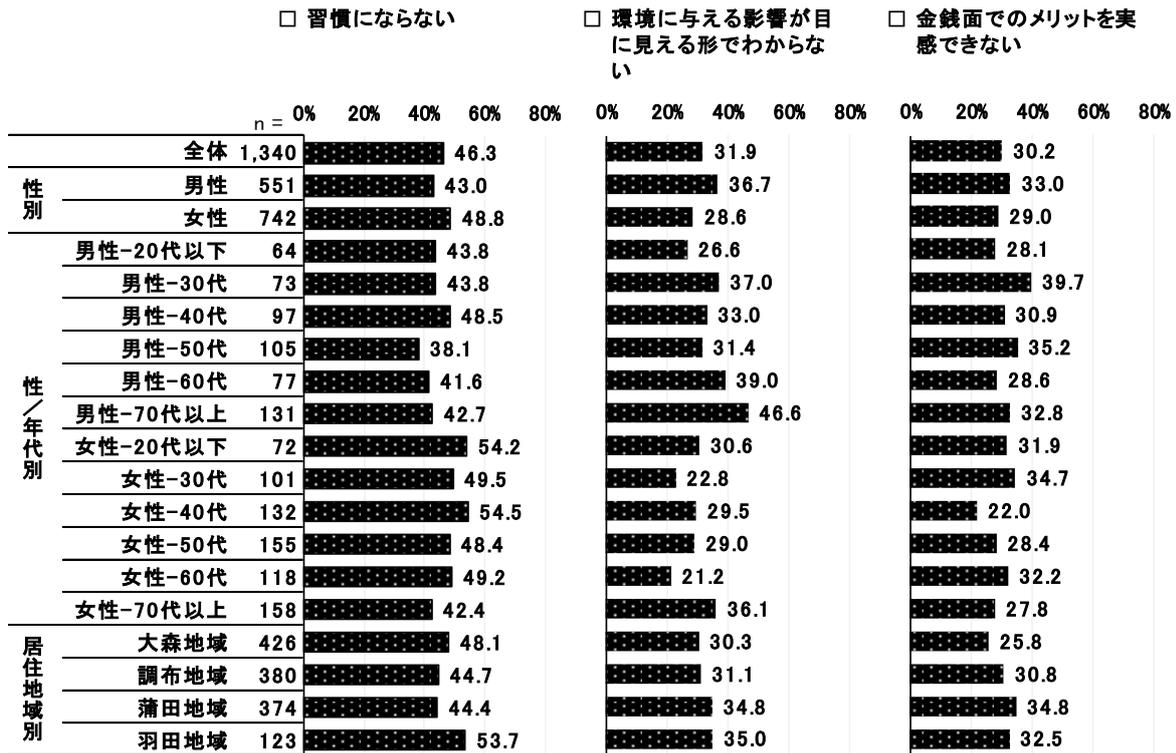
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、「習慣にならない」は、男性で43.0%、女性で48.8%と女性が5.8ポイント上回っている。

○性/年代別でみると、男性70代以上では「環境に与える影響が目に見える形でわからない」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-11-5 省エネ行動を実施していない理由（性別・性/年代別・居住地域別）



12 行政手続のオンライン化

【オンラインで利用できる大田区の行政手続の例】

- ①新型コロナウイルス関連（接種券の再発行、療養通知書交付申請等）
- ②妊娠出産支援（大田区産後家事・育児援助事業「びよびよサポート」等）
- ③児童医療（医療証の交付、再交付、変更申請等）
- ④児童手当（現況届、認定請求、額改訂請求等）
- ⑤子育て関連（バースデーサポート事業アンケート回答及び大田区子育て応援券交付申請等）
- ⑥公文書開示（開示請求等）
- ⑦転出届・転居届（転出届の窓口予約、転出届の作成等）

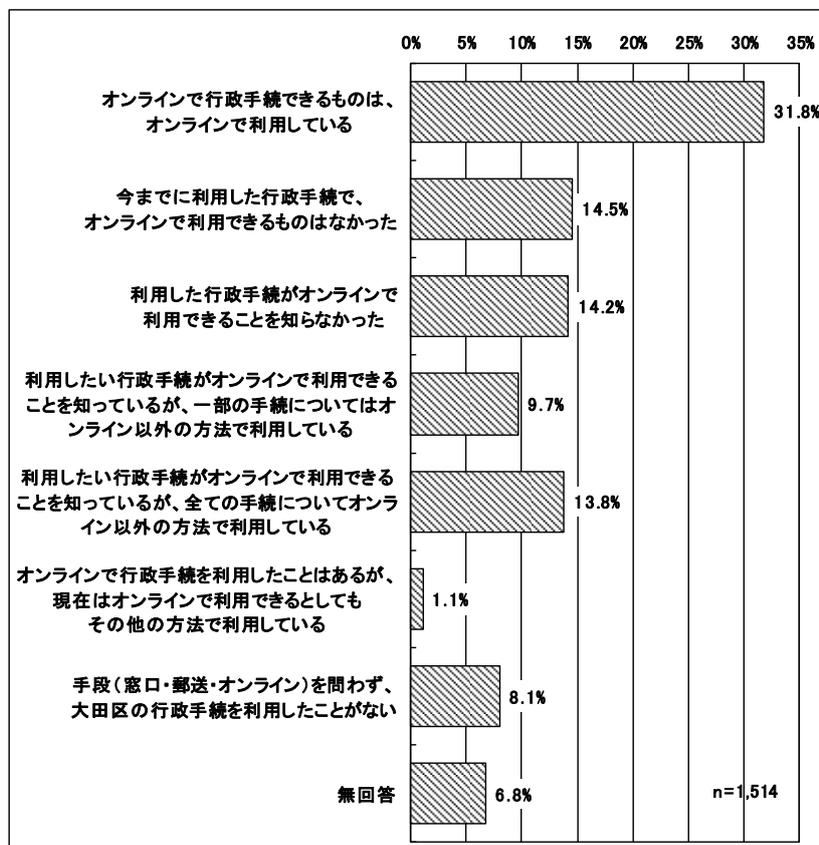
（１）オンラインによる区の行政手続の利用状況

問 26 大田区の行政手続の利用状況についてご回答ください。（チェックは1つだけ）

－「オンラインで行政手続できるものは、
オンラインで利用している」が31.8%で最も高い－

○「オンラインで行政手続できるものは、オンラインで利用している」が31.8%で最も高く、以下、「今までに利用した行政手続で、オンラインで利用できるものはなかった」の14.5%、「利用した行政手続がオンラインで利用できることを知らなかった」の14.2%の順となっている。

図表Ⅱ-12-1 オンラインによる区の行政手続の利用状況（全体）



【性別・性/年代別・居住地域別】

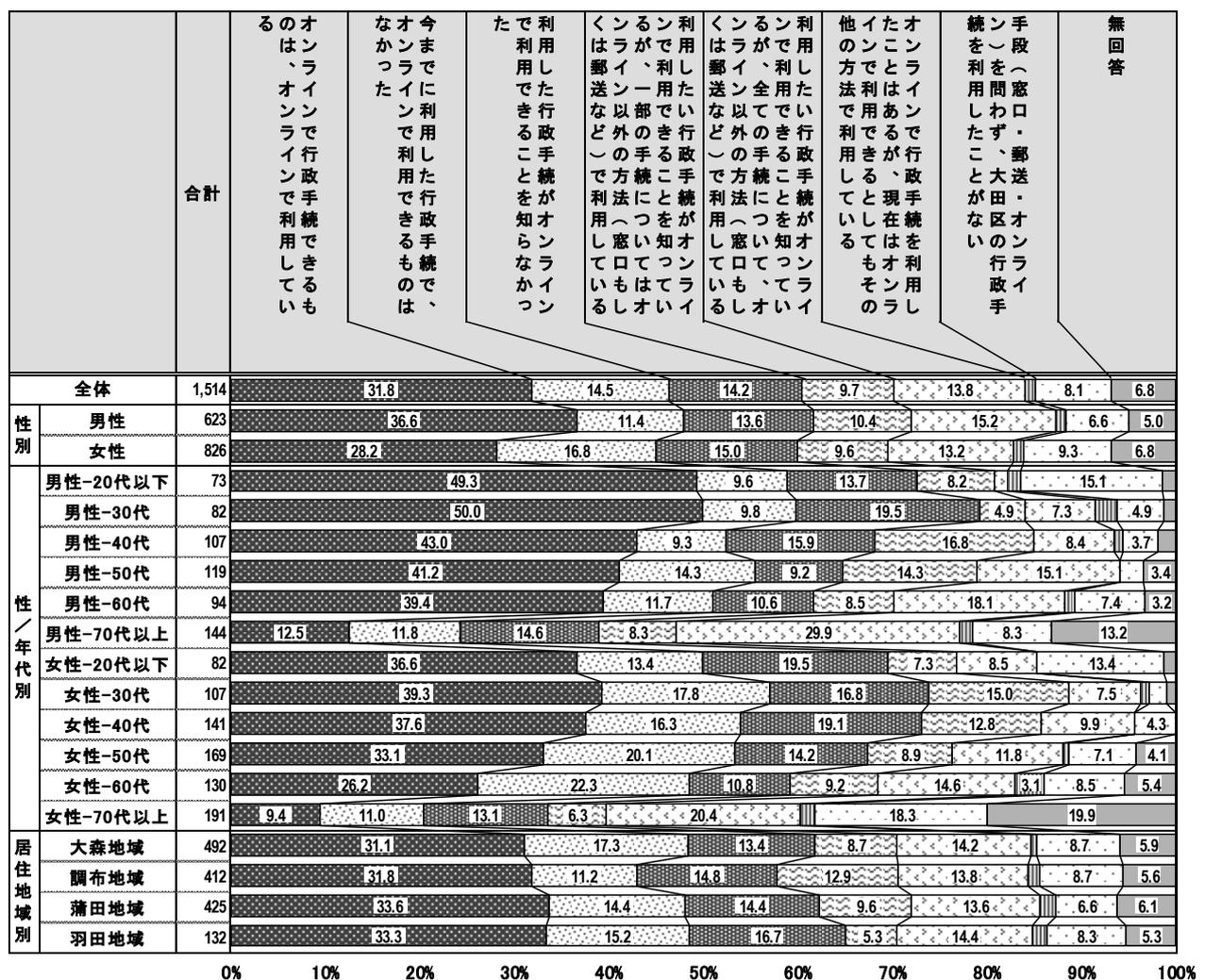
○性別でみると、「オンラインで行政手続できるものは、オンラインで利用している」は、男性で36.6%、女性で28.2%と男性が8.4ポイント上回っている。

○性/年代別でみると、「オンラインで行政手続できるものは、オンラインで利用している」は、男性30代で50.0%、男性20代以下で49.3%と比較的高くなっており、また、男性・女性70代以上では「利用したい行政手続がオンラインで利用できることを知っているが、全ての手続について、オンライン以外の方法で利用している」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-12-2 オンラインによる区の行政手続の利用状況（性別・性/年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(2) オンラインによる区の行政手続を利用していない理由

問 27 オンラインで行政手続を利用していない理由についてご回答ください。

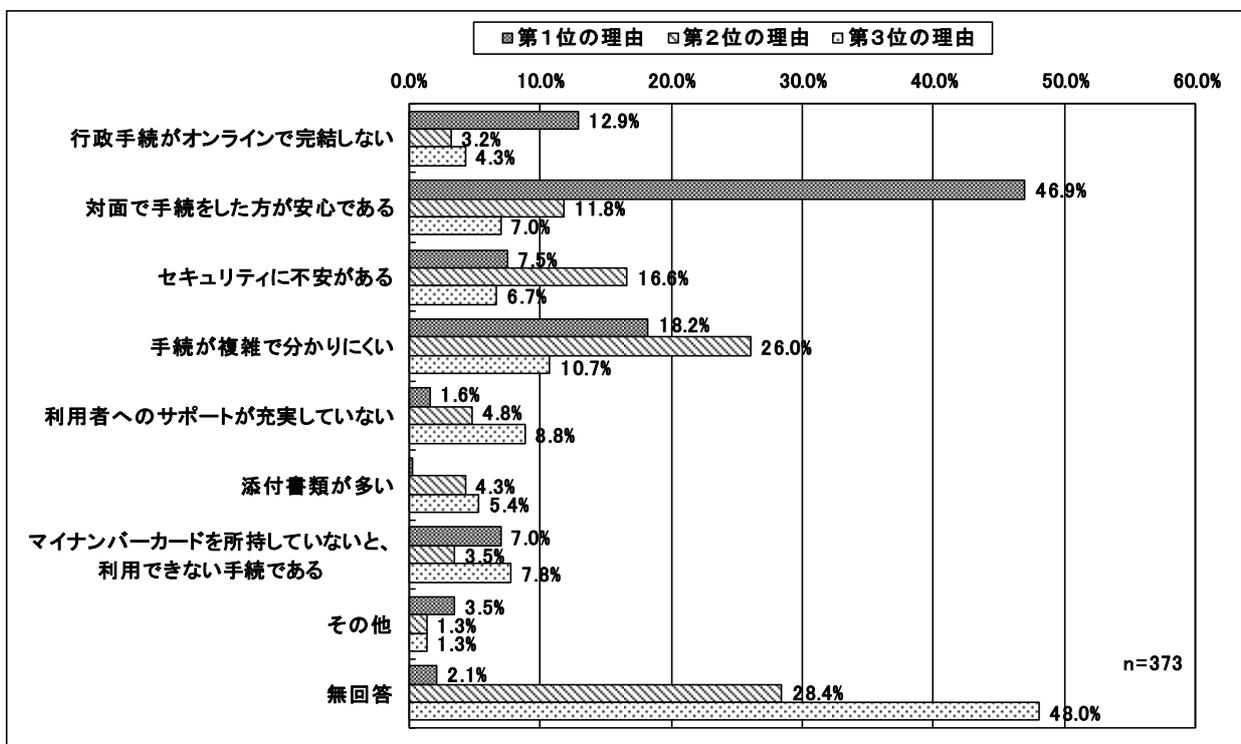
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「対面で手続をした方が安心である」の46.9%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「対面で手続をした方が安心である」の46.9%であり、「手続が複雑で分かりにくい」の18.2%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「手続が複雑で分かりにくい」が26.0%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-12-3 オンラインによる区の行政手続を利用していない理由（全体）

注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



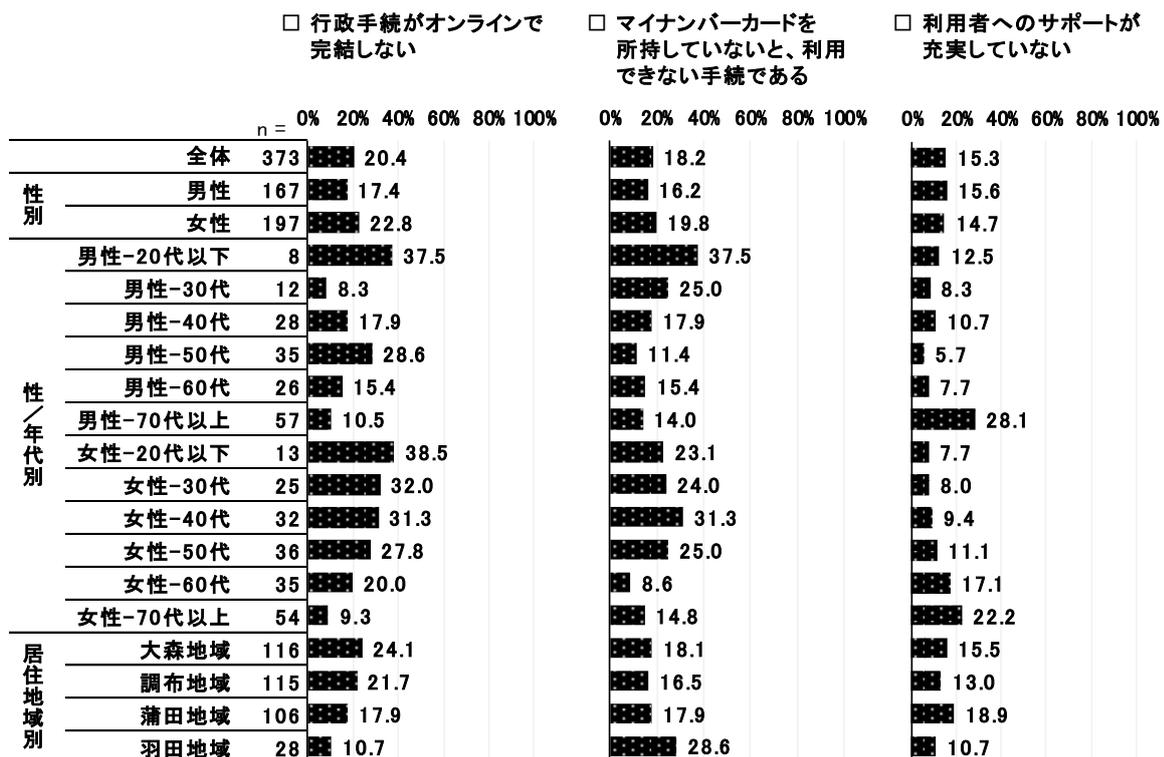
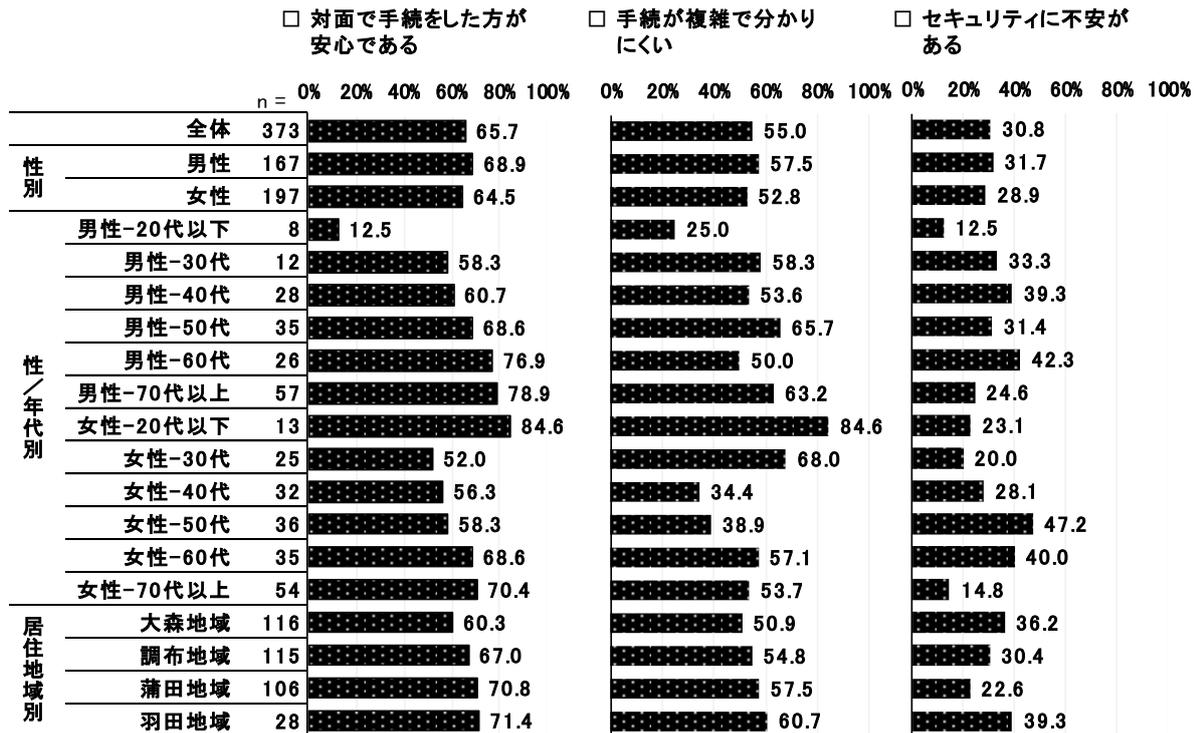
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「対面で手続をした方が安心である」は、男性 70 代以上で 78.9%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-12-4 オンラインによる区の行政手続を利用していない理由
（性別・性/年代別・居住地域別）



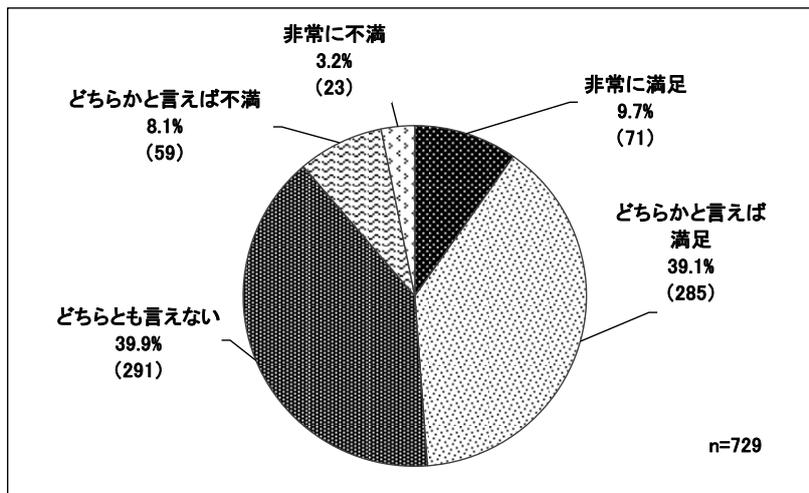
(3) 利用経験がある区のオンライン手続の満足度

問 28 利用経験があるオンライン手続の満足度についてご回答ください。
(チェックは1つだけ)

－ 『満足』が48.8%で、『不満』の11.2%を大きく上回っている－

○「非常に満足 (9.7%)」と「どちらかと言えば満足 (39.1%)」を合わせた『満足』が48.8%で、「どちらかと言えば不満 (8.1%)」と「非常に不満 (3.2%)」を合わせた『不満』の11.2%を大きく上回っている。

図表Ⅱ-12-5 利用経験がある区のオンライン手続の満足度



【性別・性/年代別・居住地域別】

- 性別でみると、『満足』は、男性で46.2%、女性で51.6%と女性が5.4ポイント上回っている。
- 性/年代別でみると、『満足』は女性40代で66.7%と比較的高くなっている。
- 居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-12-6 利用経験がある区のオンライン手続の満足度（性別・性/年代別・居住地域別）
注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(4) 区のオンライン手続の満足度が低い理由

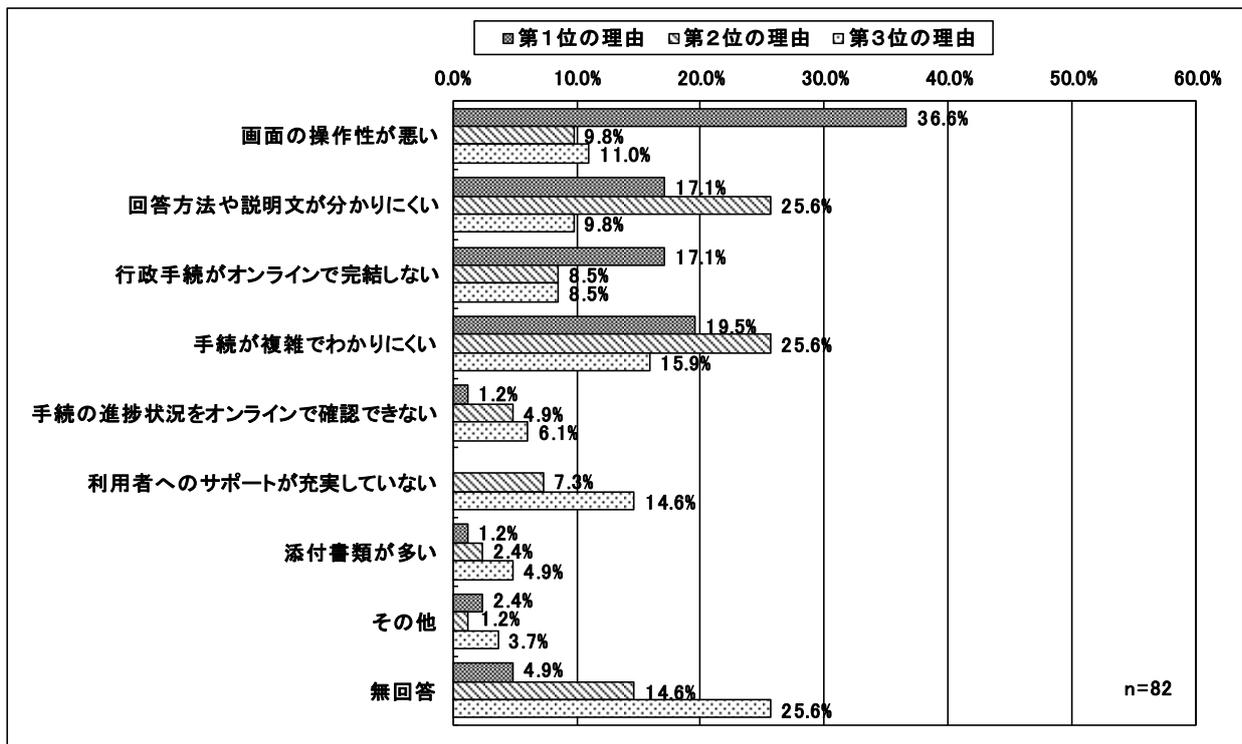
問 29 満足度が低い理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「画面の操作性が悪い」の36.6%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「画面の操作性が悪い」の36.6%であり、「手続が複雑でわかりにくい」の19.5%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「回答方法や説明文がわかりにくい」及び「手続が複雑でわかりにくい」が25.6%で最も高くなっている。

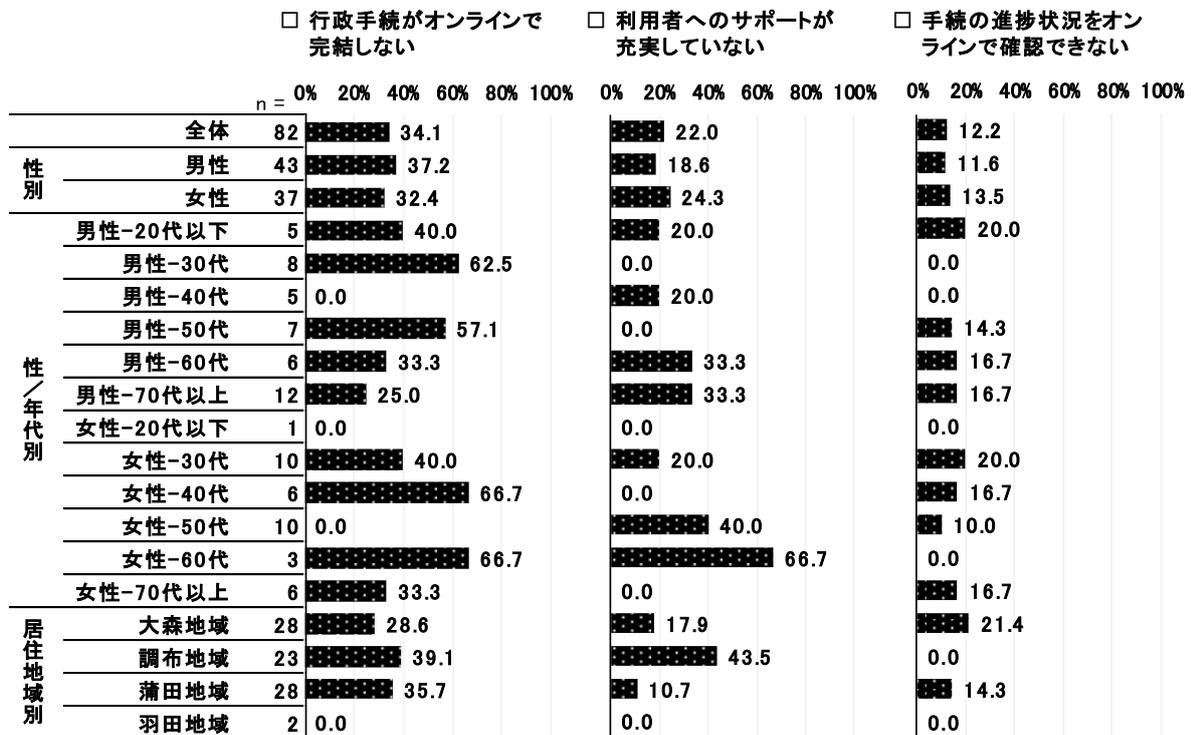
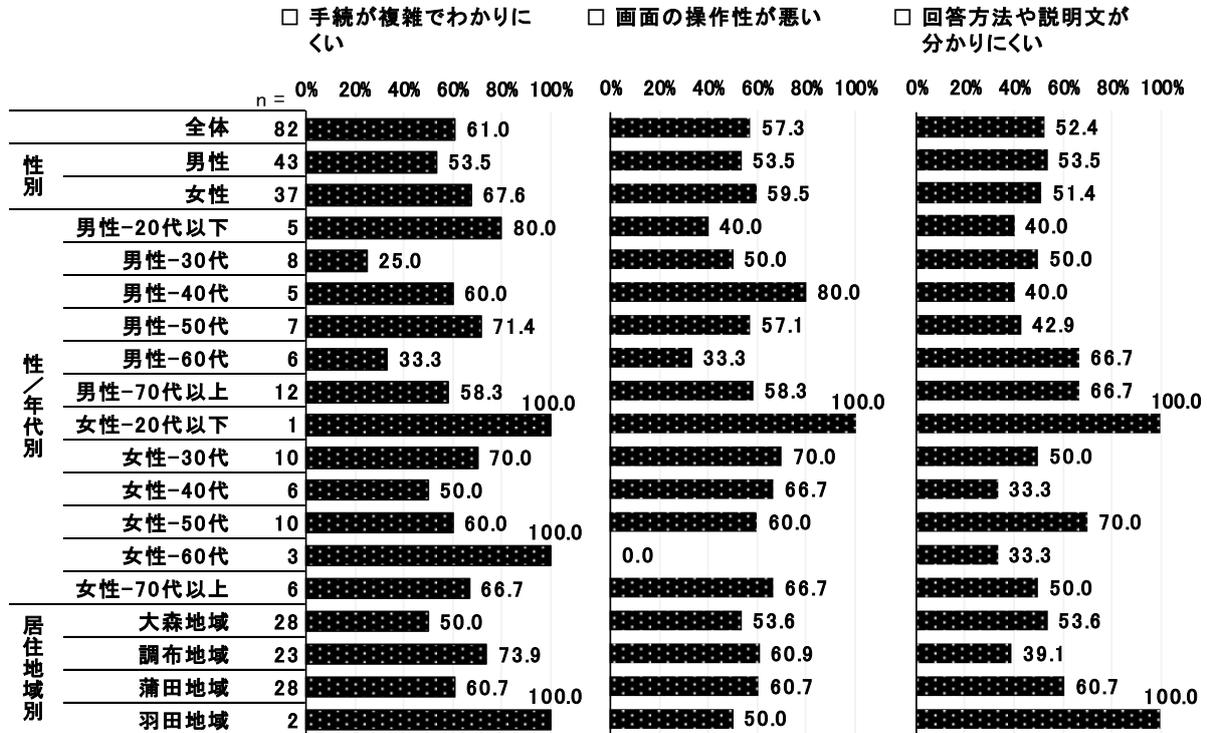
図表Ⅱ-12-7 区のオンライン手続の満足度が低い理由（全体）



【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、「手順が複雑でわかりにくい」は、男性で 53.5%、女性で 67.6%と女性が 14.1 ポイント上回っている。また、男性は「画面の操作性が悪い」及び「回答方法や説明文がわかりにくい」も 53.5%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-12-8 区のオンライン手続の満足度が低い理由（性別・性/年代別・居住地域別）



【SDGsとは】

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「**持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)**」のことです。SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット（達成基準）から構成されます。

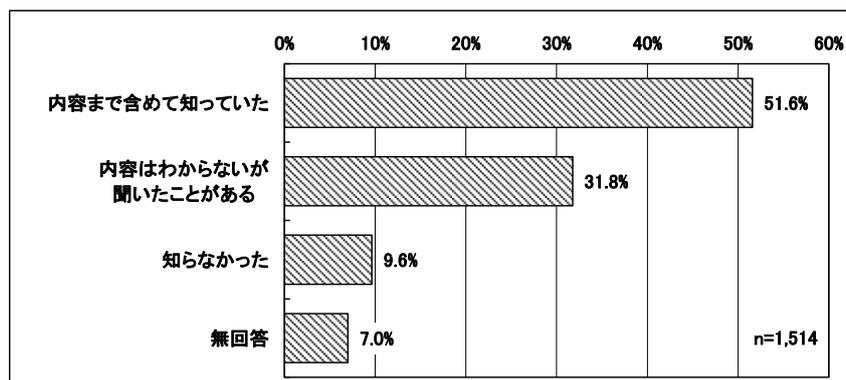
(1) SDGsに対する認知度・理解度

問 30 SDGsについて知っていたかご回答ください。（チェックは1つだけ）

－ 『SDGsに対する認知度』は83.4%となっている－

○「内容まで含めて知っていた」は51.6%、「内容はわからないが聞いたことがある」は31.8%であり、両者を合わせた『SDGsに対する認知度』は83.4%となっている。

図表Ⅱ－13－1 SDGsに対する認知度・理解度（全体）



【性別・性/年代別・居住地域別】

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、『SDGsに対する認知度』は、女性 40 代で 94.3%、女性 30 代で 93.5%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-13-2 SDGsに対する認知度・理解度（性別・性/年代別・居住地域別）
注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



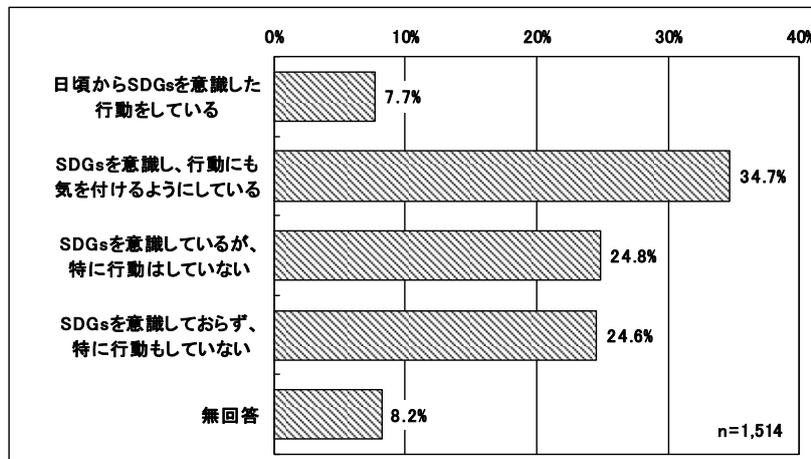
(2) SDGsに関する意識と行動

問 31 SDGsに関する意識と行動についてご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「日頃からSDGsを意識した行動をしている」と「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている」の合計は42.4%となっている－

○「日頃からSDGsを意識した行動をしている (7.7%)」と「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている (34.7%)」の合計が42.4%で、「SDGsを意識しているが、特に行動はしていない (24.8%)」と「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない (24.6%)」の合計の49.4%を下回っている。

図表Ⅱ-13-3 SDGsに関する意識と行動 (全体)



【性別・性/年代別・居住地域別】

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「日頃からSDGsを意識した行動をしている」と「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている」の合計は、女性40代で58.2%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-13-4 SDGsに関する意識と行動（性別・性/年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(3) SDGsに関する行動をしていない理由

問 32 SDGsに関する行動をしていない理由についてご回答ください。

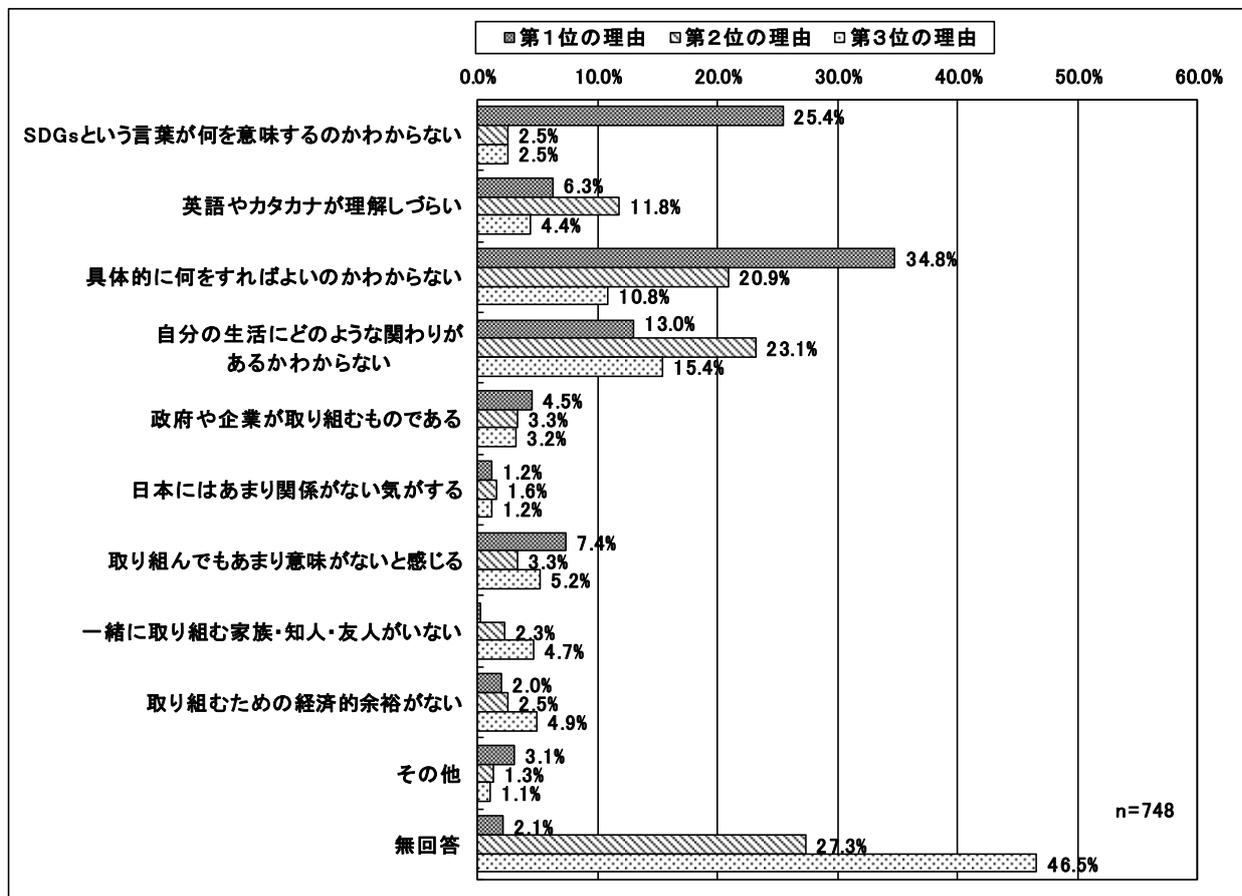
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「具体的に何をすればよいかわからない」の34.8%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「具体的に何をすればよいかわからない」の34.8%であり、「SDGsという言葉が何を意味するかわからない」の25.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「自分の生活にどのような関わりがあるかわからない」が23.1%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-13-5 SDGsに関する行動をしていない理由（全体）

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



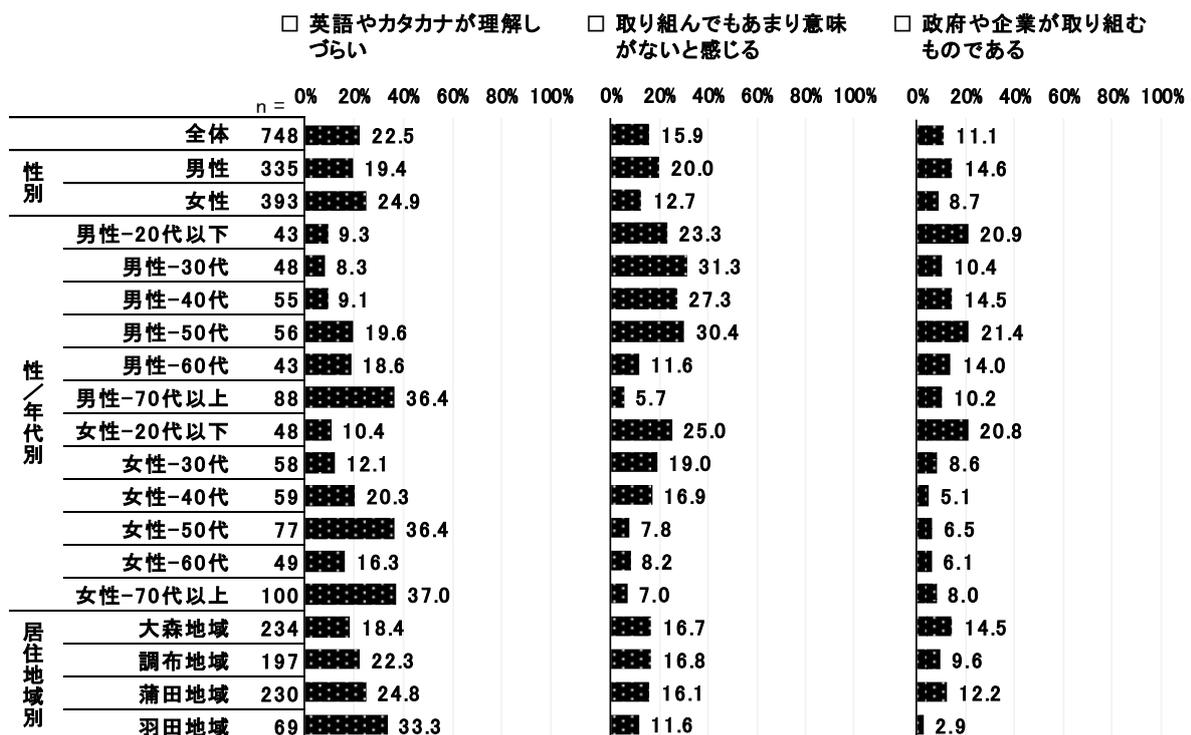
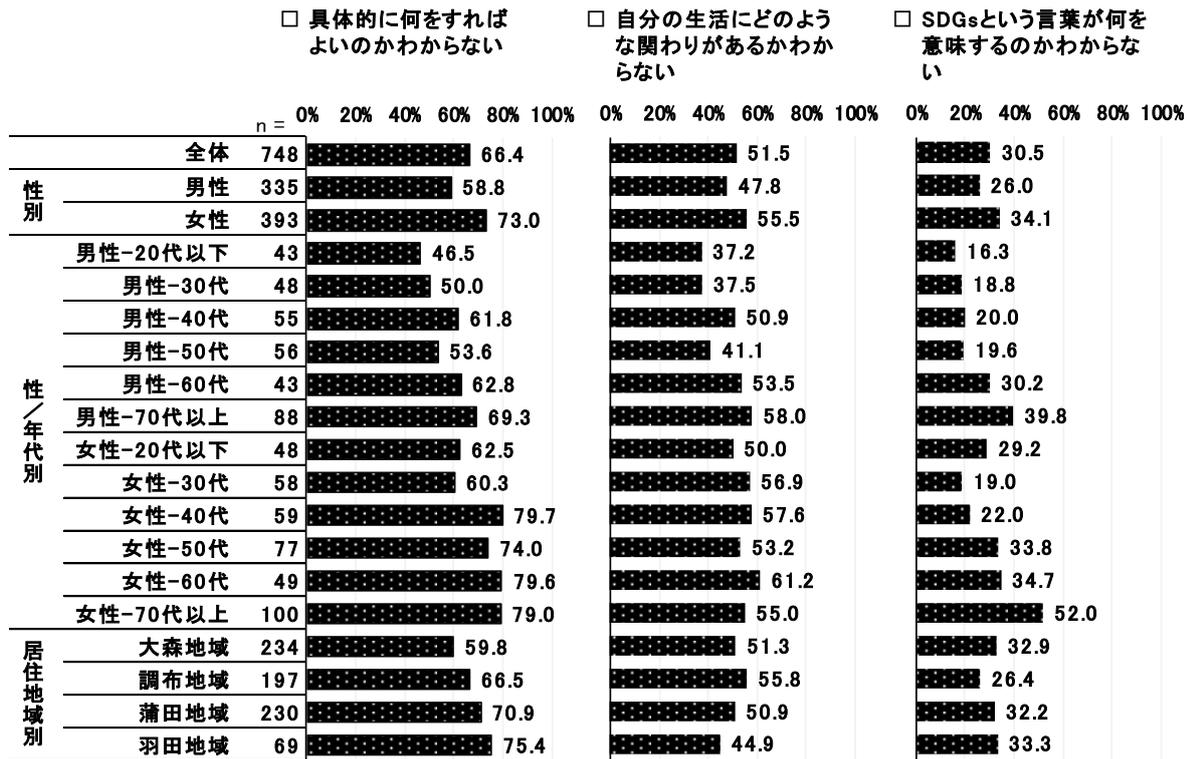
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」は、男性で58.8%、女性で73.0%と女性が14.2ポイント上回っている。

○性/年代別でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」は、女性40代で79.7%、女性60代で79.6%と比較的高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-13-6 SDGsに関する行動をしていない理由（性別・性/年代別・居住地域別）



14 定住意向

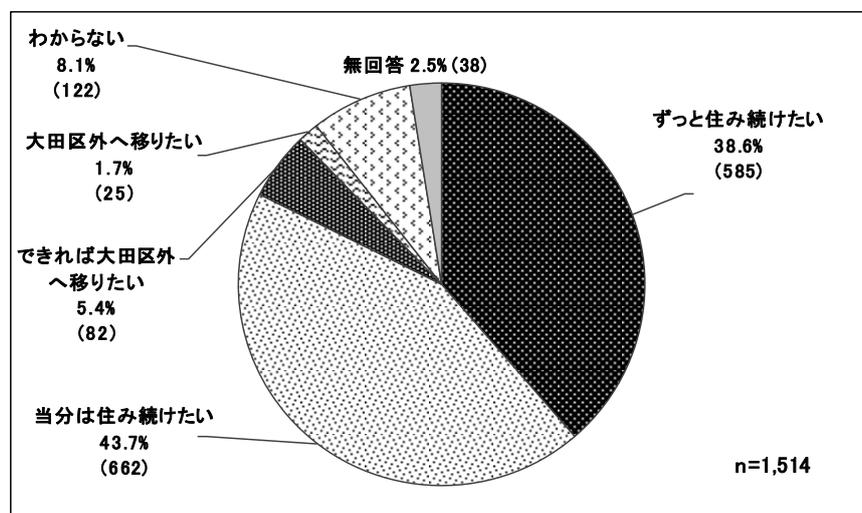
(1) 今後の定住意向

問 33 これからも大田区に住みたいと思うかご回答ください。(チェックは1つだけ)

一 『住み続けたい』が82.4%で、『区外へ移りたい』の7.1%を大きく上回っている一

○「ずっと住み続けたい(38.6%)」と「当分は住み続けたい(43.7%)」を合わせた『住み続けたい』が82.4%で、「できれば大田区外へ移りたい(5.4%)」と「大田区外へ移りたい(1.7%)」を合わせた『区外へ移りたい』の7.1%を大きく上回っている。

図表Ⅱ-14-1 今後の定住意向(全体)



【性別・性/年代別・居住地域別】

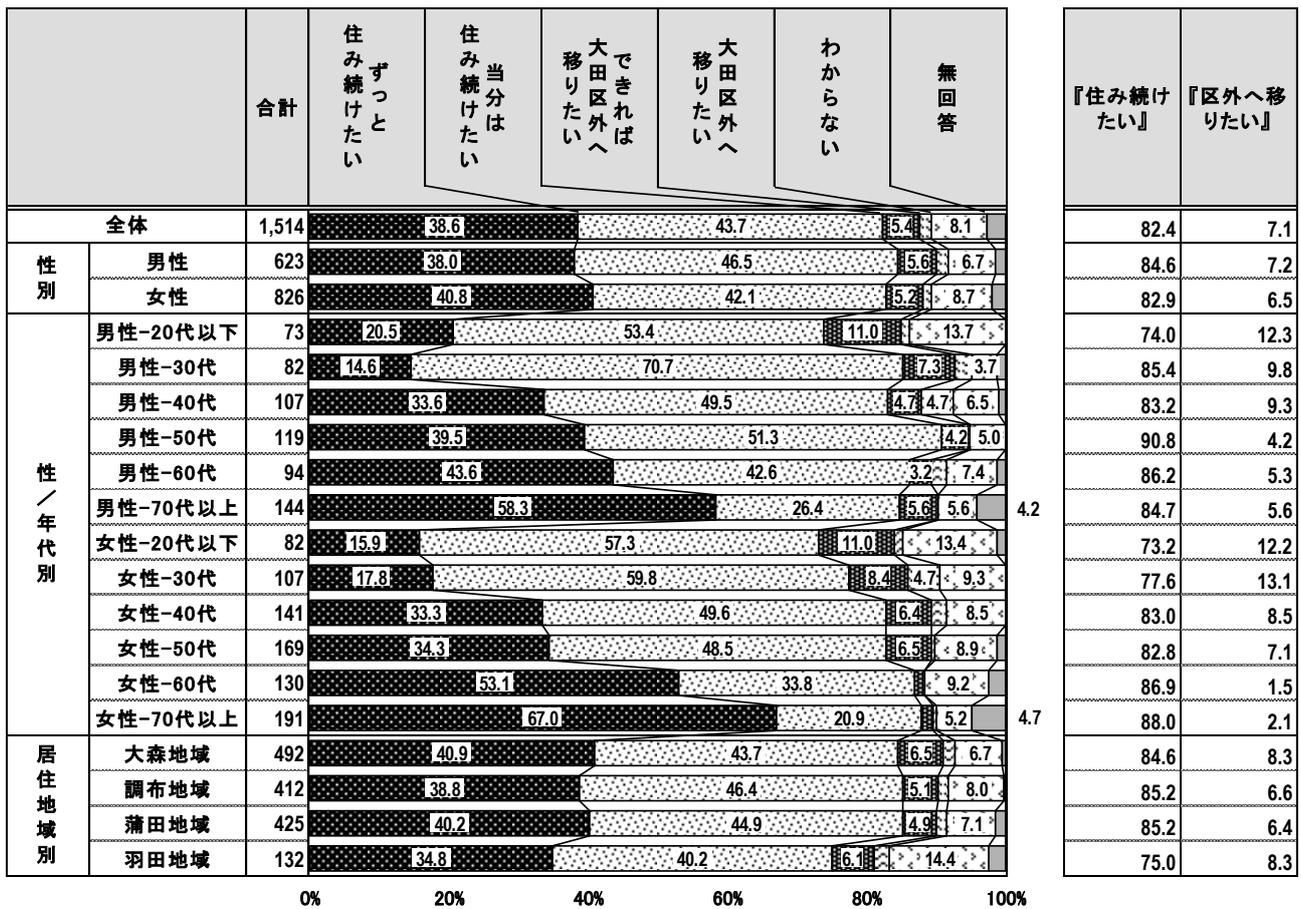
○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、『住み続けたい』は、男性 50 代で 90.8%と最も高くなっており、女性 20 代以下で 73.2%と最も低くなっている。

○居住地域別でみると、『住み続けたい』は、調布地域と蒲田地域で 85.2%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-2 今後の定住意向（性別・性/年代別・居住地域別）

注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(2) 区内に住み続けたい・区外へ移り住みたい理由

問 34 問 33 の回答理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

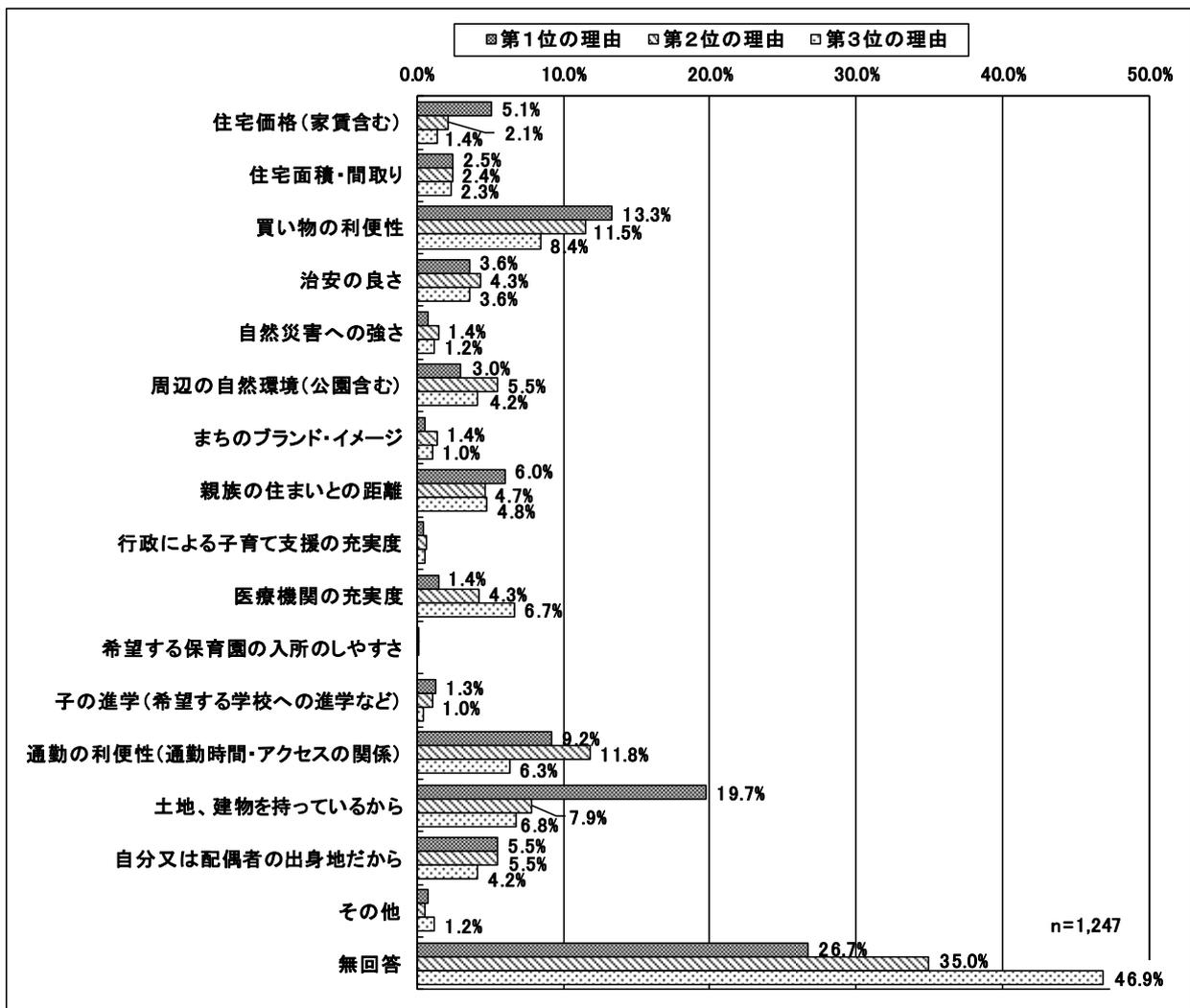
①区内に住み続けたい理由

(問 33 で「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を選択した方が対象)

—第1位は、「土地、建物を持っているから」の19.7%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「土地、建物を持っているから」の19.7%であり、「買い物の利便性」の13.3%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「通勤の利便性」が11.8%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-3 区内に住み続けたい理由(全体)
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



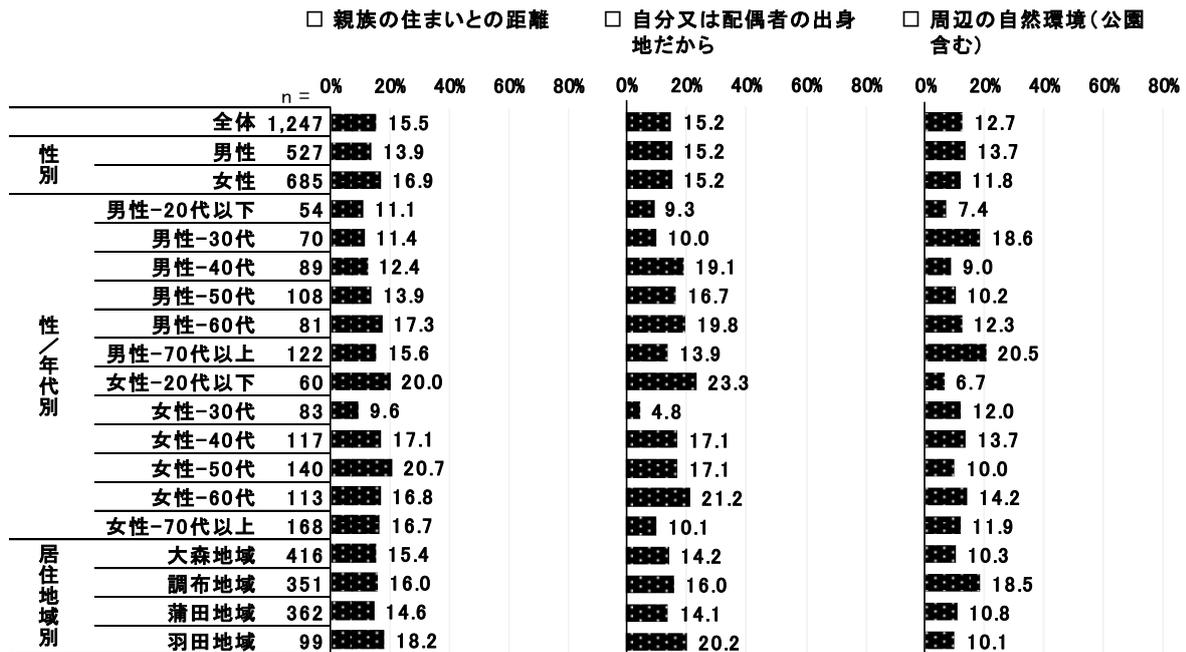
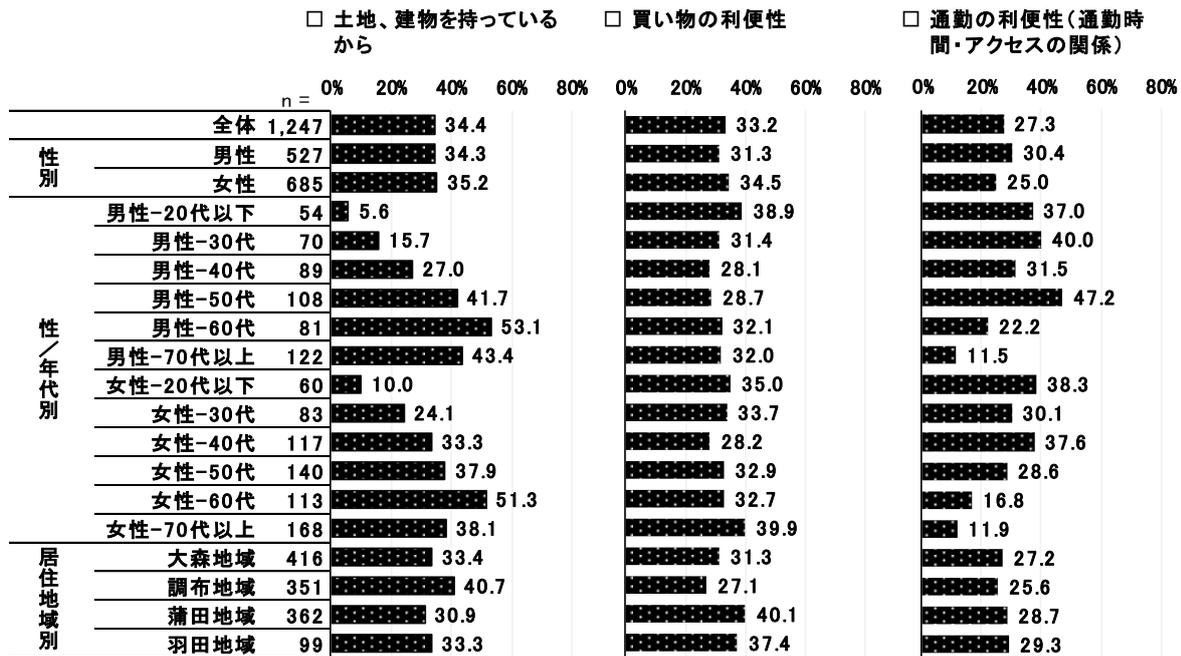
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「土地、建物を持っているから」は、男性60代で53.1%、女性60代で51.3%と比較的高くなっており、また、男性20代以下、女性30代・70代以上では「買い物の利便性」、男性30代・40代・50代、女性20代以下・40代では「通勤の利便性」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、蒲田地域と羽田地域では「買い物の利便性」が最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-4 区内に住み続けたい理由（性別・性/年代別・居住地域別）



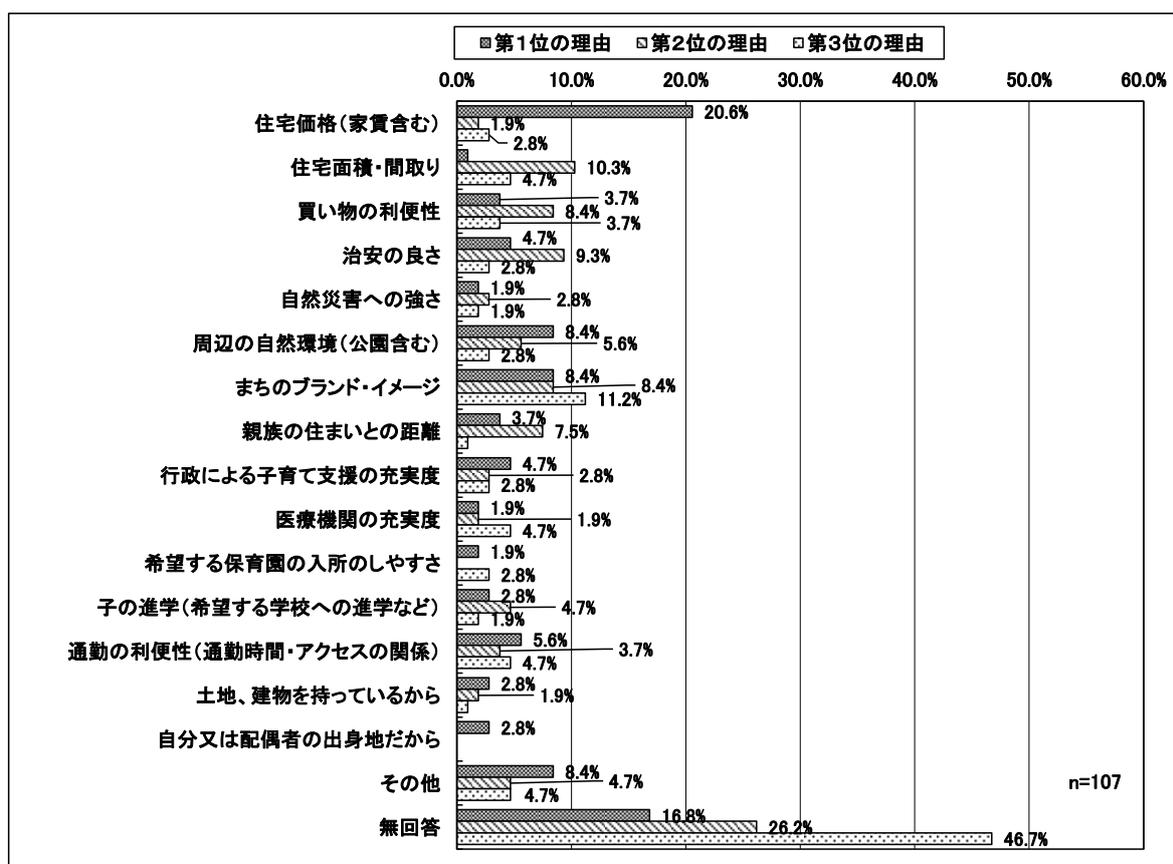
②区外へ移り住みたい理由

(問 33 で「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」を選択した方が対象)

－第1位は、「住宅価格(家賃含む)」の20.6%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「住宅価格(家賃含む)」の20.6%であり、「周辺の自然環境(公園含む)」及び「まちのブランド・イメージ」の8.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「住宅面積・間取り」が10.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-5 区外へ移り住みたい理由(全体)
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。

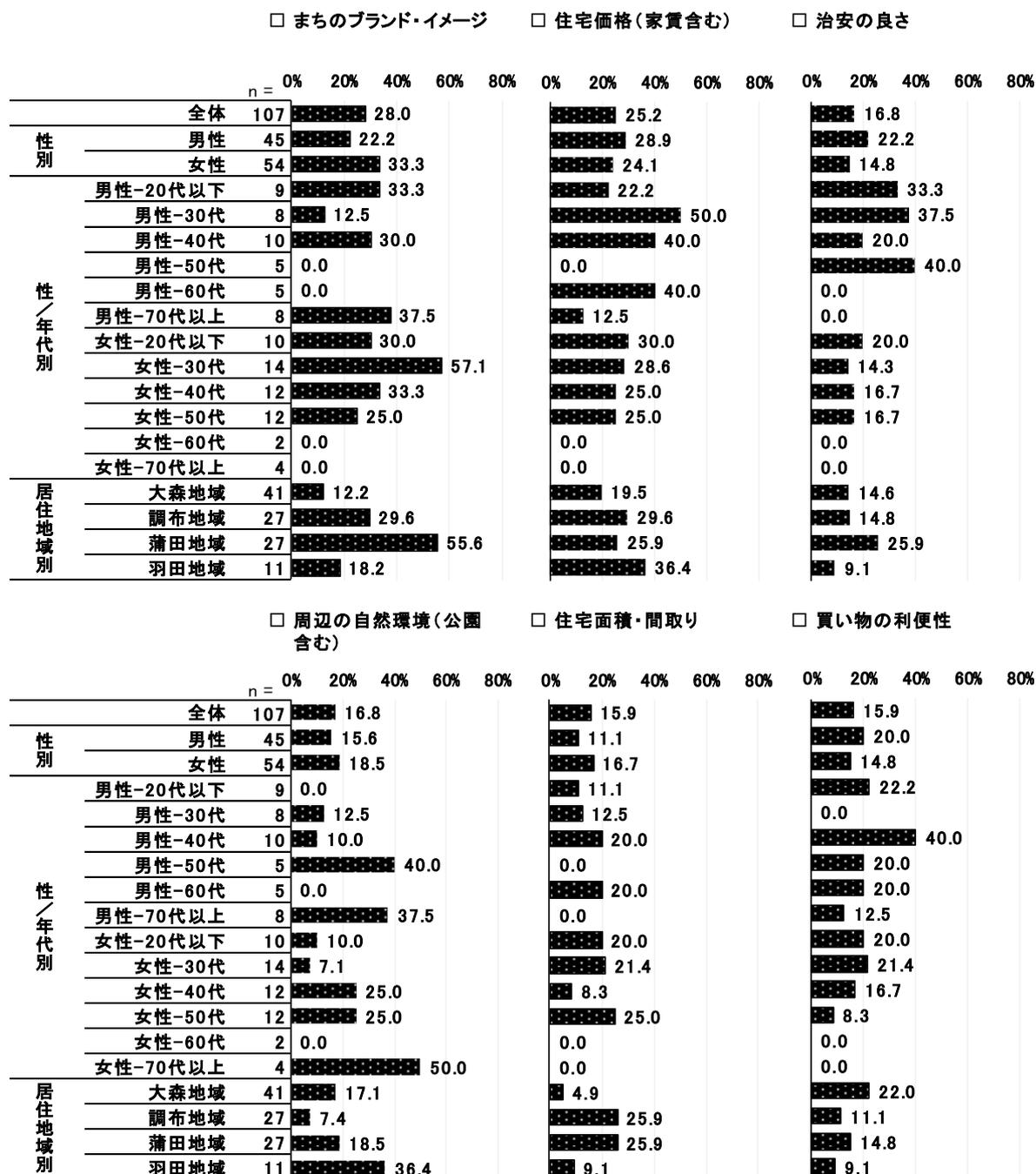


【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、男性は「住宅価格（家賃含む）」が28.9%、女性は「まちのブランド・イメージ」が33.3%と最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大森地域では「買い物の利便性」が最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-6 区外へ移り住みたい理由
（性別・性/年代別・居住地域別）



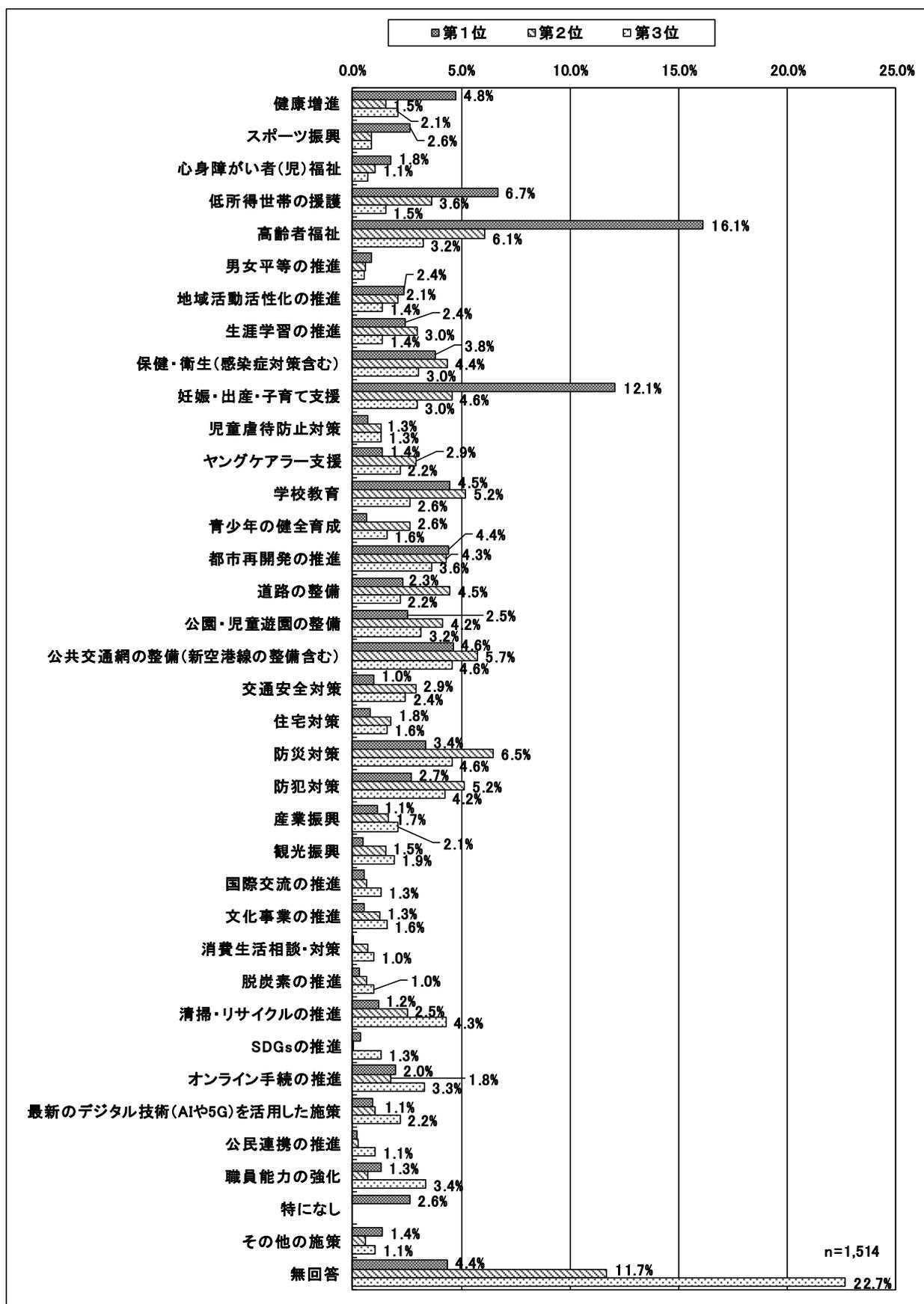
15 施策要望（特に力を入れてほしい施策）

問 35 大田区で、特に力を入れてほしい施策についてご回答ください。
（より重要と思う施策を、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

－第1位は、「高齢者福祉」の16.1%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「高齢者福祉」の16.1%であり、「妊娠・出産・子育て支援」の12.1%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「防災対策」が6.5%で最も高くなっている。【図表Ⅱ-15-1】

図表Ⅱ-15-1 特に力を入れてほしい施策（全体）
 注）グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



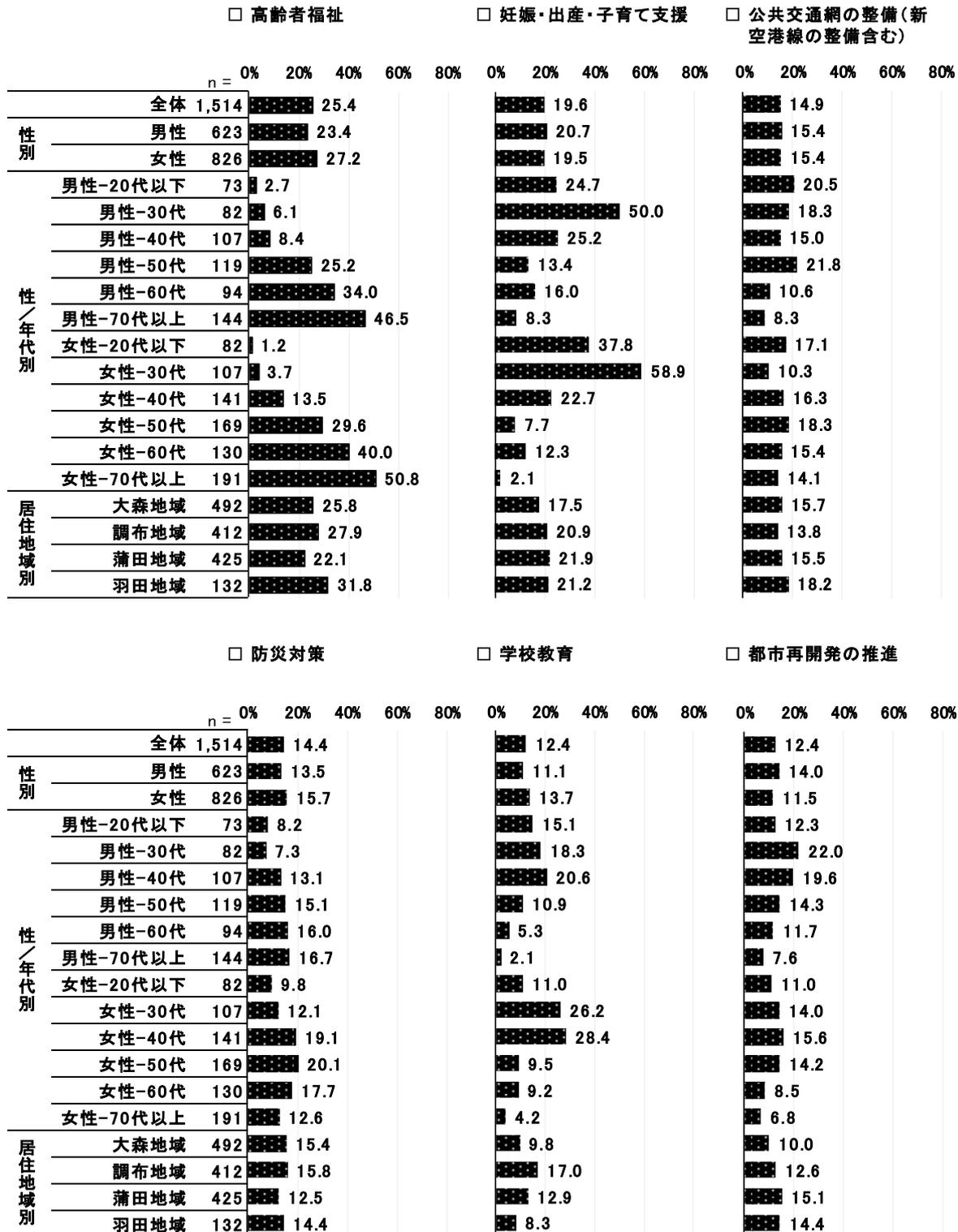
【性別・性/年代別・居住地域別】（上位6項目）

○性別でみると、大きな差はみられない。

○性/年代別でみると、「高齢者福祉」は、女性70代以上で50.8%、男性70代以上で46.5%と比較的高くなっており、また、男性20代以下・30代・40代、女性20代以下・30代では「妊娠・出産・子育て支援」、女性40代では「学校教育」が最も高くなっている。

○居住地域別でみると、大きな差はみられない。

図表Ⅱ-15-2 特に力を入れてほしい施策（性別・性/年代別・居住地域別）



Ⅲ 資料編（アンケート調査票）

区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査

(まちのイメージ)

問1 大田区全体のイメージをご回答ください。(チェックは1つだけ)

良い やや良い どちらとも言えない やや悪い 悪い

問2 大田区の詳細イメージをご回答ください。

(具体的・抽象的かを問わず、より強いイメージを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

<p>(具体的なイメージ)</p> <p>1 自然が豊か</p> <p>2 自然が少ない</p> <p>3 商店街や店舗が魅力的</p> <p>4 商店街や店舗に魅力がない</p> <p>5 レジャー施設・公園が魅力的</p> <p>6 レジャー施設・公園に魅力がない</p> <p>7 グルメが充実している</p> <p>8 グルメが充実していない</p> <p>9 地域内の交通が便利</p> <p>10 地域内の交通が不便</p> <p>11 文化施設(博物館等)が充実している</p> <p>12 文化施設(博物館等)が充実していない</p> <p>13 地域を代表する産業がある</p> <p>14 地域を代表する産業がない</p> <p>15 治安が良い</p> <p>16 治安が悪い</p> <p>17 マナーが良い</p> <p>18 マナーが悪い</p>	<p>(抽象的なイメージ)</p> <p>19 活気がある</p> <p>20 活気がない</p> <p>21 安らぎがある</p> <p>22 安らぎがない</p> <p>23 美しい(綺麗)</p> <p>24 汚い</p> <p>25 歴史がある</p> <p>26 歴史がない</p> <p>27 先進的である</p> <p>28 時代遅れである</p> <p>29 品がある</p> <p>30 品がない</p> <p>31 多様性がある</p> <p>32 多様性がない</p> <p>33 近所付き合いが盛ん</p> <p>34 近所付き合いが希薄</p> <p>35 閑静である</p> <p>36 騒々しい</p> <p>37 整然としている</p> <p>38 ごちゃごちゃしている</p>	<p>39 特に大田区に対するイメージはない</p> <p>40 その他 ()</p>
---	---	--

1位

2位

3位

(問3は、問2で【16 治安が悪い】を選んだ方のみご回答ください。)

問3 大田区のイメージとして「治安が悪い」と感じた理由をご回答ください。

(具体的な出来事、状況を問わず、より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

<p>(具体的な出来事)</p> <p>1 マナーの悪い人が多い</p> <p>2 凶悪な事件があった</p> <p>3 ひったくりや痴漢などの犯罪が多い</p> <p>4 自転車盗難が多い</p> <p>5 客引きが多い</p> <p>6 車、バイク、自転車などの交通違反が多い</p> <p>7 壁等への落書きが多い</p> <p>8 不審者が出没した</p>	<p>(状況)</p> <p>9 居酒屋や繁華街が多い</p> <p>10 パチンコ店等が多い</p> <p>11 人通りが多い</p> <p>12 人通りが少ない</p> <p>13 植え込みなど人の目が届きにくい場所が多い</p> <p>14 ごみが道に散らかっている</p> <p>15 わからない</p>
	<p>16 その他 (具体的に_____)</p>
<p>1位 2位 3位</p> <p><input style="width: 50px; height: 40px; border: 2px solid black;" type="text"/> <input style="width: 50px; height: 40px; border: 2px solid black;" type="text"/> <input style="width: 50px; height: 40px; border: 2px solid black;" type="text"/></p>	

(問4は、問2で【18 マナーが悪い】を選んだ方のみご回答ください。)

問4 大田区のイメージとして「マナーが悪い」と感じた理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

<p>1 歩きスマホをする</p> <p>2 指定場所以外で たばこを吸う</p> <p>3 ごみのポイ捨てをする</p> <p>4 公共の場で騒ぐ</p> <p>5 自転車がスピードを 出して歩道を走行する</p>	<p>6 自転車の放置、迷惑駐車</p> <p>7 路上で飲酒する</p> <p>8 エスカレーターを歩く</p> <p>9 ごみ収集のルールを 守らない</p> <p>10 物(荷物・傘等)や体が ぶつかった際に謝らない</p>	<p>11 公共交通機関の乗車の 順番を守らない</p> <p>12 近隣の住人とあいさつを しない</p> <p>13 公共交通機関で飲食をする</p> <p>14 わからない</p> <p>15 その他 (具体的に_____)</p>
<p>1位 2位 3位</p> <p><input style="width: 50px; height: 40px; border: 2px solid black;" type="text"/> <input style="width: 50px; height: 40px; border: 2px solid black;" type="text"/> <input style="width: 50px; height: 40px; border: 2px solid black;" type="text"/></p>		

(健康)

問5 健康づくりに関して、実践していない行動についてご回答ください。

(チェックはいくつでも可)

<input type="checkbox"/> 適切な食事をする (例 栄養バランスを意識した食事をするようにしている、規則正しく3食食べる、塩分・油分を控えるなど)	<input type="checkbox"/> 喫煙を控える
<input type="checkbox"/> 普段から歩く	<input type="checkbox"/> 飲酒を控える
<input type="checkbox"/> 日常的に運動する (体操・筋トレ・ランニングなど)	<input type="checkbox"/> 歯と口腔をケアする (1日1回は丁寧に歯をみがくなど)
<input type="checkbox"/> スポーツ・健康イベント等に参加する	<input type="checkbox"/> 定期的に健康診断や各種検診を受診する
<input type="checkbox"/> 十分な睡眠をとる	<input type="checkbox"/> その他 (具体的に_____)

(問6は、問5で1つも選ばなかった方は回答不要です。)

問6 問5で回答した行動について、現在実践していない理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

1 時間的な余裕がない	8 健康以外のメリットがない
2 体力的に難しい	9 今すぐ実践する必要はないと考えている
3 経済的に余裕がない	10 一緒に行動できる家族・知人・友人がいない
4 病気やけがをしている	11 その他
5 楽しく続けられない	(具体的に_____)
6 知識がない	
7 健康への効果を実感できない	

1位

2位

3位

(地域活動)

【地域活動とは】

地域で開催されるイベントなどに参加し、幅広い世代の人々との繋がりを深めることや、地域が抱える様々な課題の解決に向けた取組を指します。ここでは、趣味などを通じて関わる活動、団体に所属しない活動（自主的なごみ拾いなど）も含まれます。

問7 過去1年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験の有無についてご回答ください。 (より重点をおいている活動を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)		
1 自治会、町会などの自治組織に所属した地域活動 2 趣味の活動(文化・芸術活動、スポーツなど)を通じたボランティア・社会奉仕などの活動 3 お祭り等の地域おこし活動 4 環境ボランティア活動 (まちの美化活動・リサイクル回収など) 5 災害ボランティア活動 6 防犯や交通安全活動	7 子育て支援などの活動 8 生活支援(フードドライブ・買いもの代行など) 9 福祉活動 (高齢者への見守り訪問、障がい者への支援など) 10 国際交流活動 11 特に活動はしていない 12 その他 (具体的に_____)	
1位 <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/>	2位 <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/>	3位 <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/>

(問8は、問7で【11 特に活動はしていない】を選んだ方は回答不要です。)

問8 地域活動を始めたきっかけについてご回答ください。(チェックは1つだけ)	
<input type="checkbox"/> 知人・友人のすすめ <input type="checkbox"/> 家族のすすめ <input type="checkbox"/> SNSを通じた知り合いからの誘い <input type="checkbox"/> 市区町村の広報誌やホームページ等の情報 <input type="checkbox"/> 自治会・町会・活動団体のチラシ・ホームページ・SNS等 <input type="checkbox"/> 自治会、町会、活動団体からの誘い <input type="checkbox"/> 個人の意思 (問題意識や解決したい課題をもつこと)	<input type="checkbox"/> 学校のPTAや課外活動 <input type="checkbox"/> 地域活動に関わる仕事をしていたため <input type="checkbox"/> 特に覚えていない <input type="checkbox"/> その他 (具体的に_____)

(問9と問10は、問7で【11 特に活動はしていない】を選んだ方のみご回答ください。)

問9 現在、あなたが地域活動に取り組んでいない理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

1 体力的に難しい	5 活動の誘いがない	10 自宅でも参加できるものが見つからない
2 地域活動に費やす時間的な余裕がない	6 地域になじめていない	11 個人としてできるものがない・見つからない
3 活動時間や参加方法など活動に関する情報が十分でない	7 文化や言語などの違いにより参加が難しいと感じている	12 メリットが感じられない(報酬がない等)
4 活動をする家族・知人・友人がいない	8 興味ある分野の活動団体が無い、入りたいと思う団体が無い	13 活動をする意思がない
	9 単発・短時間で参加できるものが少ない	14 その他 (具体的に_____)

1位 <input type="text"/>	2位 <input type="text"/>	3位 <input type="text"/>
----------------------------	----------------------------	----------------------------

問10 今後、どのような状況変化があれば地域活動に参加するかご回答ください。

(より重要と考える状況変化について、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

1 時間に余裕が生まれたら	7 場所を選ばず(リモートで可能など)参加できる活動が見つかったら
2 知り合いが活動をしていたら	8 個人としてできるものが見つかったら
3 活動の誘いがあれば	9 メリットを感じられたら (報酬が出る、得た経験を仕事に活かせるなど)
4 地域内での知り合いが増えたら	10 状況の変化があっても参加することはない
5 入りたいと思う団体が出てきたら	11 その他 (具体的に_____)
6 1回だけでも参加できる機会や場が身近で見つかったら	

1位 <input type="text"/>	2位 <input type="text"/>	3位 <input type="text"/>
----------------------------	----------------------------	----------------------------

(妊娠・出産・子育て)

ここからは、妊娠・出産・子育てにかかわる事柄についてうかがいます。立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

問11 子どもの数についてご回答ください。(各設問、1つずつチェック)	
1 現在の子どもの数	<input type="checkbox"/> 0人 <input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人 <input type="checkbox"/> 4人 <input type="checkbox"/> 5人以上(____)人
2 今後の子どもの予定 (=あと何人子どもを持つつもりかお答えください)	<input type="checkbox"/> 0人 <input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人 <input type="checkbox"/> 4人 <input type="checkbox"/> 5人以上(____)人
3 理想的な子どもの数※1	<input type="checkbox"/> 0人 <input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> 2人 <input type="checkbox"/> 3人 <input type="checkbox"/> 4人 <input type="checkbox"/> 5人以上(____)人

※1 環境が整えば、持ちたい子どもの数

(問12は、問11で「1 現在の子どもの数」と「2 今後の子どもの予定」の合計が、「3 理想的な子どもの数」よりも少ない方のみご回答ください。)

例1:現在の子どもの数が1人、今後の子どもの予定が0人、理想的な子どもの数が2人の方
→「現在の子どもの数+今後の子どもの予定」が「理想的な子どもの数」より少ないため、本設問の対象者です。続く2問をご回答ください。

例2:現在の子どもの数が2人、今後の子どもの予定が1人、理想的な子どもの数が1人の方
→妊娠・出産・子育てに関する設問は以上です。教育に関する質問(p.8)にお進みください。

**問12 「1 現在の子どもの数」と「2 今後の子どもの予定」の合計が、「3 理想的な子どもの数」よりも少ない理由をご回答ください。
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)**

- 1 出産・子育ての経済的負担が大きい
- 2 出産・子育ての精神的負担が大きい
- 3 出産・子育ての身体的負担が大きい
- 4 自分や配偶者の仕事・職場環境では難しい(多忙である、職場の制度が整っていないなど)
- 5 保育所など子どもの預け先がない
- 6 配偶者の家事・育児への協力が得られない
- 7 子育てをする上での住宅環境(住宅の広さや間取り等)が整っていない
- 8 子育てしやすい周辺環境がない(子どもと一緒に過ごせる、子どもが遊べる場所が少ない)
- 9 年齢的に不安である
- 10 健康上の理由などで子どもができない
- 11 自分や夫婦の生活を大切にしたい
- 12 パートナーがいない(今後もパートナーができないと考えているなど)
- 13 その他(具体的に_____)

1位	2位	3位
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(問 13 は、問 11 で「1 現在の子どもの数」と「2 今後の子どもの予定」の合計が、「3 理想的な子どもの数」よりも少ない方のみご回答ください。)

問 13 次のア～コのうち、どのような条件が整えば、理想的な子どもの数を持つことができると考えますか。ア～コの全ての条件について、1 から 4 のうち、該当する項目をご回答ください。
(各条件、1つずつチェック)

	1 理想的な子どもの数を持つためには必須の条件である	2 必須ではないが、に準ずる重要な条件である	3 そうあることが望ましいが、優先度は高くない	4 理想的な子どもの数を持つかどうかに直接には影響しない (現時点でその条件が満たされている場合も含む)
ア 自分または配偶者が就業すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ 世帯で一定の収入の見込みが立つこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⇒1の場合:目安の金額(年収) _____万円				
ウ 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担が軽減されること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ 身近に妊娠・出産・子育てについて相談できる人がいること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ 家事・育児に関わる身体的負担が軽減されること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ 仕事や事業の状況が現状よりも落ち着くこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ 働きながら子育てができる職場環境になること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ク 地域の保育環境が現状よりも充実すること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ケ 子育てをする上での住宅環境(住宅の広さや間取り等)が整うこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コ 子育てしやすい周辺環境が整うこと (子どもと一緒に過ごせる場所が増える等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(教育)

問14 これからの社会を生きていく子ども達に、どのような力を身につけさせていくべきかご回答ください。 (より重要度の高い項目を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)		
1 基礎学力 2 体力、運動能力 3 自己肯定感 4 思いやり、協調性 5 豊かな感性や情操 6 ルールやマナーを守る規範意識	7 物事に主体的に向き合う姿勢、意欲 8 やりぬく力、粘り強さ、忍耐力 9 立ち直る力、しなやかさ 10 応用力、失敗から学ぶ力 11 創造性、想像力、工夫する力	12 表現力、コミュニケーション能力 13 論理的な思考力、判断力、行動力 14 情報を活用する力 15 その他 (具体的に_____)
	1位 <input type="text"/>	2位 <input type="text"/>
		3位 <input type="text"/>

(まちづくり)

問15 大田区以外の近隣繁華街へどのくらいの頻度で行くかご回答ください。
(各駅周辺、1つずつチェック)

	週に3日以上	週に1~2日	月に1~3回	3か月に1~2回	年に1~3回	ほぼ行かない
川崎駅周辺	<input type="checkbox"/>					
横浜駅周辺	<input type="checkbox"/>					
桜木町駅周辺	<input type="checkbox"/>					
品川駅周辺	<input type="checkbox"/>					
大井町駅周辺	<input type="checkbox"/>					
東京駅周辺	<input type="checkbox"/>					
その他 ()	<input type="checkbox"/>					

問16 大田区以外の近隣繁華街へ行く理由についてご回答ください。
(より頻度の高いものを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

1 食料品や日用雑貨品の買い物	8 家族で一緒に楽しめる場所があるため
2 食料品や日用雑貨品以外(洋服・家具等)の買い物	9 知人・友人と会うため
3 飲食のため	10 観光のため
4 習い事などの個人的な趣味	11 理美容・エステ
5 子どもの遊び場	12 他の用事について
6 イベント・催し物への参加	13 散歩・なんとなく
7 映画や美術などの鑑賞	14 その他 (具体的に_____)

1位

2位

3位

(新空港線)

【新空港線とは】

新空港線は、矢口渡駅と蒲田駅の間で多摩川線を地下化し、新設する東急蒲田駅の地下ホームから京急蒲田駅(地下)を通して、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画です。

このうち、一期整備(矢口渡駅～京急蒲田駅)において、都区間の費用負担割合などについて東京都と大田区で合意し、事業化に向けて大きな一歩を踏み出しました。

今後、一期整備の事業化や二期整備(京急蒲田駅～大鳥居駅)の進展など、新空港線整備を着実に推進するとともに、沿線のまちづくりも同時に進めていきます。

問17 新空港線の整備にあたり、あなたが期待する効果についてご回答ください。

(より期待する効果を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

- 1 JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、移動利便性が向上すること
- 2 各方面(渋谷・新宿・池袋や川越などの埼玉方面)へのアクセスが改善され、移動利便性が向上すること
- 3 駅舎の整備が進み、誰でも使いやすい駅となること
- 4 沿線駅周辺の交通環境(歩行空間や自転車通行空間)が改善されること
- 5 新たな人の流れが発生することで、商店街や飲食店での経済活動が活発になること
- 6 沿線のまちづくりにより、商業施設の開発などが進み生活利便性が高まること
- 7 観光客が増加すること
- 8 地価が上昇すること
- 9 まちとしての魅力が高まり、区のイメージが改善すること
- 10 災害時に代替輸送手段として活用されること
- 11 自動車から鉄道への転換により、CO2排出量が減ることで環境に配慮したまちになること
- 12 その他(具体的に_____)

1位

2位

3位

(防災)

問18 ご自身の災害への備えについてご回答ください。(チェックは1つだけ)

十分できている どちらかと言えはできている どちらかと言えはできていない
 できていない わからない

**問19 災害への備えに関して、実践していない行動についてご回答ください。
(チェックはいくつでも可)**

<input type="checkbox"/> 食料の備蓄	<input type="checkbox"/> ハザードマップの確認	<input type="checkbox"/> 安否確認方法の検討 (家族や知人との事前確認など)
<input type="checkbox"/> 防災グッズの準備	<input type="checkbox"/> 避難方法の確認・検討	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 家具等の転倒防止	<input type="checkbox"/> 防災訓練への参加	(具体的に_____)
<input type="checkbox"/> 非常用電源(発電機含む)の購入	<input type="checkbox"/> マイ・タイムライン (避難行動計画)の作成	
<input type="checkbox"/> 自宅の耐震化		

(問20は、問19で1つも選ばなかった方は回答不要です。)

**問20 問19で回答した行動について、現在実践していない理由をご回答ください。
(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)**

1 金銭的な負担がある	5 災害の実感がわからない
2 時間的な余裕がない	6 面倒である
3 周囲に実施している家族・知人・友人がいない	7 災害時に役に立たないと考えている
4 知識がない (何から手を付ければいいのかわからないなど)	8 その他 (具体的に_____)

1位	2位	3位
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(観光)

問21 大田区が観光客にとってより魅力的なまちになるためには、どのような観光資源を充実させるべきかご回答ください。

(特に充実させるべきだと感じるものを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

<p>1 自然に触れ合える場所 (例 多摩川河川敷、大森ふるさとの浜辺公園、田園調布せせらぎ公園等)</p> <p>2 スポーツの参加・観戦が楽しめるスポット</p> <p>3 伝統芸能や祭り、イベント</p> <p>4 魅力的な街並み(景観)</p>	<p>5 歴史的建造物や史跡</p> <p>6 文化施設(博物館等)</p> <p>7 土産物やグルメ</p> <p>8 活気がある商店街</p> <p>9 大型商業施設</p> <p>10 レジャー施設</p>	<p>11 宿泊施設</p> <p>12 銭湯</p> <p>13 最先端技術を体験できる場所(羽田 HICity など)</p> <p>14 特に不足している観光資源はない</p> <p>15 その他 (具体的に_____)</p>
<p>1位 2位 3位</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; width: 60px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 60px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 60px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div>		

(文化)

問22 新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動についてご回答ください。
(「関心」「鑑賞」「活動」の各項目、1つずつチェック)

関心	<input type="checkbox"/> コロナの流行後、関心が高まった <input type="checkbox"/> コロナの流行後、関心が低くなった <input type="checkbox"/> コロナの影響に関係なく、関心に変化はなかった <input type="checkbox"/> わからない(関心が高くなったとも低くなったとも言えない)
鑑賞	<input type="checkbox"/> コロナの流行後、鑑賞する機会が増えた <input type="checkbox"/> コロナの流行後、鑑賞する機会が減った <input type="checkbox"/> コロナの流行後、鑑賞する機会が一時的に減ったが、徐々に戻りつつある <input type="checkbox"/> コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会がなかった <input type="checkbox"/> コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会は変わらずあった
活動	<input type="checkbox"/> コロナの流行後、活動する機会が増えた <input type="checkbox"/> コロナの流行後、活動する機会が減った <input type="checkbox"/> コロナの流行後、活動する機会が一時的に減ったが、徐々に戻りつつある <input type="checkbox"/> コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった <input type="checkbox"/> コロナの影響に関係なく、活動する機会は変わらずあった

※本調査では、主に次のような事物を「文化・芸術」と捉えています。回答にあたっての参考にしてください。
音楽、美術、デザイン、映画、演劇、舞踊、文芸、歴史的な街並み・文化財・遺跡、
地域で取り組んでいるイベント・祭り、芸能(歌舞伎・落語など)、サブカルチャー(アニメ、マンガなど)

(環境)

問23 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動についてご回答ください。

(チェックは1つだけ)

- 日頃から環境問題やエネルギー問題を意識した行動をしている
- 環境問題やエネルギー問題を意識し、行動にも気を付けるようにしている
- 環境問題やエネルギー問題を意識しているが、特に行動はしていない
- 環境問題やエネルギー問題を意識しておらず、特に行動もしていない

問24 日常生活における、以下の省エネ行動についてご回答ください。

(各項目、1つずつチェック)

1	家族が続けて入浴するようにしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
2	給湯器を使用しないときは、コントローラー(リモコン)の電源を切る	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
3	テレビを使用しないときは主電源をオフにしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
4	冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
5	冷蔵庫にモノを詰め込みすぎないようにしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
6	冷蔵庫を開けたままにしたり、おやみに開閉しないようにしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
7	冬以外は暖房便座機能を使用しない	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
8	パソコンを使用しないときは電源を切るか低電力モード(“スリープ”等)に切り替えている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
9	炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明
10	調理を行うときは、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 不明

(問25は、問24で「実施していない」を1つでも選んだ方はご回答ください。)

問25 省エネ行動を実施していない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

1 今すぐに実施する必要はないと考えている	4 興味関心がない 5 知識がない 6 習慣にならない 7 きっかけがない	8 周囲に実施している家族・知人・友人がいない 9 その他 (具体的に_____)
1位 <input type="text"/>	2位 <input type="text"/>	3位 <input type="text"/>

(行政手続のオンライン化)

問 26 大田区の行政手続の利用状況についてご回答ください。(チェックは1つだけ)

- 1 オンラインで行政手続できるものは、オンラインで利用している
- 2 今までに利用した行政手続で、オンラインで利用できるものはなかった
- 3 利用した行政手続がオンラインで利用できることを知らなかった
- 4 利用したい行政手続がオンラインで利用できることを知っているが、一部の手続についてはオンライン以外の方法(窓口もしくは郵送など)で利用している
- 5 利用したい行政手続がオンラインで利用できることを知っているが、全ての手続について、オンライン以外の方法(窓口もしくは郵送など)で利用している
- 6 オンラインで行政手続を利用したことはあるが、現在はオンラインで利用できるとしてもその他の方法で利用している
- 7 手段(窓口・郵送・オンライン)を問わず、大田区の行政手続を利用したことがない

(オンラインで利用できる大田区の行政手続の例)

- ①新型コロナウイルス関連(接種券の再発行、療養通知書交付申請等)
- ②妊娠出産支援(大田区産後家事・育児援助事業「ぴよぴよサポート」等)
- ③児童医療(医療証の交付、再交付、変更申請等)
- ④児童手当(現況届、認定請求、額改訂請求等)
- ⑤子育て関連(バースデーサポート事業アンケート回答及び大田区子育て応援券交付申請等)
- ⑥公文書開示(開示請求等)
- ⑦転出届・転居届(転出届の窓口予約、転出届の作成等)

▼ (問27は、問26で【4,5,6】を選んだ方のみご回答ください。)

問27 オンラインで行政手続を利用していない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 行政手続がオンラインで完結しない(書類の受け取りが必要、手数料の支払いが対面など) 2 対面で手続をした方が安心である 3 セキュリティに不安がある 4 手続が複雑でわかりにくい
(どこにアクセスすれば利用できるかわかりにくい、紙媒体の案内にQRコードが記載されていない、別途事前登録が必要など) | <ul style="list-style-type: none"> 5 利用者へのサポートが充実していない(ヘルプデスクによる操作支援など) 6 添付書類が多い 7 マイナンバーカードを所持していないと、利用できない手続である 8 その他
(具体的に_____) |
|---|--|

1位

2位

3位

(問28は、オンラインで大田区の行政手続を利用したことがある方にご回答ください。)

問28 利用経験があるオンライン手続の満足度についてご回答ください。

(チェックは1つだけ)

- 非常に満足 どちらかと言えば満足 どちらとも言えない
どちらかと言えば不満 非常に不満

(問29は、問28で「どちらかと言えば不満 or 非常に不満」を選んだ方のみご回答ください。)

問29 満足度が低い理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

- 1 画面の操作性が悪い
- 2 回答方法や説明文が分かりにくい
- 3 行政手続がオンラインで完結しない
(書類の受け取りが必要、手数料の支払いが対面など)
- 4 手続が複雑でわかりにくい
(どこにアクセスすれば利用できるかわかりにくい、紙媒体の案内にQRコードが記載されていない、別途事前登録が必要など)
- 5 手続の進捗状況をオンラインで確認できない
- 6 利用者へのサポートが充実していない(ヘルプデスクによる操作支援など)
- 7 添付書類が多い
- 8 その他
(具体的に_____)

1位

2位

3位

(SDGs)

【SDGsとは】

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「**持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)**」のことです。SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット(達成基準)から構成されます。

問30 SDGsについて知っていたかご回答ください。(チェックは1つだけ)

内容まで含めて知っていた 内容はわからないが聞いたことがある 知らなかった

問31 SDGsに関する意識と行動についてご回答ください。(チェックは1つだけ)

- 1 日頃からSDGsを意識した行動をしている
- 2 SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている
- 3 SDGsを意識しているが、特に行動はしていない
- 4 SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない

(問32は、問31で【3, 4】を選んだ方のみご回答ください。)

問32 SDGsに関する行動をしていない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

- 1 SDGsという言葉が何を意味するのかわからない
- 2 英語やカタカナが理解しづらい
- 3 具体的に何をすればよいのかわからない
- 4 自分の生活にどのような関わりがあるかわからない
- 5 政府や企業が取り組むものである
- 6 日本にはあまり関係がない気がする
- 7 取り組んでもあまり意味がないと感じる
- 8 一緒に取り組む家族・知人・友人がいない
- 9 取り組むための経済的余裕がない
- 10 その他(具体的に_____)

1位

2位

3位

(定住意向)

問33 これからも大田区に住みたいと思うかご回答ください。(チェックは1つだけ)

- ずっと住み続けたい 当分は住み続けたい
できれば大田区外へ移りたい 大田区外へ移りたい わからない

(問 34 は、問 33 で「わからない」を選んだ方は回答不要です。)

問34 問33の回答理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 住宅価格(家賃含む) | 11 希望する保育園の入所のしやすさ |
| 2 住宅面積・間取り | 12 子の進学
(希望する学校への進学など) |
| 3 買い物の利便性 | 13 通勤の利便性
(通勤時間・アクセスの関係) |
| 4 治安の良さ | 14 土地、建物を持っているから |
| 5 自然災害への強さ | 15 自分又は配偶者の出身地だから |
| 6 周辺の自然環境(公園含む) | 16 その他
(具体的に_____) |
| 7 まちのブランド・イメージ | |
| 8 親族の住まいとの距離 | |
| 9 行政による子育て支援の充実度 | |
| 10 医療機関の充実度 | |

1位

2位

3位

(施策要望)

問35 大田区で、特に力を入れてほしい施策についてご回答ください。

(より重要と思う施策を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

<p>(健康・福祉)</p> <p>1 健康増進</p> <p>2 スポーツ振興</p> <p>3 心身障がい者(児)福祉</p> <p>4 低所得世帯の援護</p> <p>5 高齢者福祉</p> <p>6 男女平等の推進</p> <p>7 地域活動活性化の推進</p> <p>8 生涯学習の推進</p> <p>9 保健・衛生(感染症対策含む)</p> <p>(子育て・教育・若者支援)</p> <p>10 妊娠・出産・子育て支援</p> <p>11 児童虐待防止対策</p> <p>12 ヤングケアラー※1 支援</p> <p>13 学校教育</p> <p>14 青少年の健全育成</p>	<p>(まちづくり・都市基盤・防災)</p> <p>15 都市再開発の推進</p> <p>16 道路の整備</p> <p>17 公園・児童遊園の整備</p> <p>18 公共交通網の整備 (新空港線の整備含む)</p> <p>19 交通安全対策</p> <p>20 住宅対策</p> <p>21 防災対策</p> <p>22 防犯対策</p> <p>(産業・観光)</p> <p>23 産業振興</p> <p>24 観光振興</p> <p>25 国際交流の推進</p> <p>26 文化事業の推進</p> <p>27 消費生活相談・対策</p>	<p>(環境)</p> <p>28 脱炭素の推進</p> <p>29 清掃・リサイクルの推進</p> <p>(自治体経営等)</p> <p>30 SDGsの推進</p> <p>31 オンライン手続の推進</p> <p>32 最新のデジタル技術(AIや5G)を活用した施策</p> <p>33 公民連携の推進</p> <p>34 職員能力の強化</p> <p>35 特になし</p> <p>36 その他の施策 (具体的に_____)</p>
<p>1位 2位 3位</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div> </div>		

※1 ヤングケアラー…本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

(あなたご自身について)

F1 現住所をご回答ください。(チェックは1つだけ)

<p>(あ行)</p> <p><input type="checkbox"/>池上</p> <p><input type="checkbox"/>石川町</p> <p><input type="checkbox"/>鵜の木</p> <p><input type="checkbox"/>大森北</p> <p><input type="checkbox"/>大森中</p> <p><input type="checkbox"/>大森西</p> <p><input type="checkbox"/>大森東</p> <p><input type="checkbox"/>大森本町</p> <p><input type="checkbox"/>大森南</p>	<p>(か行)</p> <p><input type="checkbox"/>蒲田 (一～五丁目)</p> <p><input type="checkbox"/>蒲田本町</p> <p><input type="checkbox"/>上池台</p> <p><input type="checkbox"/>北糀谷</p> <p><input type="checkbox"/>北千束</p> <p><input type="checkbox"/>北馬込</p> <p><input type="checkbox"/>北嶺町</p> <p><input type="checkbox"/>久が原</p> <p><input type="checkbox"/>京浜島</p>	<p>(さ・た行)</p> <p><input type="checkbox"/>山王</p> <p><input type="checkbox"/>下丸子</p> <p><input type="checkbox"/>城南島</p> <p><input type="checkbox"/>昭和島</p> <p><input type="checkbox"/>新蒲田</p> <p><input type="checkbox"/>多摩川</p> <p><input type="checkbox"/>千鳥</p> <p><input type="checkbox"/>中央</p> <p><input type="checkbox"/>田園調布</p> <p><input type="checkbox"/>田園調布本町</p> <p><input type="checkbox"/>田園調布南</p> <p><input type="checkbox"/>東海</p>	<p>(な行)</p> <p><input type="checkbox"/>仲池上</p> <p><input type="checkbox"/>中馬込</p> <p><input type="checkbox"/>仲六郷</p> <p><input type="checkbox"/>西蒲田</p> <p><input type="checkbox"/>西糀谷</p> <p><input type="checkbox"/>西馬込</p> <p><input type="checkbox"/>西嶺町</p> <p><input type="checkbox"/>西六郷</p>	<p>(は行)</p> <p><input type="checkbox"/>荻中</p> <p><input type="checkbox"/>羽田</p> <p><input type="checkbox"/>羽田旭町</p> <p><input type="checkbox"/>東蒲田</p> <p><input type="checkbox"/>東糀谷</p> <p><input type="checkbox"/>東馬込</p> <p><input type="checkbox"/>東嶺町</p> <p><input type="checkbox"/>東矢口</p> <p><input type="checkbox"/>東雪谷</p> <p><input type="checkbox"/>東六郷</p> <p><input type="checkbox"/>平和島</p> <p><input type="checkbox"/>本羽田</p>	<p>(ま・や行)</p> <p><input type="checkbox"/>南蒲田</p> <p><input type="checkbox"/>南久が原</p> <p><input type="checkbox"/>南千束</p> <p><input type="checkbox"/>南馬込</p> <p><input type="checkbox"/>南雪谷</p> <p><input type="checkbox"/>南六郷</p> <p><input type="checkbox"/>矢口</p> <p><input type="checkbox"/>雪谷大塚町</p>
--	--	---	---	--	---

F2 満年齢をご回答ください。(チェックは1つだけ)

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上 回答しない

F3 性別をご回答ください。(チェックは1つだけ)

男性 女性 回答しない その他()

F4 同居家族(回答者から見た続柄)をご回答ください。(チェックはいくつでも可)

独居 配偶者(内縁含む) 親 祖父母 子(就学前) 子(小学生)
子(中学生以上) 孫 兄弟姉妹 その他()

F5 世帯人数をご回答ください。(チェックは1つだけ)

1人 2人 3人 4人 5人 6人以上

(F6は、F4で子と同居していると回答した方のみお答えください。)

F6 同居している子ども(18歳以下)の人数をご回答ください。(チェックは1つだけ)

1人 2人 3人以上

F7 世帯年収をご回答ください。(チェックは1つだけ)

<input type="checkbox"/> 100万円未満	<input type="checkbox"/> 700万円以上~800万円未満
<input type="checkbox"/> 100万円以上~200万円未満	<input type="checkbox"/> 800万円以上~900万円未満
<input type="checkbox"/> 200万円以上~300万円未満	<input type="checkbox"/> 900万円以上~1,000万円未満
<input type="checkbox"/> 300万円以上~400万円未満	<input type="checkbox"/> 1,000万円以上~1,250万円未満
<input type="checkbox"/> 400万円以上~500万円未満	<input type="checkbox"/> 1,250万円以上~1,500万円未満
<input type="checkbox"/> 500万円以上~600万円未満	<input type="checkbox"/> 1,500万円以上
<input type="checkbox"/> 600万円以上~700万円未満	<input type="checkbox"/> 回答しない

F8 職業をご回答ください。(回答者と配偶者※1 それぞれで1つずつチェック)

回答者	<input type="checkbox"/> 自営業・家族従業員 <input type="checkbox"/> 法人の経営者 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 家事専業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他()
配偶者※1	<input type="checkbox"/> 自営業・家族従業員 <input type="checkbox"/> 法人の経営者 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 家事専業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他()

※1 配偶者(内縁含む)がいる方のみご回答ください。

最後までご協力いただきありがとうございました。

区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査報告書

令和5年3月

発行：大田区企画経営部企画課
〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1735（直通）
FAX：03-5744-1502